

平成25年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」

専門学校留学生の就職支援と情報提供ネットワークの構築

成 果 報 告 書

もくじ

第1章 ● 委託事業の概要	1
(1) 委託事業名	2
(2) 委託事業実施期間	2
(3) 委託事業の目的	2
(4) 事業内容	2
(5) 事業の実施体制	3
 第2章 ● 事業別成果報告	5
(1) 東南アジア諸国在日大使館等への情報提供・ネットワーク構築の推進	6
1. 専門学校留学パンフレット（ガイドブック）の作成・配布	6
2. 専門学校留学チラシの作成・配布	49
3. 留学生受け入れ専門学校名簿の作成・配布	57
(2) WEB サイトによる情報発信	58

(3) 中小企業との留学生を対象とした短期インターンシップ等の実態把握と事例収集	59
1. 専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査	59
2. 企業における外国人留学生向けインターンシップ等の採用実態に関する調査	65
3. グローバルインターンシップ事業(大阪事業分科会)	69
(4) 研修会・セミナー等の情報提供・啓発活動	85
1. 専門学校留学生就職指導担当者研修会	85
2. 外国人留学生採用促進セミナー	117
(5) 留学生採用企業就職説明会実施・後援	168
1. 合同企業説明会(OSAKA ジョブフェア)	168
2. 留学生企業説明会(仙台会場)への後援	177
(6) 事業成果の普及	178
1. 成果報告会の開催	178
平成25年度専修学校留学生就職アシスト事業委員会名簿	183

第1章 ● 委託事業の概要

(1) 委託事業名

専門学校留学生の就職支援と情報提供ネットワークの構築

(2) 委託事業実施期間

平成25年7月8日から平成26年3月14日まで

(3) 委託事業の目的

海外から日本の専門学校留学を拡充するには、就職に強く効率的に機能している専門学校の制度的特性や実態を、海外の学生・保護者に理解させる必要がある。また、留学生の日本企業への就職支援を充実させるため、専門学校留学生の就職支援情報を全国に流通させる必要がある。そのために、日本への留学を志向する学生・保護者や海外展開を意図する企業人事担当者、企業に留学生を送り出す専門学校留学生担当者等に対して、いつでも必要な情報を提供できる環境を構築する。

特に、日本への留学者数の大半を占める東南アジア諸国大使館等とのネットワークの構築や、国内外における留学・就職等の情報提供など、相互連携に向けて関係を強化する。さらに、専門学校留学生の就職支援情報の全国展開、企業人事担当者を対象とした研修・啓発活動などを東京、大阪、仙台にて積極的に推進することで、中小企業と留学生のマッチングを行う機会を提供する。

(4) 事業内容

1. 東南アジア諸国在日大使館等への情報提供・ネットワーク構築の推進
2. WEBサイトによる情報発信
3. 中小企業との留学生を対象とした短期インターンシップ等の実態把握と事例収集
4. 研修会・セミナー等の情報提供・啓発活動
5. 留学生採用企業就職説明会への協賛・共催
6. 事業成果の普及

(5) 事業の実施体制

【実施委員会】

専門学校関係者、企業関係者、学識者などの参画を得て、専門学校留学生の就職アシスト事業全般の企画・統括と調整ならびに最終的な評価を行う。

【情報提供事業分科会】

情報提供・ネットワーク構築事業の企画・推進、WEBサイト構築事業の企画・推進を行う。

【調査事業分科会】

専門学校における留学生受け入れ実態及び企業における外国人留学生の採用実態に関する調査事業の企画・推進を行う。

【研修・説明会事業分科会】

研修会・就職説明会等の企画・推進を行う。

【大阪事業分科会】

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会及び一般財団法人大阪労働協会等の協力を得て、専門学校留学生のためのグローバルインターンシップ事業及び合同企業説明会の企画・推進を行う。

第2章 ● 事業別成果報告

(1) 東南アジア諸国在日大使館等への 情報提供・ネットワーク構築の推進

1. 専門学校留学パンフレット(ガイドブック)の作成・配布

●パンフレットの目的

該当国の教育関係者を想定対象として、専門学校の制度的特性や実態を伝えることを目的として作成。

●パンフレットの内容

「日本の専門学校へようこそ！文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室からのメッセージ～日本で職業能力を身に付けたい方へ」、「高度な専門性・資格・技術が身につく日本の専門学校」、「専門学校の特長」、「多くの職業カテゴリーに対応した専門教育と幅広い就職先」、「毎年、多くの留学生が日本で学んでいます～専門学校への入学要件と専門士・高度専門士」、「日本で学ぶ留学生～様々な入学方法と広がる進路（各国ごとに該当する全国各地の専門学校の協力により、在校生、卒業生：大学編入・日本で就職・海外で就職等の顔写真とコメントを掲載）」、「学費、奨学金、アルバイト」、「日本は留学生を歓迎しています」、「日本への入国手続き」

●言語の種類

英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ミャンマー語、モンゴル語、マレーシア語の11カ国語

●印刷ならびに配布先

12ページ、印刷は基本が2色、表紙の一部カラー化。配布先は各国駐日大使館等、国際協力機構の該当する日本センター、該当する在海外日本大使館、英語版及び中国語（簡体字版）のみ専門学校留学生受入希望校に見本として1部送付等。

専門学校留学パンフレット：表紙

日本への入国手続き

あなたの国

① 在留資格認定証明書交付申請書類
② 査証申請
③ 査証発給
④ 査証貼付
⑤ 査証有効期間満了後、再入国申請

日本

① 在留資格認定証明書交付申請書類
② 査証貼付
③ 査証有効期間満了後、再入国申請
④ 上陸許可申請
⑤ 上陸許可
⑥ 入管空港支局等 出場所
⑦ 専門学校入学・授業開始

在留資格認定証明書交付申請

【申請者】
■ 留学希望者本人
■ 代理人(受け入れ機関の職員等) ※ 多くの場合、代理人で行われています。

【必要書類】
■ 在留資格認定証明書交付申請書
■ 査証写真
■ 査証貼付票
■ 査証有効期間満了後、再入国申請書
■ その他受け入れ機関に応じて提出する資料がありますので、当該機関にご確認ください。

査証(ビザ)申請

【在留資格認定証明書】が交付されたら、自国の日本大使館等で申請します。

【必要書類】
■ パスポート
■ 査証写真
■ 査証貼付票
■ 査証有効期間満了後、再入国申請書
■ その他受け入れ機関に応じて提出する資料がありますので、当該機関にご確認ください。

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専門学校留学生就職アシスト事業

専門学校留学パンフレット：p.1-2

世界で最も就職しやすい国「日本」 専門技術+ホスピタリティにアジアが注目！ 日本の専門学校へようこそ！

～文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室からのメッセージ～

日本で職業能力を身に付けたい方へ

日本の専門学校は、1976年の制度発足以来、柔軟で弾力的な制度の特色を活かして、社会の変化に即応した実践的な職業教育を行う中核的機関として発展を続けてきました。現在では、約65万人の生徒が学んでおり、我が国の高等教育機関の重要な一翼を担っています。

専門学校では、職業教育を行うにあたり、工業、農業、医療、衛生、教育、社会福祉、商業実務、服飾・美容、文化・教養という目的ごとの8つの分野で、それぞれ実用性・専門性・国際性を備えた教育を行っています。その中には現在、世界で注目を集めているIT、アニメーション・ゲーム、ファッションなどの「クールジャパン」と呼ばれるポップカルチャーから、環境エネルギー・IT、社会インフラなど、これからの世界市場で成長が見込まれる産業を支える専門人材を養成しています。

日本では、専門学校は社会を支える重要な人材を輩出する学校として認識されており、専門学校を卒業した者は職場の専門的な技術を修得した人材として期待されています。また、経済動向にかかわらず、就職率は高い水準を維持しています。とりわけ、世界的に海外へ進出している多くの日本企業は、外国と日本を結ぶ橋渡しとなる人材を求め、専門技術と日本文化を学んでいる専門学校留学生に高い期待が寄せられています。

日本の専門学校へ留学し、実践的な職業能力を身に付けたプロフェッショナルとして世界で活躍することを目標としたいと思います。

JAPAN

HOSPITALITY
HEALTH
MEDICAL CARE
FASHION
IT・WEB
INDUSTRY
CULTURE ANIMATION

近年、東南アジアを含むアジア圏の経済・産業の発展はめざましく、その中から世界経済を牽引する企業も生まれてきています。これは発展途上国においても例外ではなく、工業・インフラをはじめ諸外国の製造業や食品業、ファッションや美容、メディア関係などの幅広い業種のアウトソーシングを担う拠点としても世界から注目が集まっています。

日本はこれまで、多くの産業分野において「日本の技術力」と「マナー・ホスピタリティ精神」を武器に、諸外国の発展に貢献してきました。その根幹を担う専門学校こそが、「専門学校」なのです。

国が定める正規の教育機関であり、職業に直結する様々な資格が取得できる「専門学校」には、毎年多くの留学生が海外を渡り来日し、その数は現在、約2万5千人に及んでいます。専門技術や資格はもちろん、生活面の安全性や経済のしやすさ、アニメ、食、自然などの文化にも注目が集まる日本、日本の「専門学校」で様々なスキルや文化を吸収し、日本企業への就職や自国有力企業での活躍に向け、一歩を踏み出しましょう！

日本の専門学校

高度な専門性・資格・技術が身につく

職業に直結する
専門学校の教育

専門学校は、実践的な職業教育を行う日本の高等教育機関です。
職業や実生活に必要な知識、技術、技能の習得、教養の向上を目的とした教育機関で、
医療、工業、文化・教養、商業実務、衛生、教育・社会福祉、服飾・家政、農業と様々な分野の学校があります。

日本の専門学校 学校数：2,811 入学者：269,798人 学生数：597,330人 (2013年5月現在)

専門学校の特長

国家資格の取得をはじめ、
多くのメリットがある専門学校

日本の専門学校の最大の特長は、就職に直結しているということ。
あらゆる職業の分野において、高い専門技術を身につけることを目指す教育機関であり、
大学に次ぐ高等教育機関として重要な役割を担っています。

日本の専門学校の位置づけ

専門学校は大学・短期大学と同じ「高等教育機関」として位置づけられ、日本の高等教育段階における職業教育を担っている機関です。現在では、修業年数2年以上(総授業時数1,700時間以上)等の課程修了者に「専門士」、修業年数4年以上(総授業時数3,400時間以上)等の課程修了者に「高度専門士」の称号が付与されます。
「専門士」は大学編入、高度専門士は大学院への入学が可能になっています。

就職に強く、大学編入も可能

専門学校は、特に就職のニーズに応え、企業界と連携を密に行っています。就職教育機関として、即戦力となる人材を輩出しています。卒業生の高い就職率に結びついています。またその教育の質の高さは大学から高く評価されています。専門士の資格を有した学生は大学への編入も認められています。

Technical Skill 高度な専門性が身につく

専門学校の課程は、その分野のスペシャリストばかりだから、専攻する知識を深めずには済まず、一歩の進歩を要します。また、インターンシップも積極的に進めている学校が多く、学校にない日本企業のノウハウを身につけることも可能です。工業や自動車、家電、ファッション業界など、世界から注目を集めている産業の最先端のノウハウに触れることは、多岐にわたって大きな利点になるはずです。

Hospitality 日本ならではの、おもてなしの心

接客、サービス、接客の場でのプレゼンテーションでも、おもてなしの心は、日本文化の根幹をなす重要な要素です。接客の専門士は、接客や飲食業界、医療や教育の現場など、あらゆる場面で高い「おもてなし」のスキルが求められるため、日本にいたって、海外での就職に有利なことが出来るのは、大変大きなメリットであると云えます。

多くの職業カテゴリーに対応した 専門教育と幅広い就職先

なぜ専門学校は就職先が幅広いのか、それは、それぞれの分野の「専門性」に特化した教育を行っているからです。その分野に応じた学科の幅は非常に広く、医療、福祉、保育、教員、美容、メイク、調理、製菓、衣装、ホテ・観光、交通、スポーツ、社会福祉、ペット、動物、服飾、ファッション、音楽、楽器、マスコット、芸能、編集、プログラマー・コンピューター、ゲーム、声優・マンガ・アニメ、デザイナー・美術、書道、建築、土木・インテリア、公務員・ビジネス、自動車整備・モータースポーツ、電気・電子、環境、バイオ・農学、化学、航空整備・パイロットなど、あなたの身の回りの「なりた」に合わせて学校を選ぶことが大事になります。

毎年、多くの留学生が日本で学んでいます

専門学校への入学要件と専門士・高度専門士

入学するには 次の条件のうち、いずれかを満たしている必要があります。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
- ② 外国において、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、18歳に達した者
- ③ 日本において、外国の高等学校相当として指定した外国入学校を修了し、18歳に達した者
- ④ 国際バカロレア、アビトク、バカロレア資格を保有し、18歳に達した者
- ⑤ 日本において設置された国際的な評価団体(WASC, CIS, ACS)の認定を受けた外国入学校の12年の課程を修了し、18歳に達した者

④専門士・高度専門士の称号が与えられるには、以下の方法で入学資格を満たすことが必要です。

①～③について、12年制課程修了後は、以下の方法で入学資格を満たすことが必要です。

④について、12年制課程修了後は、以下の方法で入学資格を満たすことが必要です。

⑤について、12年制課程修了後は、以下の方法で入学資格を満たすことが必要です。

日本語能力

次のいずれかを満たす必要があります。

- ① 語学試験により指定されている日本語教育機関で、6ヶ月以上の日本語教育を受けた者
- ② 公益財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する「日本語能力試験」のN1またはN2に合格した者
- ③ 日本の小学校、中学校、高校において1年以上の日本語教育を受けた者
- ④ 日本留学試験(日本語、聴解、読解及び聴解の合計)の200点以上の取得者
- ⑤ 公益財団法人日本漢字能力検定協会が実施するBJTビジネス日本語能力テストの400点以上の取得者

⑥ 専門教育課程が実施する「日本語 NAT-TEST」の1級または2級に合格した者

費用支弁能力

留学に際しての学費や留学期間中の生活に要する費用の支弁方法等を定め、わが国における留学生生活を維持できるだけの経済的基盤を有すること。

専門士・高度専門士の称号が付与される要件

	専門士	高度専門士
入学時期	4月(一部の入学学期)	4月(一部の入学学期)
修業年限	2年以上	4年以上
授業時間	1,700時間以上	3,400時間以上
修了試験	試験等により成績を評価し、課程修了の認定を行う	試験等により成績を評価し、課程修了の認定を行う
履修要件	一	体系的に履修課程が編成されていること

出願に必要な書類

各学校により異なりますが、一般的には次のとおりです。詳しくは各学校に直接お問い合わせください。

- ① 入学願書(学校指定のもの)
- ② 高校の卒業証明書
- ③ 成績証明書(成績証明書)
- ④ 日本語能力試験合格証明書(日本語能力試験の合格者)
- ⑤ 日本留学試験合格証明書(日本留学試験の合格者)
- ⑥ 日本漢字能力検定合格証明書(海外在住の場合)

様々な入学方法と広がる進路

【各国から直接入学】
各国教育機関 卒業
(自国で大学卒業を済まし直接入学)

【日本国内の日本語教育機関から入学】
日本語教育機関 卒業
(日本語を習得後に入学)

【日本の大学・短期大学から入学】
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業し再入学)

専門学校

日本国内で就職

海外で就職・起業

日本の大学へ編入

在校生

日本語学校 → 専門学校



アキヨシ 斎藤さん
(大阪府出身)

貿易会社の仕事を通して、広い世界を舞台に活躍していきたい。
日本経済専門学校
コスト
アキヨシ 斎藤さん

高校1年生から留学(日本語を勉強)し、1年、2年と進み、日本の文化や生活に慣れた。そして、日本の大学で経済学を学んだ。卒業後、貿易会社の仕事に就いた。卒業後、貿易会社の仕事に就いた。卒業後、貿易会社の仕事に就いた。

在校生

日本語学校 → 専門学校



アンドリュー ピーロさん
(ロシア出身)

専門知識だけでなく、自分を律する大切さを学んだ。
日本経済専門学校
コスト
アンドリュー ピーロさん

大学時代に「経済学」を専攻し、卒業後、貿易会社の仕事に就いた。卒業後、貿易会社の仕事に就いた。卒業後、貿易会社の仕事に就いた。

在校生

海外 → 専門学校



ペトロ ピーロさん
(ロシア出身)

日常生活を便利にするために、語学を学ぶことが重要だ。
日本経済専門学校
コスト
ペトロ ピーロさん

子供の頃から日本文化に興味があった。日本語の能力を高め、日本の文化を体験するために日本に留学した。専門学校で学んでから、貿易会社の仕事に就いた。

卒業生

海外 → 専門学校 → 大学へ編入



キヨシ 岸本さん
(山口県出身)

日本の発達した技術や文化に魅了された。
日本経済専門学校 卒業
カイグワ 岸本さん

発達している日本の技術や文化に興味があった。日本語の能力を高め、日本の文化を体験するために日本に留学した。専門学校で学んでから、貿易会社の仕事に就いた。

卒業生

海外 → 専門学校 → 日本で就職



カズオ 斎藤さん
(大阪府出身)

日本の文化を理解したことが、ビジネスで役立つようになった。
日本経済専門学校 卒業
カズオ 斎藤さん

日本のゲームやアニメに興味があった。日本語の能力を高め、日本の文化を体験するために日本に留学した。専門学校で学んでから、貿易会社の仕事に就いた。

卒業生

海外 → 専門学校 → 大学へ編入



カズオ 斎藤さん
(大阪府出身)

日本の高い技術を活かしたブランドを立ち上げて活躍したい。
日本経済専門学校 卒業
カズオ 斎藤さん

日本のゲームやアニメに興味があった。日本語の能力を高め、日本の文化を体験するために日本に留学した。専門学校で学んでから、貿易会社の仕事に就いた。

様々な入学方法と広がる進路

【各国から直接入学】
各国教育機関 卒業
(自国で大学卒業を済まし直接入学)

【日本国内の日本語教育機関から入学】
日本語教育機関 卒業
(日本語を習得後に入学)

【日本の大学・短期大学から入学】
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業し再入学)

専門学校

日本国内で就職

海外で就職・起業

日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校



リョウ シヲハラさん

中学生の頃から憧れていたゲーム業界へ就職できました。
日本経済専門学校
リョウ シヲハラさん

中学生の頃からゲーム業界で働きたいと考えていました。卒業後、ゲーム業界で働きたいと考えていました。卒業後、ゲーム業界で働きたいと考えていました。

在校生

海外 → 専門学校



チョウ エンさん

接客サービスの国家検定に合格することができました。
日本経済専門学校
チョウ エンさん

接客サービスの国家検定に合格することができました。卒業後、接客サービスの国家検定に合格することができました。卒業後、接客サービスの国家検定に合格することができました。

卒業生

海外 → 専門学校 → 大学へ編入



チョウ エンさん

国際的なビジネススキルを身につけたい。
日本経済専門学校 卒業
チョウ エンさん

国際的なビジネススキルを身につけたい。卒業後、国際的なビジネススキルを身につけたい。卒業後、国際的なビジネススキルを身につけたい。

卒業生

海外 → 専門学校 → 日本で就職



チョウ エンさん

夢は世界的なファッションデザイナーになることです。
日本経済専門学校 卒業
チョウ エンさん

夢は世界的なファッションデザイナーになることです。卒業後、世界的なファッションデザイナーになることです。卒業後、世界的なファッションデザイナーになることです。

卒業生

海外 → 専門学校 → 海外で就職



チョウ エンさん

知識だけでなく、研究者や社会人としての姿勢を学びました。
日本経済専門学校 卒業
チョウ エンさん

知識だけでなく、研究者や社会人としての姿勢を学びました。卒業後、研究者や社会人としての姿勢を学びました。卒業後、研究者や社会人としての姿勢を学びました。

卒業生

海外 → 専門学校 → 海外で就職



チョウ エンさん

日本のゲーム業界での経験や知識を生かし、活躍しています。
日本経済専門学校 卒業
チョウ エンさん

日本のゲーム業界での経験や知識を生かし、活躍しています。卒業後、日本のゲーム業界での経験や知識を生かし、活躍しています。卒業後、日本のゲーム業界での経験や知識を生かし、活躍しています。

様々な入学方法と広がる進路

【各国から直接入学】
各国教育機関 卒業
(自国で大学卒業を済まし直接入学)

【日本国内の日本語教育機関から入学】
日本語教育機関 卒業
(日本語教育機関に入学)

【日本の大学、短期大学から入学】
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業し2年進学)

→ **専門学校** →

日本国内で就職

海外で就職・起業

日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校



日本に関する知識が豊かな、通訳・翻訳のプロをめざして。

日本外国語専門学校
コウ イテンさん

高校の専攻と大学で日本語を専攻していたが、金銭的に負担が大きいと感じた。金銭的な負担を減らすために、留学を希望。通訳の経験を活かし、学生生活で培った通訳の経験を生かして、通訳の仕事をしたい。通訳の経験を生かして、通訳の仕事をしたい。通訳の経験を生かして、通訳の仕事をしたい。

海外 → 専門学校



企業プロジェクトに参加して実践力が身につきました。

通訳専門学校
東京デザインカレッジ専門学校
ゼン ウェンズンさん

日本は文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。企業プロジェクトに参加して、実践力が身につきました。企業プロジェクトに参加して、実践力が身につきました。企業プロジェクトに参加して、実践力が身につきました。

海外 → 専門学校



初心を忘れず、卒業まで集中して学ぶことが好評です。

関西外国語専門学校
リン ギガンさん

日本は文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。初心を忘れず、卒業まで集中して学ぶことが好評です。初心を忘れず、卒業まで集中して学ぶことが好評です。初心を忘れず、卒業まで集中して学ぶことが好評です。

海外 → 専門学校



パソコンでデザイン作品を作る技術を身につけられました。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
コウ クウケンさん

日本は文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。パソコンでデザイン作品を作る技術を身につけられました。パソコンでデザイン作品を作る技術を身につけられました。パソコンでデザイン作品を作る技術を身につけられました。

卒業生

海外 → 専門学校 → 大学へ編入



日本の文化やサービスを体験できるところが留学の魅力です。

通訳専門学校
東京デザインカレッジ専門学校
ゴコ ヨネさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。日本の文化やサービスを体験できるところが留学の魅力です。日本の文化やサービスを体験できるところが留学の魅力です。日本の文化やサービスを体験できるところが留学の魅力です。

海外 → 専門学校 → 日本で就職



憧れのアーティストマネージャーとして頑張っています。

通訳専門学校
東京デザインカレッジ専門学校
ヨウ リョウさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。憧れのアーティストマネージャーとして頑張っています。憧れのアーティストマネージャーとして頑張っています。憧れのアーティストマネージャーとして頑張っています。

海外 → 専門学校 → 海外で就職



世界で活躍するファッションデザイナーを目指します。

通訳専門学校
東京デザインカレッジ専門学校
サイ イワンさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。世界で活躍するファッションデザイナーを目指します。世界で活躍するファッションデザイナーを目指します。世界で活躍するファッションデザイナーを目指します。

海外 → 専門学校 → 海外で就職



日本での経験が私の人生を変えてくれました。

通訳専門学校
東京デザインカレッジ専門学校
チエン テイさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。日本での経験が私の人生を変えてくれました。日本での経験が私の人生を変えてくれました。日本での経験が私の人生を変えてくれました。

様々な入学方法と広がる進路

【各国から直接入学】
各国教育機関 卒業
(自国で大学卒業を済まし直接入学)

【日本国内の日本語教育機関から入学】
日本語教育機関 卒業
(日本語教育機関に入学)

【日本の大学、短期大学から入学】
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業し2年進学)

→ **専門学校** →

日本国内で就職

海外で就職・起業

日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校



明るく優しい関西の人びとのおかげで、楽しい留学生活です。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
パク サンさん

日本の文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。明るく優しい関西の人びとのおかげで、楽しい留学生活です。明るく優しい関西の人びとのおかげで、楽しい留学生活です。明るく優しい関西の人びとのおかげで、楽しい留学生活です。

海外 → 専門学校



学校で学んだ技術で、友人のヘアセットができるように。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
エイジュン ヒシノさん

日本の文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。学校で学んだ技術で、友人のヘアセットができるように。学校で学んだ技術で、友人のヘアセットができるように。学校で学んだ技術で、友人のヘアセットができるように。

海外 → 専門学校



自分の好きな事について深く学べる喜びを感じました。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
ソン ヨンさん

日本の文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。自分の好きな事について深く学べる喜びを感じました。自分の好きな事について深く学べる喜びを感じました。自分の好きな事について深く学べる喜びを感じました。

海外 → 専門学校



留学で大切なのは、目標を決め、それを諦めないこと。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
パク ウンさん

日本の文化が豊かであると感じ、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。留学で大切なのは、目標を決め、それを諦めないこと。留学で大切なのは、目標を決め、それを諦めないこと。留学で大切なのは、目標を決め、それを諦めないこと。

卒業生

海外 → 専門学校 → 海外で就職



言葉以外にも学ぶことの多い留学。韓国の代表企業に就職しました。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
エイジュン ヒシノさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。言葉以外にも学ぶことの多い留学。韓国の代表企業に就職しました。言葉以外にも学ぶことの多い留学。韓国の代表企業に就職しました。言葉以外にも学ぶことの多い留学。韓国の代表企業に就職しました。

海外 → 専門学校 → 大学へ編入



言語に留まらず背景にある文化を学び、国際的に活躍したい。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
キム スンジンさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。言語に留まらず背景にある文化を学び、国際的に活躍したい。言語に留まらず背景にある文化を学び、国際的に活躍したい。言語に留まらず背景にある文化を学び、国際的に活躍したい。

海外 → 専門学校 → 日本で就職



実践的に学ばせてくれて、憧れのカメラマンになりました。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
エイジ サトウさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。実践的に学ばせてくれて、憧れのカメラマンになりました。実践的に学ばせてくれて、憧れのカメラマンになりました。実践的に学ばせてくれて、憧れのカメラマンになりました。

海外 → 専門学校 → 日本で就職



3年間一緒に泣いて笑って過ごした仲間が宝物です。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
ジョ Eunjinさん

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。3年間一緒に泣いて笑って過ごした仲間が宝物です。3年間一緒に泣いて笑って過ごした仲間が宝物です。3年間一緒に泣いて笑って過ごした仲間が宝物です。

海外 → 専門学校 → 海外で就職



音楽を深く学ぶために留学。将来の夢は有名プロデューサーです。

通訳専門学校
大阪デザインカレッジ専門学校
YJP Entertainment (KOREA)

高校で専攻していた日本語を専攻して、日本の企業で働くことを目指して、専門学校で学んだ。音楽を深く学ぶために留学。将来の夢は有名プロデューサーです。音楽を深く学ぶために留学。将来の夢は有名プロデューサーです。音楽を深く学ぶために留学。将来の夢は有名プロデューサーです。

様々な入学方法と広がる進路

【各国から直接入学】
各語教育機関 卒業
(自国で大学卒業後または直接入学)

【日本国内の日本語教育機関から入学】
日本語教育機関 卒業
(日本語教育機関に入学)

【日本の大学・短期大学から入学】
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業して再進学)

専門学校

日本国内で就職
海外で就職・起業
日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校

人生の一大イベントに
挑み、感動的な
瞬間をつくり上げたい。

大阪外語専門学校
チアラニッチャコーン
アリサさん

女性特有の悩み(月経不調)を抱えながらタイから入学してきていたが、専門学校で学ぶうちに解消された。タイに入学して日本の文化が大好きで、日本語が上手になったことが嬉しかった。卒業後はタイで就職したいと考えている。タイ人の生活スタイルや文化を学ぶことができて、とても勉強になった。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

交通の便が良く、
暮らしやすい国だと
思いました。

早稲田文芸専門学校
チアラニッチャコーン
アリサさん

父と母が日本に嫁いでいるので、日本に入学したいと考えていた。入学してからは、日本での生活が楽しく、友達もたくさんできた。卒業後は日本に就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

テレビ番組の制作を通して、
日本人の考え方を
学んでいます。

東京外語専門学校
シッチャコーン
アリサさん

テレビ番組の制作を通して、日本人の考え方を学んでいます。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

世界でもトップクラスの
ファッション学校で
学んでいます。

文化服装学院
シッチャコーン
アリサさん

世界でもトップクラスのファッション学校で学んでいます。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

壁を感じたら、自分が
強くなるチャンスだと
思うことが大切。

ECC国際外語専門学校
タナナナナナ
アリサさん

壁を感じたら、自分が強くなるチャンスだと思うことが大切。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

成功も失敗も自分次第。
しっかりと
目標を立ててほしい。

成功も失敗も自分次第。しっかりと目標を立ててほしい。卒業後はタイで就職したいと考えている。

卒業生

海外 → 専門学校 → 大学へ編入

インテリアデザインと
建築技術を活かし
母国発展に貢献したい。

大塚外語専門学校 卒業
アラニッチャコーン
アリサさん

インテリアデザインと建築技術を活かし、母国発展に貢献したい。卒業後はタイで就職したいと考えている。

卒業生

海外 → 専門学校 → 海外で就職

カメラのほとんどは日本製。
写真を学ばず
日本が一番です。

専門学校 ビジュアルアート 卒業
アラニッチャコーン
アリサさん

カメラのほとんどは日本製。写真を学ばず日本が一番です。卒業後はタイで就職したいと考えている。

様々な入学方法と広がる進路

【各国から直接入学】
各語教育機関 卒業
(自国で大学卒業後または直接入学)

【日本国内の日本語教育機関から入学】
日本語教育機関 卒業
(日本語教育機関に入学)

【日本の大学・短期大学から入学】
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業して再進学)

専門学校

日本国内で就職
海外で就職・起業
日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校

留学したことによって、
新しいドアを
開くことができました。

日本外語専門学校
グエン ティエン アインさん

留学したことによって、新しいドアを開くことができました。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

ビジネスを学び、
スポーツ関係の会社に
就職することが目標。

早稲田文芸専門学校
フナム タイさん

ビジネスを学び、スポーツ関係の会社に就職することが目標。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

日本のテレビ番組で、
誰かが笑ってくれることが夢。

東京外語専門学校
レナバリンさん

日本のテレビ番組で、誰かが笑ってくれることが夢。卒業後はタイで就職したいと考えている。

在校生

日本語学校 → 専門学校

異文化体験を積極的に
活かすことで
自分の幅が広がります。

ECC国際外語専門学校
レナバリンさん

異文化体験を積極的に活かすことで自分の幅が広がります。卒業後はタイで就職したいと考えている。

卒業生

海外 → 専門学校 → 日本で就職

将来は日本で学んだ
知識を活かし、
老人ホームを設立したい。

専門学校 デジタルアート 卒業
ファン ティエン アインさん

将来は日本で学んだ知識を活かし、老人ホームを設立したい。卒業後はタイで就職したいと考えている。

卒業生

海外 → 専門学校 → 日本で就職

将来は日本とベトナムの
交流の架け橋に
なりたいです。

専門学校 デジタルアート 卒業
ファン ティエン アインさん

将来は日本とベトナムの交流の架け橋になりたいです。卒業後はタイで就職したいと考えている。

様々な入学方法と広がる進路

[各国から直接入学]
各国教育機関 卒業
(自国で大学卒業後進学し直接入学)

[日本国内の日本語教育機関から入学]
日本語教育機関 卒業
(日本語教育機関に入学)

[日本の大学・短期大学から入学]
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業して再進学)

専門学校

日本国内で就職
海外で就職・起業
日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校

就職して経験を積み、自分自身のブランドを立ち上げた。

文化経営学専攻
ハリスター
エリザベスさん

高校生の時から日本のファッション文化に興味があったため、日本に進学したいと思ったので留学しました。今は現地の日本の専門学校で、就職に向けて実習や授業を受けています。将来はファッションブランドの立ち上げや、デザインの仕事に就きたいと考えています。日本ではなかった経験や、自分自身のブランドを立ち上げた経験が、今後の進路に活かせると思います。

日本語学校 → 専門学校

奨学金を得て来日し、アニメ映像制作について学びました。

文化経営学専攻
フナティ
ラマニさん

子供の頃からアニメに興味があり、2011年に文芸科学芸術専門学校に入学しました。奨学金を得て来日し、アニメ映像制作について学びました。現在は、アニメーション制作の現場で働くことができています。

日本語学校 → 専門学校

留学期間から得た経験や人との出会いで視野が広がりました。

文化経営学専攻
エドウィン
サントさん

日本の文化やデザインに興味があり、留学を決めました。現在は、ファッションデザインを専攻しています。留学で得た経験や、人との出会いで視野が広がりました。現在は、ファッションデザインの現場で働くことができています。

日本語学校 → 専門学校

昔ながらの文化が残っている日本に魅力を感じました。

文化経営学専攻
ニコル
スルディさん

生誕地である昔ながらの文化に興味があり、留学を決めました。現在は、ファッションデザインを専攻しています。留学で得た経験や、人との出会いで視野が広がりました。現在は、ファッションデザインの現場で働くことができています。

様々な入学方法と広がる進路

[各国から直接入学]
各国教育機関 卒業
(自国で大学卒業後進学し直接入学)

[日本国内の日本語教育機関から入学]
日本語教育機関 卒業
(日本語教育機関に入学)

[日本の大学・短期大学から入学]
大学・短期大学 卒業
(日本の大学を卒業して再進学)

専門学校

日本国内で就職
海外で就職・起業
日本の大学へ編入

在校生

海外 → 専門学校

ビジネスを学んで、弟と日本で入る料理のお店を開くのが夢。

文化経営学専攻
アヌタ
サハ
(タリ)

先に弟が日本に留学していたので、日本の学校の設備や環境を知りたいと思っていました。日本ではなかった経験や、自分自身のブランドを立ち上げた経験が、今後の進路に活かせると思います。

日本語学校 → 専門学校

海外からのお客さんの接客もできるようになりました。

文化経営学専攻
マナム
スマハさん

高校生の時から日本のファッション文化に興味があったため、日本に進学したいと思ったので留学しました。今は現地の日本の専門学校で、就職に向けて実習や授業を受けています。将来はファッションブランドの立ち上げや、デザインの仕事に就きたいと考えています。日本ではなかった経験や、自分自身のブランドを立ち上げた経験が、今後の進路に活かせると思います。

日本語学校 → 専門学校

質素の知識を身につけて、さまざまな国とつながりたい。

文化経営学専攻
ナラヤ
クマール
バシさん

高校生の時から日本のファッション文化に興味があったため、日本に進学したいと思ったので留学しました。今は現地の日本の専門学校で、就職に向けて実習や授業を受けています。将来はファッションブランドの立ち上げや、デザインの仕事に就きたいと考えています。日本ではなかった経験や、自分自身のブランドを立ち上げた経験が、今後の進路に活かせると思います。

日本語学校 → 専門学校

日本語を基礎から学び、憧れの水泳選手になれました。

文化経営学専攻
スネス
ジャエンさん

高校生の時から日本のファッション文化に興味があったため、日本に進学したいと思ったので留学しました。今は現地の日本の専門学校で、就職に向けて実習や授業を受けています。将来はファッションブランドの立ち上げや、デザインの仕事に就きたいと考えています。日本ではなかった経験や、自分自身のブランドを立ち上げた経験が、今後の進路に活かせると思います。

13

Procedures for immigrating to Japan

From choosing a school through admission procedures to enrollment

Apply for the issuance of a certificate of eligibility

[Applicant]

- The person who wants to study in Japan
- Agent (e.g., an employee of the institution accepting the student)*
- * In many cases, agents will handle the procedures.

[Documents required]

- Application for the issuance of a certificate of eligibility
- Photo
- Self-addressed envelope

In addition to the above, the documents to be submitted may vary among institutions. Ask the institution you are applying to.

Apply for a visa

After a certificate of eligibility has been issued, apply for a visa at the Japanese embassy for your country or an equivalent office.

[Documents required]

- Passport
- Visa application
- Photo
- Certificate of eligibility

In addition to the above, other documents may also be required.

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専門学校留学生就職アシスト事業

Japan: The easiest country to find a job in

Its combination of specialized skills and hospitality is drawing attention in Asia!

Welcome to a professional training college in Japan!

Message from the Office for the Promotion of Specialized Training College Education, Lifelong Learning Promotion Division, Lifelong Learning Policy Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

To everyone who wants to acquire vocational skills in Japan

Since the establishment of the professional training college system in 1976, professional training colleges in Japan have taken advantage of the characteristics of this flexible system and have become core institutions for practical education in response to changes in society. Today, nearly 650,000 students study at professional training colleges, which constitute an important part of the institutions of higher education in Japan.

Regarding vocational skills training, professional training colleges offer specialized and practical know-how in eight different fields, including Technology, Agriculture, Medical Care, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Business, Fashion and Home Economics and Culture and General Education. These professional training colleges are training the human resources who will be supporting the industries that are expected to continue to grow in the global market, from manga, animation, games, fashion and the other pop culture categories that are drawing attention around the world today and are collectively referred to as "Cool Japan," to environmental energy, IT and social infrastructure.

In Japan, professional training colleges are seen as producing important human resources that support society. Graduates from a professional training college are regarded, with great expectations, as having acquired specialized skills for a given workplace.

Regardless of economic trends, many graduates from professional training colleges have been successful in finding jobs. In particular, many Japanese companies that are expanding overseas want human resources who are capable of serving as a bridge between Japan and other countries, and have high expectations of foreign students who have learned specialized skills and Japanese culture at a professional training college.

After studying at a professional training college in Japan, you will be expected to expand the realm of your work worldwide as a professional who is practically equipped with vocational skills.

HOSPITALITY

HEALTH

FASHION

MEDICAL CARE

INDUSTRY

CULTURE ANIMATION

Acquire advanced, specialized qualifications and skills

Professional training colleges in Japan

Professional training colleges in Japan are institutions of higher education just like universities are. Aimed at helping people acquire the knowledge, techniques and skills necessary for jobs and life and to improve their general education, professional training colleges are spread into many different fields, such as Medical Care, Technology, Culture and General Education, Business, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Fashion and Home Economics and Agriculture.

Professional training colleges in Japan **Number: 2,811** **Number of students admitted: 269,788** **Total number of students: 587,330** (As of May 2013)

Position of professional training colleges in Japan

In the Japanese educational system, professional training colleges are regarded as institutions of higher education just like universities and two-year colleges, and offer vocational training in Japan at the stage of higher education. Currently, students who have studied for two or more years (i.e., had at least 1,700 hours of classes) at a professional training college receive a Diploma, whereas those who have studied for four years or more (i.e., had at least 3,400 hours of classes) receive an Advanced Diploma. Students with a Diploma are allowed to transfer to a university, and students with an Advanced Diploma may enroll in a graduate school.

Classification of educational institutions		Classification of educational institutions	
Graduate School	Doctorate degree	University/college	Bachelor's degree
Junior College	Associate degree	Professional Training College	Diploma

* Students who have graduated from a two-year or longer program receive a Diploma, and students who have graduated from a four-year program receive an Advanced Diploma. Depending on what you study at a professional training college, you may have a career path to a higher educational institution in another country or similar.

Advantages of studying at a professional training college

The biggest advantage of studying at a Japanese professional training college is the direct path to a professional career. Professional training colleges are designed for students to acquire an advanced specialty in any field of profession. Today, they play an important role in higher educational institutions, just like universities do.

Very beneficial for finding a job, and also allow you to transfer to a university

Professional training colleges have always been known to provide a wide range of job opportunities. As a vocational training institution, professional training colleges provide a direct path to a job. The average placement rate for graduates from professional training colleges is high. The average placement rate for graduates from universities and two-year colleges is also high. The average placement rate for graduates from professional training colleges is 77.7%, which is higher than that of universities (75.4%) and two-year colleges (75.2%).

The opportunity to learn specialized skills and knowledge that can be applied anywhere in the world

Today, Japan's technical culture is attracting attention around the world. Professional training colleges provide the world with many specialized skills and knowledge. These skills and knowledge can be applied anywhere in the world. For example, the skills learned at a professional training college can be applied in a foreign country or in a different industry.

Excellent environments, facilities and equipment

For example, professional training colleges in animation design and other media-related fields provide excellent environments, facilities and equipment. Professional training colleges in these fields provide a high level of education and training. The environments, facilities and equipment are of a high level, and the education and training is of a high level.

Technical Skill

All instructors at professional training colleges are specialists in their fields. Therefore, the knowledge gained at these colleges is first class and immediately applicable to the relevant industry. Many of these colleges proactively run internship programs, allowing students to acquire Japanese companies' know-how while continuing to be enrolled in the college. Japanese companies are notable worldwide in the fields of technology, automobiles, household appliances, fashion, and many others. Being exposed to these companies' know-how will definitely give you a huge head start.

Hospitality

The word *omotenashi*, which means "hospitality," was effectively referenced at the presentation last year to host the Olympics in Tokyo. This reference really got people talking. Japan is the country of hospitality, and always places importance on manners and courtesy. In Japan, a high level of *omotenashi* is required in any industry or field, including tourism, restaurant, medical care or education. By living safely in Japan, you will be continually exposed to hospitality skills. This is a great advantage.

The spirit of *omotenashi* unique to Japan

The word *omotenashi*, which means "hospitality," was effectively referenced at the presentation last year to host the Olympics in Tokyo. This reference really got people talking. Japan is the country of hospitality, and always places importance on manners and courtesy. In Japan, a high level of *omotenashi* is required in any industry or field, including tourism, restaurant, medical care or education. By living safely in Japan, you will be continually exposed to hospitality skills. This is a great advantage.

専門学校留学パンフレット [英語版] : p.5-6

Specialized training and extensive job opportunities covering many job categories

Why do professional training colleges offer such extensive job opportunities? Because their programs provide outstanding specialization in their respective fields. Professional training colleges cover many job areas, including medical care, welfare, childcare, teaching, cosmetology/makeup, cooking/confectionery making/nutrition, hotel/tourism/transportation, sports/social welfare, pets/animals, clothing/fashion, music/instruments, mass media/entertainment/editing, programming/computers/games, voiceover/manga/animation, design/art, calligraphy, architecture/civil engineering/interior design, civil service/business, automobile/mechanics/motor sports, electricity/electronics, the environment, biotechnology/agriculture/chemistry/aircraft mechanics/flying, and many others. It is important that you choose the right college based on what you want to be.

Want to fully utilize your talent? (Culture and General Education, Personal Care and Nutrition, Fashion and Home Economics)	Want a job making something? (Technology, Agriculture)	Want to be a business professional? (Business)	Want to help others? (Medical Care, Education and Welfare)
Major fields ● Cosmetology ● Design ● Cooking, confectionery making and baking ● Music ● Language ● Animals ● Fashion ● Film and broadcasting, etc.	Information processing ● Automobile mechanics ● Civil engineering and architecture ● Electricity and electronics ● Machinery ● Biotechnology, etc.	Business ● Accounting and bookkeeping ● Information ● Commerce ● Management ● Secretarial, etc.	Nursing ● Physical/occupational therapy ● Dental hygiene ● Judo therapy ● Care welfare, etc.
Professional qualifications for jobs and examinations ● Beautician ● Cook ● Confectionery hygiene master ● Fashion business competency examination ● TOEIC, etc.	Information processing ● Automobile mechanic ● Architect ● Electrician ● Aircraft mechanic ● Land surveyor, etc.	Business ● Tax accountant ● Travel specialist ● Bookkeeping test ● Secretary test ● Business competency test, etc.	Nurse ● Dental hygienist ● Physical therapist ● Occupational therapist ● Care worker ● Clinical laboratory technologist, etc.
Jobs ● Graphic designer ● Fashion designer ● Illustrator ● Interpreter/Guide ● Beautician ● Cook ● Pastry chef, etc.	System engineer ● IT engineer ● Game designer ● Automobile mechanic ● Architect ● Broadcast engineer, etc.	Tourism ● Hotel staff ● Tax accountant ● Medical staff ● Secretary ● Flight attendant, etc.	Nurse ● Dental hygienist ● Physical therapist ● Radiology technologist ● Orphanist ● Clinical engineering technologist, etc.

* A note: Appointed students may not necessarily be allowed to work in Japan, even if they have acquired a qualification or similar after graduating from a professional training college. Also, the foreign qualification may not be recognized in Japan.
* This is the latest information as of February 2014. In addition to the above, other qualifications may also be required.

Many foreign students study in Japan every year

Requirements for entrance to a professional training college and a Diploma/Advanced Diploma

Entrance You must satisfy at least one of the following requirements:

- Have completed 12 years of education overseas;
- Have passed a national achievement test overseas, equivalent to the completion of 12 years of education, and are at least 18 years old;
- Have completed a study program at a foreign national's school in Japan designated as equivalent to a foreign high school, and are at least 18 years old;
- Have received an international baccalaureate degree, an abitur degree or a baccalaureate degree, and are at least 18 years old;
- Have completed 12 years of education at a foreign national's school operating in Japan that is authorized by an international rating organization (WASC, CIS or ACSC), and are at least 18 years old;
- Have been deemed by a professional training college to have academic skills equivalent to a high school graduate based on a review of your enrollment eligibility, and are at least 18 years old.

For (1) through (3), if you have not completed 12 years of education, you need to satisfy one of the following requirements to be eligible for enrollment:
 (1) Enroll in a higher educational institution, such as a university, in your country for one or two years to complete 12 years of education; or
 (2) Enroll in a course designed to prepare you to be admitted to a university, and study for one or two years.
 If you satisfy any of these requirements you will be qualified to enter a professional training college.

Japanese proficiency You must satisfy one of the following requirements:

- Have received Japanese language training for six months or more at one of the teaching institutions included in the notification by the Minister of Justice;
- Have passed N1 or N2 of the Japanese Language Proficiency Test provided by the Japan Educational Exchanges and Services and the Japan Foundation;
- Have received a year or more of education at an elementary school, junior high school or high school in Japan;
- Have scored at least 200 points in the Japanese language (total score for reading, listening and listening/reading) on the Examination for Japanese University Admission for International Students;
- Have scored at least 400 points on the JUT Business Japanese Proficiency Test provided by the Japan Kangi Aptitude Testing Public Interest Foundation; or
- Have passed Grade 1 or 2 of the Japanese Language NAT-TEST provided by Semmon Kyokai Publishing.

	Diploma	Advanced Diploma
Entrance	April (some students may enter in October)	April (some students may enter in October)
Term at the college	2 years or more	2 years or more
Hours spent in classes	1,700 hours or more	3,400 hours or more
Certificate of completion	A test or similar will be given and the results will be reviewed before the completion of the course is verified.	A test or similar will be given and the results will be reviewed before the completion of the course is verified.
Course	—	The course has been systematically organized.

Documents required for application*
 The following documents are generally required, although there are some differences among professional training colleges. For details, contact the college you wish to apply to.
 (1) Completed application form specified by the college
 (2) High school graduation certificate
 (3) Academic transcript from your last school
 (4) Attendance certificate and academic transcript from a Japanese language teaching institution (if you reside in Japan)
 (5) Photo
 (6) Health report
 (7) Any document proving your ability to pay your school expenses (e.g., a bank statement from you or your guarantor)

Entrance examination for a professional training college
 The entrance examination focuses on whether you have a clear sense of purpose in a given field, whether your proficiency in Japanese and academic skills are sufficient for you to follow the classes, and whether you are sufficiently motivated to learn.

* Applicants must be sure to secure enough assets, a scholarship or other means to pay all the expenses needed throughout their stay in Japan. However, this may not apply if someone other than the applicant is shouldering the expenses for the applicant's time in Japan.

16

Many different ways to enroll and expand your career options

(Directly from your country)
Graduate from an educational institution in your country. Graduates are recommended by Japanese companies to enroll in Japanese language schools in Japan, and attend the college right after you arrive.

(From a Japanese language teaching institution in Japan)
Graduate from a Japanese language teaching institution in Japan. Then the Japanese language school enrolls in a professional training college.

(From a university or two-year college in Japan)
Graduate from a university or two-year college in Japan. Then the Japanese language school enrolls in a professional training college.

Professional training college

Find a job in Japan

Find a job or start a business outside of Japan

Transfer to a Japanese university

Current student

Japanese language school → **Professional training college**

It is important to learn in advance the culture and customs of the country you are going to.

PRUNIERES MATHILDE
CECILE EDITH
(France)

Since I was a child, I have longed to experience Japanese culture and life. I decided to go to Japan, hoping to experience life in this country at least once. At college, I am learning Japanese performance with the aim of starting a professional career. As the Japanese people I meet are gentle and kind. Whenever I have a problem, there is always someone to help me out. This makes me feel secure. If you are planning to go to Japan to study, be sure to learn about and understand Japanese culture and customs in advance. Otherwise you may be confused when you discover that something is unacceptable in Japan that is taken for granted in your country.

Current student

Japanese language school → **Professional training college**

The process of trying to achieve your dreams and goals is a lot of fun.

VINCENT TUIJP
(Netherlands)

Watching Japanese animation kindled my interest in Japanese culture and Japanese people's lives. So I decided to go to Japan to study. From college, through group productions I learned the importance of team activities and leadership. In addition to learning the skills related to game production, I also feel pursuing my goals to be a lot of fun. In my daily life, I am very impressed by the Japanese people's characteristic politeness and spirit of hospitality. If you are planning to study abroad, I would definitely recommend that you come to Japan to follow your dreams.

Current student

Japanese university → **Professional training college**

By working at a trading company, I plan to extend the scope of my activities to a broader global sphere.

Costa Alexandre
(Portugal)

When I was in my first year of high school, I started teaching myself Japanese. Since my country is very small, I hoped to extend the scope of my activities to a broader global sphere. So I decided to go to Japan to study. First, I learned Japanese at a Japanese university. I became serious about pursuing a professional career, and after graduating from university I decided to go to the Japan College of Foreign Languages. That college gave me detailed information on how to commit to and prepare for a job search, as well as to help me know the kind of information my university did not teach. Now I am studying hard with the goal of getting a job in a trading company.

Current student

Japanese language school → **Professional training college**

In addition to specialized knowledge, I learned the importance of self-discipline.

KHMYROV ANDREY
(Russia)

When I was at university, I became interested in Japanese literature, represented by such writers as Ryunosuke Akutagawa, Yasunari Kawabata, and Kobo Abe. This led me to start learning the Japanese language. In college, I learned the importance of self-discipline as well as specialized knowledge. Self-discipline is hard, but I think it is a very important skill. Being able to do it can change your whole life. After joining a company, I plan to become involved in developing IT systems as a system engineer. While I will continue to strive to improve, I will keep trying to find a job that serves as a bridge between Russia and Japan.

Current student

Outside of Japan → **Professional training college**

Expanding your vocabulary is important to facilitate your daily life.

PETROV ALEXANDER
(Russia)

I have been interested in Japanese culture since childhood. So I decided to go to Japan to improve my Japanese language skills and experience Japanese culture. The most important thing to do when studying at a professional training college is to expand your vocabulary. In many situations, you will not have a dictionary at hand. The more Japanese words you know, the easier things will be. Studying abroad is a lot of fun, but it is also lonely to be separated from your family and the other people you know. If you get lonely, remember why you are here, regain your confidence, and move forward.

Current student

Outside of Japan → **Professional training college** → **Transfer to university**

I plan to learn Japan's advanced technologies and contribute to Kenya's architectural industry.

KAIGWA TWELI
GICHUHI
(Kenya)

I came to Japan to study the country's advanced architectural technologies. I had heard that Japan is a safe country and that its people are kind. So I wasn't worried about living in Japan. After I transferred to a university, I realized that a lot of the basic knowledge I learned at the professional training college can be used in many different situations. I am confident that I made the right decision to study at a professional training college. In the future, I plan to go to a Japanese company to learn work procedures and acquire skills, bring back this knowledge to Kenya, and contribute to my country's construction industry. Japan is blessed with an amazing culture. If you get a chance, why not come and experience it?

Current student

Japanese language school → **Professional training college**

In order to become an architect, I am studying in Japan, where the latest architectural technologies are taught.

ENG HAKSENG
(Cambodia)

Despite Japan's frequent earthquakes, there are many high-rise buildings in its major cities. Seeking to learn Japan's outstanding architectural technologies, I came to this country and entered a professional training college that teaches construction. Although I am not very fluent in Japanese, my teacher and friends are kindly assisting me, which is very helpful. One of my objectives when I arrived in Japan was to find them useful when I start my professional career. The college has a high graduation rate. I plan to find a job in Japan and gain knowledge and experience before returning to Cambodia to open an office. My first goal now is to get an architect's license.

Current student

Japanese language school → **Professional training college**

I became interested in studying in Japan, a country with the world's top technologies.

RADINIANA HENINTSARABIDY TOKINIRINA
(Madagascar)

I naturally enjoy studying technology. I believed that Japan would be the optimal place to learn the latest technologies, as it has the best in the world. So I decided to go to Japan to study. At my school, we are gaining a wide range of knowledge from basic to expert. When I obtained a national qualification as a "telecommunications construction engineer (CC Type 1)", I was happy to be able to my country back. Right after I arrived in Japan, I was confused about the different language and culture. Now that I am in this country comfortably, if you are planning to study abroad, I recommend Japan.

Current student

Outside of Japan → **Professional training college** → **Find a job in Japan**

Learning about Japanese culture helped me find a job.

JOHANNES SUNDLOV
(Sweden)

I like Japanese games and animation. As I became interested in Japan, I decided to go to the country, as I had dreamed of working at a Japanese games company. Needless to say, I acquired CC skills in college. Furthermore, studying with my Japanese friends every day deepened my understanding of Japanese culture. In fact, this was very helpful for joining a Japanese company as a CG designer. In the gaming industry, I will continue to improve my CG skills and become a leading designer.

Current student

Outside of Japan → **Professional training college** → **Transfer to university**

I plan to launch my own brand by utilizing Japan's advanced techniques.

VESELOVA Viktoriya
(Bulgaria)

I came to Japan because I was inspired by Japanese culture, such as its art and architecture. At university, I am studying sewing and tailoring in addition to the language. I am taking a course on design drawing to improve my expression, and am also learning how to start a business. All my classes are practical. The college's facilities and equipment are amazing and are helping to expand the possibilities of design. My goal is to launch my own brand by utilizing Japan's advanced techniques, and focus on being creative. Fully pursuing what you enjoy is the key to success. Set a goal and strive to achieve it.

Japan welcomes foreign students

In Japan, professional training colleges as well as the government, educational institutions, private enterprises and many other institutions are willing to accept foreign students. A high level of security ensures that you always feel safe. Japanese traditional culture has attracted attention internationally. Japan also has modern cities and nature-rich environments. Here, you have everything you need to ensure that you will be very satisfied when studying abroad.

Advantages of studying in Japan

1 The highest level of security in the world

You can always feel secure about studying in Japan, one of the safest countries in the world. You will also experience the good-natured and kind character of the Japanese people in many situations.

2 Wide availability of dormitories and apartments

Many professional training colleges partner with or own dormitories or apartments to accommodate foreign students. You will definitely find a place that is comfortable and convenient for commuting.

3 Exposure to Japanese traditions and culture

Japan has modern cities, abundant nature and a unique culture of animation and fashion that has drawn attention around the world. Every day you will discover many new things.

4 Japan ensures that foreign students are very satisfied

According to one survey, many foreign students who have studied in Japan are satisfied with their experience in the country. The hospitality of its services, the character of its people, and the ability to study and working part-time will enrich your life and studies in Japan. This is something you can't experience in any other country.

Impressions of Japan after coming to this country

	Classification	Better	Worse	Don't know	Total
Your impression of studying in this country	Number (Japanese)	4,131	179	1,418	5,728
	Percentage (%)	71.3	3.2	25.9	100.0
	n=2009 (%)	69.4	3.6	26.8	100.0
	n=2007 (%)	69.0	3.6	27.8	100.0
Your impression of Japanese people after coming to this country	Classification	Better	Worse	Don't know	Total
	Number (Japanese)	4,131	287	802	5,220
	Percentage (%)	65.1	4.1	28.4	100.0
	n=2009 (%)	60.3	5.6	33.6	100.0
Overall impression of Japan	Classification	Better	Worse	Don't know	Total
	Number (Japanese)	5,551	54	657	6,262
	Percentage (%)	85.0	0.8	14.2	100.0
	n=2009 (%)	85.1	1.4	13.0	100.0

Reference: 2013 JASSO survey*

School expenses (amount paid in the first year)

The practical training fee and textbook fee must be paid in addition to the money payable in the first year—namely, the admission fee and tuition. Fees differ among fields and colleges. The following should be considered as a rough standard.

Tuition, etc. (yen)	784,000	—	1,182,000
Admission fee (yen)	126,000	—	278,000
Total (yen)	963,000	—	1,384,000
Total (dollars)	10,700	—	15,378

*Calculated on the assumption that 1 US dollar equals 90 yen
*Average amount for daytime classes (data provided by the Metropolitan Tokyo Professional Institution Association)
*The above expenses may vary among fields.

Scholarships

Foreign students who officially enter a professional training college in Japan may receive a scholarship from the national or local government or the relevant professional training college, or enjoy a reduction in or exemption of their school expenses.

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology grant-in-aid for foreign students

Application	Recipients	Monthly fee	Inquiries
Before admission	Individuals who have taken the Examination for Admission to Japan to Study Abroad (Examination for Admission to Japan to Study Abroad)	48,000 yen	JASSO (Japan Student Services Organization) http://www.jasso.go.jp/scholarship/yo/yakusaido.html
After admission	Professional training college	The relevant professional training college	

Government-sponsored foreign students: Foreign students in specialized training colleges are recruited through the diplomatic establishments located in the overseas countries, and are recommended by the embassy/consulate for recruitment. For details, contact the diplomatic establishment.

In addition, you may receive a scholarship from another organization or be eligible for a reduction/inexemption of school expenses or a scholarship from the professional training college you are admitted to.

Part-time jobs

According to a JASSO survey, nearly 76% of foreign students work part time. Restaurant-related jobs are the most common, followed by sales, teaching/research assistant and hotel staff/part staff, among others. The hourly wage ranges from 800 yen to 1,200 yen for a restaurant job, with some differences between jobs and regions. If you work 28 hours a week, the maximum weekly working hours provided by the law, you will make about 80,000 to 120,000 yen a month. To work part time, you must obtain from the nearest Immigration Bureau or equivalent permission to engage in activities other than those permitted, and attest to the following:

- (1) That the part-time job will not hinder your studies.
- (2) That the part-time job is to supplement your school expenses and/or other necessary expenses, and is not for savings or for sending money home.
- (3) That the part-time job does not involve the sex industry.
- (4) That you will not work longer than 28 hours a week (or 8 hours a day during a long break).
- (5) That the part-time job is allowed only during the period of your enrollment in the training institution.

Major part-time jobs for foreign students

Job	Percentage
1 Restaurant	48.8%
2 Sales	25.2%
3 Language teacher	7.0%
4 Hotel receptionist, hall staff	5.7%
5 Teaching / research assistant	5.5%
6 Cleaning	4.6%
7 Clerical work	4.3%
8 Translation, interpretation	4.2%
9 Factory work, assembling	3.7%
10 Tutoring	3.2%

Reference: 2013 JASSO survey*

*If you work without permission or work beyond the time or scope permitted, you may be punished or forced to leave the country.
Institutions such as professional training colleges and public employment agencies around the country, known as Hello Work, offer foreign students part-time jobs.

Guidebook on Professional Training Colleges

平成25年度 文部科学省委託事業 専修学校留学生就職アシスト事業

Published on March 4, 2014
[Editor/Publisher] 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
Association of Technical and Career Education
Asaka Ichigaya Annex 1F, 4-2-25 Kojin-Kita, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0073
TEL: +81-3-3230-4814 | http://www.sgec.or.jp/
[Editorial supervisor] 専修学校留学生就職アシスト事業 情報提供事業分科会
[Editorial assistance] 株式会社アクセルード

来日本的入国手续

从选择学校到办理入学手续、入学

你的母国

留学志愿者

① 签证申请

② 签证发信

驻外使馆

日本

预定留学的教育机构

① 在留资格认定证明书交付书提交

② 审查、认定证明书交付

地方入国管理局

③ 资格审查

入国管理局机场支局等 派出所

④ 资格许可

专门学校入学、开始上课

在留资格认定证明书交付的申请

【申请人】
■留学志愿者本人
■代理人(受委托的职员等) ※
※较多的场合是由代理人办理

【必要资料】
■在留资格认定证明书交付的申请书
■照片
■护照复印件
■其他 各受理机构所需提交资料有所不同,请向有关机构咨询。

签证申请

收到“在留资格认定证明书”后,请向自己国家所在的日本大使馆等提出申请。

【必要资料】
■护照复印件
■在留资格认定证明书
■照片
■在留资格认定证明书
※向各使领馆索取上述资料的资料。



PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専門学校留学生就職アシスト事業

世界上最易就职的国家“日本”

专业技术+热忱服务受到亚洲国家的关注!

日本的专门学校欢迎你!

~Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Lifelong Learning Policy Bureau, Lifelong Learning Promotion Division, Office for the Promotion of Specialized Training College Educationの致词~

致有意在日本学习掌握职业技能的各位

日本的专门学校制度自1976年起步以来,发挥灵活的制度特色,作为一个开展适应社会变化的实践职业教育的核心机构而发展至今。现在,在校生的有65万人,成为我国高等教育机构的重要组成部分。

专门学校在开展职业教育时,根据不同的目的而设定8个科目领域,即工业、农业、医疗、卫生、教育及社会福祉、商业实务、服饰及家政、文化及教养,分别传授用于实际工作的专业技能。其中包括受到当今世界关注的漫画、动画、电竞、时装之类的被称为“酷日本”的流行文化,以及环境能源、IT、社会基础设施等在今后的世界市场上具有发展前景的产业,专门学校则为这些产业的发展培养所需要的专门人才。

在日本,专门学校被认为是支撑社会发展的重要人才培养的学校。专门学校毕业的人作为掌握了职场专业技术的人才而被寄予期待。

同时,无论经济形势如何,专门学校始终保持着较高的就业率,尤其是在日本与海外国家之间发挥桥梁作用的人才,他们在寻求在日本与海外国家之间发挥桥梁作用的人才,具有专门技术并学习过日本文化的专门学校留学生受到社会的热烈欢迎。

希望各位来日本的专门学校留学,掌握实际的职业技能,并在未来作为一名专家活跃在世界各个事业领域。



热忱服务

健康

医疗、福祉

时装

工业

文化、动漫

IT、网络

近年来,包括东南亚在内的亚洲圈的经济,产业发展日新月异,其中也出现了引领世界经济的产业。

发展中国也无一例外,它们成为海外国家的工业、城建基础设施以及制造业、食品业、时装及美容、传媒等广泛行业的外包业务基地,并因此受到世界的关注。

迄今为止,日本在诸多产业领域以“日本的技术力量”与“礼貌、热忱的服务精神”为武器,为各国的发展做出了贡献。

而为这一事业培养基础人才的专门教育机构,就是“专门学校”。

“专门学校”是国家设定的正规教育机构,它被授予与就职直接相关的各种资格文凭。

每年有很多外国留学生进入日本的“专门学校”学习,其人数目前已达到了约25,000人。

在生活安全、容易就业以及动漫、饮食、自然生态等文化受到世界高度评价的日本,希望大家在“专门学校”不仅学习技术,取得资格文凭,同时也掌握各种技能并吸收各种文化。

为今后在日本企业的就职或是母国的实力企业大显身手打下基础!

04

形式多样的入学方法与广阔的发展前景

在日本国内就业

- [从各国直接入学]
各国教育机构 毕业
(日本国际大学、早稻田大学)
- [从日本国内的日语教育机构入学]
日语教育机构 毕业
(学部日语专修)
- [从日本的大学、短期大学入学]
日本大学、短期大学 毕业
(从日本大学大学院(研究生院)入学)

专门学校

在海外就业、创业

编入日本的大学

在校生

海外 | 专门学校

在从小就向往的游戏行业找到了工作。

Japan Electronics College
梁 萌枝

从上学的时候开始，就一直向往在游戏行业工作。为了实现这个日本自己的梦想，大学毕业后，她决定来日本寻找自己的理想职业。在校期间，她不仅学习了日语设计知识，还参加了很多社团活动。通过团队合作和项目实践，她不断提升了自己的专业技能。现在，她已经成功进入游戏公司，从事游戏设计工作。她表示，在日本的学习和生活经历让她受益匪浅，也为她的职业发展打下了坚实的基础。

在校生

海外 | 专门学校

成功通过了礼宾服务国家指定考试。

Tohoku Foreign Language & Tourism College
赵 茜

从前就读于中国知名外语大学三年。期间，她对日语和日本文化产生了浓厚兴趣。之后，作为留学生又来到了日本。现在她在专门学校学习和生活。在这里，她学习到了更实用的日语和专业知识，更重要的是，她结交了许多志同道合的朋友。她还参加了各种社会实践活动，锻炼了自己的沟通能力。她表示，在日本的留学经历让她更加自信和成熟，为未来的职业生涯做好了准备。

毕业生

海外 | 专门学校

我的梦想是成为活跃在全球的服装设计师。

Bunka Fashion College
赵 雪 丰
Bunka Fashion Graduate University

为了学习日本最新的时尚设计理念，我来到日本留学。进入大学后，我接触到了最前沿的时尚知识和技术。老师们的专业指导和同学们的互相激励让我不断进步。在校期间，我还参加了多次国际时装周的设计比赛，并获得了优异的成绩。现在，我已经顺利毕业，并将前往国外深造，继续追求我的时尚梦想。

毕业生

海外 | 专门学校

我不仅学习了知识，还学习到作为研究员、社会的一丝不苟的态度。

Tokai Bio Medical Professional School
苏 浩
Osaka Takken Co., Ltd.

为了掌握在大学所学不到的专业领域知识，我决定到日本留学。学校在先进的设备上配备了最先进的实验室设施，为我提供了良好的学习环境。在这里，我不仅学到了扎实的理论知识，还培养了严谨的研究态度和团队合作精神。通过与导师和同学的深入交流，我对生物医学领域的研究有了更深入的了解。现在，我已经顺利毕业，并将投身于相关领域的研究工作。

在校生

日语学校 | 专门学校

我在日本成为临床心理学士，同时积累自己学到的知识。

Osaka High Technology College
孙 宏 尧

我喜欢在中国的大专学习心理学专业。进入大学后，我发现日本 High Technology College 设立了心理学科。因此，我选择了该校。在校期间，我不仅学习了专业的心理学知识，还参加了各种实践活动。通过与老师和同学的交流，我对心理学有了更深刻的理解。现在，我已经顺利毕业，并将成为一名临床心理学家，为社会贡献自己的力量。

毕业生

海外 | 专门学校

有关日本的知识在应聘面试中发挥了很大的作用。

School Japan College of Foreign Languages
王 素 心
Waseda University Graduate School

虽然我在中国度过了日本语学习时间，但为了达到更好的学习效果，我选择了来日本留学。在日本期间，我不仅提高了日语水平，还深入了解了对日本社会的各个方面。这些宝贵的经验在我的求职过程中起到了关键作用。面试官对我的日语能力和对日本文化的了解表示赞赏。现在，我已经顺利毕业，并将继续在相关领域深造。

毕业生

海外 | 专门学校

在学校学习的Excel知识对工作帮助很大。

Work on Digital Arts Sendai
林 森
GEORA Co., Ltd.

为了尝试自己的可能性，我选择来日本留学。日本案例丰富，治安良好，非常适合留学生生活和学习。在校期间，我学到了很多实用的技能，特别是Excel知识，这对我的工作非常有帮助。通过与老师的交流和参与项目，我不断提升了自己的专业能力。现在，我已经顺利毕业，并将投身于数字艺术领域的工作。

毕业生

海外 | 专门学校

积累了各种经验、学习各种知识，在人生中必不可少。

Shonan Communication Arts College
徐 程 辉
Shanghai Longjiao Game Company

为了成为一名能够在游戏开发领域有所作为的人，我决定到日本留学。在校期间，我不仅学习了专业的游戏开发知识，还积累了丰富的实践经验。通过与老师和同学的交流，我对游戏开发有了更深入的了解。现在，我已经顺利毕业，并将投身于游戏开发行业，为实现自己的梦想而努力。

学费（第一年度缴纳金额）

学费除了第一年度的入学费、学费，还缴纳纳实习费、教材费等。
全额按照所学专业领域以及学历的不同而有很大的差别。这是需要人知的金额。

学 费（日元）	784,000 ~ 1,182,000
入学费（日元）	126,000 ~ 278,000
总 计（日元）	963,000 ~ 1,384,000
总 计（美元）	10,700 ~ 15,378



日本大学・2025年度招生 中央大学的千叶校区（原惠庭町）（左起）为留学生提供宿舍和食堂的设施。右上方为东横酒店。

奖学金

对于正编进入专门学校学习的留学生，将根据不同的国家、地区以及所入学的专门学校，实行相应的奖学金及学费减免制度。

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology 外国留学生学习奖励金发放制度

名称	对象	金额	官方网站
留学奖	日本政府认定(在日)归国者并具备输入(在日)归国者	48,000日元	JASSO(Japan Student Services Organization) http://www.jasso.go.jp/scholarship/jyokusoindex.html
留学后	专门学校		所入学的专门学校

公费 外国留学生奖励金
① 专门学校学生：通过在日本对留学生的支援进行推行并由大使馆推荐。
② 取得日语能力有提升待遇的。

此外还有各种团体的奖学金，所入学的专门学校实行的学费减免制度及奖学金提供。

课余打工

根据JASSO的调查，约76%的留学生在课余打工。从工作种类来看，饮食业最多，其次是零售业、授课与调查助理、酒店前台及大型服务人员等，每小时的工资因工种类型以及地区而有所不同，伙食费为800日元~1,200日元左右。因此，按法定每周打工时间上限为28小时计算，每月打工约有8万日元~12万日元的收入。兼打工的话，可以制衡自己的生活费等等赚取额外津贴的许可，并在以下的条件下进行打工。

- ① 不影响学习。
- ② 以作为学生期间的学费及必要生活的补充为目的，而不是以蓄积资金。
- ③ 不能妨碍学业。
- ④ 每周在28小时以内(长期居留128小时以内)。
- ⑤ 教育机构在学期期间的打工。

并且，从2012年7月9日起，在兼职工作时交付在兼职卡的(在当日仅为便利店、药店、复印店、中邮机构以及关西机场)也可以申请资格外活动许可。

从事非许可型打工、超过上述条件中的任何一项或兼做校内的工作时，将会受到学校的纪律处分。

课余打工的介绍，由所在学校以及全国的公共就业安定所“HelloWork”等进行。

	职业类别	比率
1	饮食业	46.8%
2	零售业	25.3%
3	服务业	7.5%
4	销售宣传、大型服务人员	5.7%
5	授课与调查助理	5.5%
6	保洁	4.5%
7	事务	4.3%
8	教育课	4.2%
9	工厂、制造业	3.7%
10	家政服务	3.2%

<参考 2013年 JASSO的调查>

日本欢迎留学生

在日本，不仅专门学校、政府、教育机构、民间企业等全国各阶层都在积极地接受外国留学生。
使人能够安心生活的良好治安，令世界瞩目的传统文化、现代化的城市，丰富的自然资源，都在创造着一个留学生高度满意的留学生活环境。

在日本学习的优势

1 世界一流的良好治安

日本有着世界一流的良好治安，从而使留学生安心生活。留学生也会在在很多方面都感受到日本国民的温柔和亲和。



2 完善的学生宿舍、公共设施

很多专门学校都有学生宿舍，或与公共住宅合作提供或独自拥有，以保证留学生的居住。所以，留学生一定能找到舒适、上学的方便。



3 接触日本的传统与文化

现代的城市，丰富的自然生态，丰富世界的习俗、对谈等文化。每一天都会给人带来新的发现。



4 高度满意的留学生生活能够得到实现

很多通过日本留学学校的外国留学生对在日期间的生活“在日本留学太好了”表达了较高的满意度。日本的物价最高以及国民性，可以打造打工学习环境等，都将给留学生带来一段其他国家所没有的充实的留学体验。

留学针对日本的数据

	人数	增幅	女性	派遣率	派遣数	平均
留学目的和理由						
人数(A)	4,536	178	1,416	81	6,193	
增长率(B)	73.9	2.9	22.9	1.0	100.0	
2009年度比	58.4	3.8	26.6	0.9	100.0	
2010年度比	65.1	3.8	27.1	0.9	100.0	
留学内容						
人数(A)	4,091	257	1,822	23	6,193	
增长率(B)	66.1	4.1	29.4	0.4	100.0	
2009年度比	60.3	6.8	33.6	0.3	100.0	
2010年度比	59.6	6.0	34.1	0.3	100.0	
费用及留学的开支						
人数(A)	4,461	54	697	31	6,193	
增长率(B)	88.0	0.9	10.6	0.5	100.0	
2009年度比	85.1	1.4	13.0	0.5	100.0	
2010年度比	86.1	1.0	12.4	0.5	100.0	

(参考 2011年 JASSO的调查)

专门学校指南

平成25年度 文部科学省委託事業 専修学校留学生就職アシスト事業

【編集・発行】一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

Association for Vocational Education and Career Education Japan

事務局102-0073 東京都千代田区九段北4-24-25全労済ビル7F

TEL +81-3-3230-4814 | <http://www.sgec.or.jp/>

【監修】「専修学校学生就職アシスト」事業、情報提供事業分科会

【編刷協力】株式会社セーサード

專門學校留學パンフレット〔中国語・繁体字版〕：表紙



專門學校留學パンフレット〔中国語・繁体字版〕：p.1-2



學習高度專業能力、證照與技術

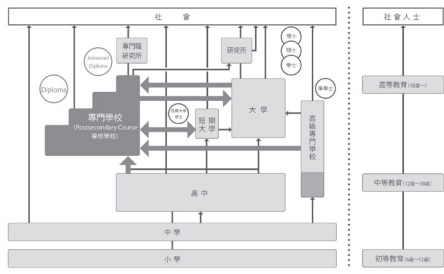
日本的專門學校

專門學校教授職業或實際生活中必須的知識、技術與技能，以提高教養為目的，分為醫療、工業、文化與教養、商業實務、衛生、教育與社會福祉、服飾與家政、農業等各種領域的學校。

日本の専門学校	学校数: 2,811	入学者: 269,798人 学生数: 587,330人	(2013年5月資料)
---------	------------	--------------------------------	-------------

日本對專門學校的定位

日本的学校教育制度将专门学校定位为与大学、短期大学相等的「高等教育机构」，是在日本高等教育阶段负责職業教育的中堅教育機構。現在由修習年數2年以上（總上課時間1,700小時以上）的學科修畢者可取得「Diploma」學位，由修習年數4年以上（總上課時間3,400小時以上）的學科修畢者可取得「Advanced Diploma」學位，「Diploma」可插班大學，「Advanced Diploma」可進入研究所。



◀ 日本の学位、課程 ▶				
教育機関分類	日本本国の学位、課程	教育機関分類	日本本国の学位、課程	
Graduate School	Dكتور degree	Professional Training College	Advanced Diploma	
	Master's degree			
University/college	Bachelor's degree			Diploma
Junior College	Associate degree			

*由2年制以上學科畢業可取得「Diploma」學位，由4年制學科畢業可取得「Advanced Diploma」學位，依專門學校內容，有的可進修各國的高等教育機構等。

專門學校的特長

日本專門學校的最大特長，就是與就業直接相關。
專門學校是以在所有職業領域學習高度專業技術為目標的教育機構。
現已成為僅次於大學的重要高等教育機構。

門戶以提供服務社會需求，亦求以產業界的結合，做為國家教育機構培育出企業界有競爭力人才，並求企業界有具遠見的人士，為國家培育出具競爭力人才。此項，和力教育基金會的成立，是為國家、發展21世紀的學生，可堪大學。

學習足以運用於全球的
專業技術與知識

現在在工業科基礎建設、食品、觀光、時尚以及資訊方面，日本的高度技術深受全球矚目，讓你從學習到這麼多元化學專業知識的教育機構，就是日本的專門學校。

充實的教育環境與設施、設備

比方可動電腦設計等課程學校裡，學生每人均有1台PC可供使用，在料理廳專門學校則輸出最新的料理機器與以學習世界的趨勢，讓學生在充實的設施與設備中學習，以確保優良的教育品質。

Technical Skill 學習高度專業性

專門學校課程全為各領域傑出專家，因此在這邊學到的知識，也是能立即運用在社會實務界的第一流知識。此外許多學校亦積極推動企業實習，讓學生有機會在在校中學習到日本企業的各项秘訣。接觸工廠與汽車、食品、時尚業界等經常受全世界矚目的日本企業秘訣，一定能成為你巨大的利器。

Hospitality 日本獨步的款待之心

日本是個高度重視禮儀的「款待之國」，這一點在近年爭取東京奧運的競標中也就成為話題。由於在觀光或餐飲業界、醫療、教育現場等一切場面均要求高品質的「款待」技巧，「光是身在日本，就能每天親身接觸那些技術」，可說是件難以取代的優點。

• 對應多種職業領域的專門教育
與寬廣的就業之路

為何專門學校的就業之路寬廣？那是因為專門學校的教育在各領域都特別注重「專業能力」。其領域範圍極廣，包括醫療、福祉、育幼、教師、美容與化妝、料理甜點與營養、飯店觀光與交通、運動與社會福祉、寵物與動物、服飾與時尚、音樂與樂器、媒體藝術與編輯、輕工設計與電腦、汽車、餐促運籌與動畫、設計與美術、書法、建築土木與室內裝潢、公務員與商業、汽車整備與賽車運動、電機與電子、環境、生化學與理化、航空整備與駕駛……等處都有。重要的是，選擇一所符合你本身「未來規劃」的學校。

[illegible]

*留學生自專門學校畢業後，即便取得護照等，並非保證必定能於日本工作。詳細情況請諮詢各學校。
*2014年2月資料，除上列以外，另可指定有各種護照條件。

每年有許多留學生在日本留學

專門學校的入學要件與Diploma、Advanced Diploma

關於入學

- ① 已於外國修畢12年全學教育課程者
- ② 滿18歲，於外國取得12年課程同等學力證明者
- ③ 滿18歲，於日本認定相當於外國高中畢業入學校修畢者
- ④ 滿18歲，持有國際英文、德國Abitur或高中畢業或法國Baccalauréat高中會考資格者
- ⑤ 滿18歲，於日本設立的國際別入評價機構(WASC、CIS、ACSII)認定之外國人學校修畢12年課程者
- ⑥ 滿18歲，獲專門學校於個別入評價審查認定中認定擁有高中同等學力者

①~③之課程如未滿12年，必須依以下方法取得入學資格。

於印度、菲律賓、馬來西亞等修畢10年或11年教育而入學者：

- ① 於母國大學等高等教育機構擁有1年或2年學期，亦即12年教育。
- ② 於認定為大學入學準備教育之課程學習1年或2年。

可依照以上任一方式取得入學資格。

日語能力 須滿足以下各條件之一。

- ① 於法語大公告的日本語教育機関6個月以上日本語教育者
- ② 取得公益財団法人日本語教育支援協会(公益認定非営利法人)の日本語能力試験(N1/N2)合格者
- ③ 於日本の小学、中學或高中受過一年以上日本語教育者
- ④ 取得日本留學試験(日本語・漢語・聴解及讀解合計点)200分以上成績者
- ⑤ 取得財団法人日本漢字能力検定協会舉辦のJ.TEST日本語能力檢定400分以上成績者
- ⑥ 取得專門教育出版學術的「日本」NAT-TEST 1級或2級合格者

Diploma、Advanced Diploma的基準

	Diploma	Advanced Diploma
入學時期	4月(部分為10月入學制)	4月(部分為10月入學制)
修業年限	2年以上	4年以上
授課時間	1,700小時以上	3,400小時以上
修畢認定	通過考試或成績判定是否修畢課程	通過考試或成績判定是否修畢課程
課程類型	—	以體系方式編組教育課程

申請應備文件⁸

依各校不同，但一般而言須準備以下文件。實際情況請直接洽詢欲申請學校。

①入學申請書(學校指定格式)	⑥健康診斷書
②高中畢業證書	⑦照片
③最終學校成績單	⑧學費支付證明
④日語教育費擔出席證書、成績單(如居住於日本國內)	(本人或保證人)
⑤日本國際交流協會證明書(如居住於海外)	

申請人須具備足以支付日本居留期間生活費用的資產、獎學金或其他手段。
但如有申請人以外者提供申請人生活費用，則不在此限。

多元的入學方式與寬廣的出路

【由各國直接入學】
各國教育機構 畢業
(直接到日本入學後直接入學)

【由日本國內的日語教育機構入學】
日語教育機構 畢業
(修完日語入學)

【由日本的大學、短期大學入學】
大學、短期大學 畢業
(由日本的大學畢業後升學)

於日本國內就業

於海外就業或創業

插班日本的大學

專門學校

在校生

海外 → 專門學校

以成為一位擁有豐富日本知識的日語譯者為目標。

Japan College of Foreign Languages
黃 亦 亦

我在台灣的高中時學過日語，並且取得N1合格，但對聽力與會話沒有自信。為了把會話能力提高到用程度，下定決心留學。口譯課中，老師們以大量對話為練習目標，並透過實際工作進行訓練。課外活動多，其他如歷史、地理、時事等日本相關知識，都對我的學習工作有幫助。來到海外生活適應能力提高，相信一定會成為人生中的寶貴經驗。

在校生

海外 → 專門學校

參加企業專案學到更多實踐力。

Tokyo Design Technology Center
詹 雯 如

原本來就懂日文，但因為台灣沒有學習電腦繪圖設計的地方，所以決定到日本留學。透過參與許多企業專案，課程學到不只在自己的課外作品，還能配合客戶需求製作作品並與客戶直接接觸。我也在過程中学习到許多工作經驗，並從中發現，所以每天過得很充實，別忘了隨時帶著正面積極的態度。

在校生

海外 → 專門學校

勿忘初衷，專心學習直到畢業最重要。

Kansai College of Business & Languages
林 謙 翰

因為對商業與管理的工作有興趣，所以為了學習日本商業與管理而決定留學。學校老師們經驗豐富，上課內容充實，我覺得學這方法很專業(勿忘初衷)。最近因為留學，更在日本學習到許多商業與管理方面的知識，但這些知識對我來說，還需要時間去消化，所以學習到畢業為止，這樣才能得到更多東西。我也相信，一定又會有一條一條的門路而開。

在校生

海外 → 專門學校

學習到電腦繪製設計圖的技術。

Syusai Technical College
王 虹 勻

因為對建築有興趣，所以為了學習日本的建築技術而決定留學。日本仍然保有許多古蹟建築，尤其其建築物讓人感受到日本文化，十分有趣。我對建築設計有興趣，所以決定到日本留學。在學校學習到電腦繪製設計圖的技術，這是我在台灣學不到的。所以，上課結束後也能繼續學習，讓我能安心學習，到當地體驗日本的生活，將來就能實踐我的理想。

在校生

海外 → 專門學校

夢想是能以影像製作的工作參與2020年東京奧運。

Japan Electronics College
孫 斛 涵

日本電腦繪圖技術的先進，在發展非常知名。在學校裡學到的許多影像中，高質量的日本水準，讓我感到能在這裡的學習機會。我也在過程中學習到許多工作經驗，並從中發現，所以每天過得很充實，別忘了隨時帶著正面積極的態度。

日本留學學校 → 專門學校

想學習日本的商業技術從事住宅設計工作。

Chuo College of Technology Osaka
許 詠 芳

日本和台灣都是多地震區，所以日本擁有世界最嚴格的防震技術。加上看了日本建築有關的電視節目對住宅設計產生興趣。決定到日本留學，現在在許多專業建築師的指導下學習設計技術。這些技術對日本建築和日本的自然生活，還有利用時間在國內執行等等，都讓我更深入瞭解日本的建築文化。在日本留學，真好！

畢業生

海外 → 專門學校 → 短期大學

留學的魅力是能體驗日本的文化和服務。

Tsai Hsueh-yi Tsai Hsueh-yi Tsai Hsueh-yi
吳 翊 寧
Kansai Gaidai University

之所以決定留學，是為了體驗在日本留學的生活。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。

畢業生

海外 → 專門學校 → 在日本就業

成為夢想中的藝人經紀人全力努力。

1010 GARDEN Sound Technology College
葉 力 瑜
Riz Productions Inc.

我在台灣學到的日本留學經驗，讓我了解到日本經紀業的存在。因為這是我從小夢想的工作，所以決定到日本留學。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。

畢業生

海外 → 專門學校 → 在海外就業

目標是成為活躍世界的時尚設計師。

Bunka Fashion College
蔡 昀 芸
時尚顧問公司

從高中時代起就對日本流行服飾有興趣。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。

畢業生

海外 → 專門學校 → 在海外就業

在日本獲得的無可取代經驗改變了我的人生。

Osaka Communication Arts College
陳 亭 諭
HAKURODO Inc. 台北分公司

從主修傳播設計到海外留學，我在海外獲得了一種全新的體驗。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。在留學期間，除了學習，還能體驗日本的文化和服務。

07

08

專門學校留學パンフレット (中国語・繁体字版) : p.9-10

學費 (第一年繳納金額)

學費除第一年支付的入學金與學費外，還支付實習費或教材費等。
金額依所學領域及學校不同有所差異，以下僅供參考之用。

學費等 (日元)	784,000 ~ 1,182,000
入學金等 (日元)	126,000 ~ 278,000
合 計 (日元)	963,000 ~ 1,384,000
合 計 (美元)	10,700 ~ 15,378

※以上為第一年繳納金額，不含住宿費、伙食費、交通費、保險費、教材費、實習費等。
※以上為第一年繳納金額，不含住宿費、伙食費、交通費、保險費、教材費、實習費等。

獎學金

國家、地區或在學的專門學校對正式進入專門學校就讀的留學生，提供有獎學金或學費減免制度。

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology 外國人留學生學習獎勵費給付制度

學 級	對 象	月 額	連絡窓口
留學前	韓國日本留學生獎 (EJU) 正式進入專門學校就讀	48,000日元	JASSO (Japan Student Services Organization) http://www.jasso.go.jp/scholarship/kyokusei.html
留學後	專門學校		各專門學校

國家外國人留學生制度 | 專門學校留學生採用返國歸對策團體外使館的大使館推薦方式。
詳細內容請洽所屬駐外使館。

其他還有各種團體提供的獎學金或在學的專門學校提供的學費減免制度或獎學金。

打工

從JASSO調查，約有76%留學生有從事打工。種類則以餐飲業最多，接著為銷售業、助教／研究助理、飯店服務或大廳服務人員等。將薪俸工作種及地區別，餐飲業行情約800日元~1,200日元左右。如打工時間為法令規定上限的每週28小時，每月的可領8萬日元~12萬日元收入。如欲打工，須於附近的入國管理局等取得再就職許可證，並於以下條件下進行。

留學生的主要打工職種

職種	比例
1 餐飲業	48.8%
2 銷售、販賣	25.3%
3 外國旅館	7.5%
4 飯店服務、大廳服務人員	5.7%
5 助教、研究助理	5.6%
6 演藝	4.5%
7 行政	4.3%
8 翻譯、口譯	4.2%
9 工廠、組裝作業	3.7%
10 家庭教師	3.2%

※參考：2013年JASSO調查結果

日本竭誠歡迎留學生

日本不但專門學校、連政府及教育機構、民間企業等均積極接納外國留學生。
在這治安良好可安心生活、充滿受全球矚目的傳統文化、從現代都會到美麗自然應有盡有的環境中，你一定能實現高滿意度的留學。

留學日本的優點

1 世界最高水準的優良治安

日本治安水準極高，犯罪率極低。無論在治安良好的日本生活，你也能在許多地方感受到日本人民親切的面貌。

2 充實的學生宿舍、公寓

許多專門學校設有宿舍或租金低廉的學生宿舍，可讓留學生安心生活。你也能找到舒適且便於求學的環境。

3 能接觸日本的傳統與文化

從現代都會到美麗自然，從充滿魅力的動盪傳統文化到應有盡有，讓你每天都能感受到日本的傳統與文化。

4 可實現高滿意度的留學

絕大多數留學到日本留學的外國留學生，都在留學中感受到「到日本留學真好」的高滿意度。為了體驗日本的傳統與文化，可進行工廠或小學的實習，一年後可獲得留學簽證，實現其他國家難以實現的留學生活。

留學日本的印象

項目	留學前	留學後	留學前	留學後	平均	合計
留學前	留學前	留學前	留學前	留學前	留學前	留學前
留學後	留學後	留學後	留學後	留學後	留學後	留學後

※參考：2013年JASSO調查結果

專門學校指南

平成25年度 文部科學省委託事業 專門學校留學生就職アシスト事業

2014年10月版

編輯、發行 | 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
Association for Technical and Career Education
〒100-0001 東京都千代田区千代田2-2-2 千代田ビル10F
TEL: +81-3-3230-4814 | http://www.spec.or.jp/

監修 | 「專門學校留學生就職アシスト事業」情報提供事業分科會
編輯協力 | 株式会社アセスリード

09

10

23

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

최근 동아시아를 포함한 아시아권과 경제 및 산업은 부분적으로 개방되고 있으며 이 가운데 경제 개혁을 단행하는 기업들은 경쟁에서 지체될 것이다. 이는 경쟁도 시장의 강도를 예외가 없이 더 높일 것이고 이 때문에 비관론에 있어 비록 제도와 개혁이 실패할, 제한된 미흡, 리더에 관계 등 특별한 일본의 야속소신을 담담한는 커리어에서도 세계의 주목을 받고 있습니다.

일본은 과거 많은 산업분야에서 ‘일본의 기술력’과 ‘해대-환대(hospitality) 정신’을 무기로서 국가의 발전에 공헌해 왔습니다. 그 바탕을 이루는 전문교육기관이었으며

국가적 정령 규정 교육기관인 직업으로 지원하는 다양한 자원을 확보할 수 있는 “Professional Training College”에 매년 많은 유학생이 마다를 진리 일본을 갔고 있으며 현재 그 수는 약 2만 5천명에 달하고 있습니다. 전문가직, 자연 과학 분야는 물론 경영학의 한강으로 수합한 학생, 해마다이전, 지역, 지역의 문화민족의 다양성, 수조 만명의 젊은 일본.

일본의 ‘전문대학’에서 다양한 스타일과 문화를 공유하며 일정한 기간 후 국가 취업기회를 찾아야 하는 취한 한 점을 매우 중요하게 여기고 있습니다.

専門学校留学パンフレット〔韓国語版〕：p.5-6

25

専門学校留学パンフレット〔タイ語版〕：表紙

การทำเรื่องเพื่อเข้าประเทศญี่ปุ่น

การสมัครเรียน การสมัครเรียน จบการศึกษา

ประเทศของคุณ

1. สมัครเรียน

2. สมัครเรียน

3. สมัครเรียน

4. สมัครเรียน

5. สมัครเรียน

6. สมัครเรียน

7. สมัครเรียน

8. สมัครเรียน

9. สมัครเรียน

10. สมัครเรียน

ญี่ปุ่น

1. สมัครเรียน

2. สมัครเรียน

3. สมัครเรียน

4. สมัครเรียน

5. สมัครเรียน

6. สมัครเรียน

7. สมัครเรียน

8. สมัครเรียน

9. สมัครเรียน

10. สมัครเรียน

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専修学校留学生就職アシスト事業

専門学校留学パンフレット〔タイ語版〕：p.1-2

“ญี่ปุ่น” ประเทศที่น่าอยู่ที่สุดในโลก

ประเทศที่ได้รับความสนใจจากประเทศในเอเชียด้วยความนับถือและเคารพ + การต้อนรับดูแล

ยินดีต้อนรับสู่ Professional Training College ของญี่ปุ่น!

～สารจาก Office for the Promotion of Specialized Training College Education, Lifelong Learning Promotion Division, Lifelong Learning Policy Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology～

ถึงผู้ต้องการพัฒนาความสามารถทางวิชาชีพที่ประเทศญี่ปุ่น

ญี่ปุ่นเป็นประเทศที่มีชื่อเสียงด้านการศึกษาที่มีคุณภาพสูง เป็นที่รู้จักกันดีในชื่อ “Professional Training College” ซึ่งได้รับการยอมรับจากทั่วโลกว่าเป็นสถาบันการศึกษาที่มีคุณภาพสูงที่สุดแห่งหนึ่งในโลก การศึกษาใน Professional Training College จะช่วยให้คุณได้รับความรู้และทักษะที่จำเป็นสำหรับการทำงานในสาขาวิชาชีพที่คุณสนใจ

นอกจากนี้ การศึกษาใน Professional Training College ยังช่วยให้คุณได้รับความรู้และทักษะที่จำเป็นสำหรับการทำงานในสาขาวิชาชีพที่คุณสนใจ การศึกษาใน Professional Training College จะช่วยให้คุณได้รับความรู้และทักษะที่จำเป็นสำหรับการทำงานในสาขาวิชาชีพที่คุณสนใจ

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専修学校留学生就職アシスト事業

เรียนรู้อะไรและเรียนอย่างไร Professional Training College ในประเทศไทย

Professional Training College คือสถาบันการศึกษาที่มีจุดเด่นที่แตกต่างจากสถาบันอื่น ๆ คือเน้นการเรียนรู้อย่างเป็นระบบและมีความรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน เช่น Medical Care, Technology, Culture and General Education, Business, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Fashion and Home Economics, Agriculture

Professional Training College (ประเทศไทย) จำนวนโรงเรียน: 2,811 โรงเรียน

จำนวนนักเรียน: 363,788 คน (จำนวนนักเรียน: 327,232 คน) (ปีงบประมาณ พ.ศ. 2555)

ระดับของ Professional Training College ในประเทศไทย

ในประเทศไทยมีโรงเรียนของ Professional Training College ทั่วประเทศประมาณ 2,811 แห่ง ซึ่งสามารถแบ่งออกเป็น 3 ระดับ ดังนี้

- ระดับประถมศึกษา (Elementary School): เรียน 6 ปี
- ระดับมัธยมศึกษา (High School): เรียน 3 ปี
- ระดับอุดมศึกษา (University): เรียน 4 ปี

Professional Training College (ประเทศไทย) มีจุดเด่นที่แตกต่างจากสถาบันอื่น ๆ คือเน้นการเรียนรู้อย่างเป็นระบบและมีความรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน เช่น Medical Care, Technology, Culture and General Education, Business, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Fashion and Home Economics, Agriculture

ข้อดีของ Professional Training College

ข้อดีของ Professional Training College ได้แก่

- 1. เรียนรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน
- 2. เรียนรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน
- 3. เรียนรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน

Technical Skill

Professional Training College มีจุดเด่นที่แตกต่างจากสถาบันอื่น ๆ คือเน้นการเรียนรู้อย่างเป็นระบบและมีความรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน เช่น Medical Care, Technology, Culture and General Education, Business, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Fashion and Home Economics, Agriculture

Hospitality

Professional Training College มีจุดเด่นที่แตกต่างจากสถาบันอื่น ๆ คือเน้นการเรียนรู้อย่างเป็นระบบและมีความรู้ในสาขาวิชาชีพเฉพาะด้าน เช่น Medical Care, Technology, Culture and General Education, Business, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Fashion and Home Economics, Agriculture

การศึกษาเฉพาะทางที่ตอบสนองอาชีพงานหลายแบบ และความหลากหลายในการหางาน

การศึกษาเฉพาะทางที่ตอบสนองอาชีพงานหลายแบบและความหลากหลายในการหางาน

มีนักเรียนต่างชาติมาเรียนที่ญี่ปุ่นเป็นจำนวนมากทุกปี

มีนักเรียนต่างชาติมาเรียนที่ญี่ปุ่นเป็นจำนวนมากทุกปี

การศึกษาระดับมัธยมศึกษา

การศึกษาระดับมัธยมศึกษา

การศึกษาระดับอุดมศึกษา

การศึกษาระดับอุดมศึกษา

การศึกษาระดับปริญญาตรี

การศึกษาระดับปริญญาตรี

การศึกษาระดับปริญญาโท

การศึกษาระดับปริญญาโท

การศึกษาระดับปริญญาเอก

การศึกษาระดับปริญญาเอก

การศึกษาระดับปริญญาเอก

การศึกษาระดับปริญญาเอก

เส้นทางการเข้าเรียนหลากหลายรูปแบบ

เข้าเรียนจากต่างประเทศ (จากต่างประเทศ)

เข้าเรียนจากสถานศึกษาในประเทศ (จากสถานศึกษาในประเทศ)

เข้าเรียนจากสถานศึกษาในประเทศ (จากสถานศึกษาในประเทศ)

Professional Training College

ทำงานภายในประเทศญี่ปุ่น

ทำงานหรือถือการเป็นขอต่ออยู่ในต่างประเทศ

เรียนต่อมหาวิทยาลัยในประเทศญี่ปุ่น

Osaka Bekai College

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Osaka Bekai College และจบการศึกษาด้วยดี

Woods Hill College of Arts and Sciences

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Woods Hill College of Arts and Sciences และจบการศึกษาด้วยดี

Toho Gakuin Media Training College

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Toho Gakuin Media Training College และจบการศึกษาด้วยดี

Bunkyo Fashion College

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Bunkyo Fashion College และจบการศึกษาด้วยดี

Japan Electronics College

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Japan Electronics College และจบการศึกษาด้วยดี

Tokyo Communication Arts College

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Tokyo Communication Arts College และจบการศึกษาด้วยดี

ECC Hokkaido College of Foreign Languages

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ ECC Hokkaido College of Foreign Languages และจบการศึกษาด้วยดี

Osaka College of Technology

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Osaka College of Technology และจบการศึกษาด้วยดี

Kanazawa University

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Kanazawa University และจบการศึกษาด้วยดี

Kanazawa University

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ

อากาฮิฮารุ ทากะฮารุ เป็นนักเรียนจากต่างประเทศที่เข้ามาเรียนที่ Kanazawa University และจบการศึกษาด้วยดี

専門学校留学パンフレット [タイ語版] : p.9-10

คำให้การรับรอง

คำให้การรับรองจากสำนักงานการศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ

จำนวน (คน)	784,000	~	1,182,000
จำนวน (คน)	126,000	~	278,000
จำนวน (คน)	963,000	~	1,384,000
จำนวน (คน)	10,700	~	15,378

การศึกษา

การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ

ชื่อ	ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย
ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย	ชื่อภาษาไทย
ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย	ชื่อภาษาไทย

บุคลากร

บุคลากรทางการศึกษา การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ

ชื่อ	ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย
ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย	ชื่อภาษาไทย
ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย	ชื่อภาษาไทย

ประเทศญี่ปุ่นยินดีต้อนรับนักเรียนต่างชาติ

ประเทศญี่ปุ่นยินดีต้อนรับนักเรียนต่างชาติ การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ

ประโยชน์ของการเรียนต่อที่ประเทศญี่ปุ่น

1. มีความปลอดภัยสูง
2. มีโอกาสได้เรียนรู้ภาษาญี่ปุ่น
3. มีโอกาสได้เรียนรู้วัฒนธรรมญี่ปุ่น

ความพึงพอใจของนักเรียน

ความพึงพอใจของนักเรียน การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ การศึกษาธิการ การสอน และการพัฒนาวิชาชีพ

ชื่อ	ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย
ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย	ชื่อภาษาไทย
ชื่อภาษาอังกฤษ	ชื่อภาษาไทย	ชื่อภาษาไทย

29

Thủ tục nhập cảnh vào Nhật Bản

Tự bước chọn trường đến thủ tục nhập học và nhập học

Đất nước bạn

Người muốn du học

① Xin cấp VISA ② Cấp VISA

Phái đoàn Ngoại giao

Nhật Bản

Trường mà du học sinh muốn đến học

③ Đưa giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật ④ Đưa giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật

⑤ Nhập đơn xin cấp giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật và các giấy tờ liên quan ⑥ Nhận định, cấp giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật

Cơ quan quản lý nhập cảnh ở các địa phương

⑦ Thẩm định nhập cảnh ⑧ Cho phép nhập cảnh

Nhập học vào các trường Professional Training College bắt đầu học

Nộp đơn xin cấp giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật

(Bản nộp đơn)

- Người muốn du học
- Người đại diện (bên nhận vào của cơ sở tiếp nhận du học sinh v.v...)
- "Trong nhiều trường hợp, người đại diện sẽ nộp đơn."

(Các giấy tờ cần thiết)

- Sơ yếu lý lịch
- Sơ yếu lý lịch của người thân
- Ảnh
- Phong bì để gửi hồ sơ
- Tùy theo cơ sở tiếp nhận của các địa phương có thể khác biệt, nên người muốn du học cần trao đổi với cơ sở tiếp nhận.

Xin thị thực (VISA)

Sau khi nhận được "Giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật", người muốn du học sẽ nộp đơn xin cấp VISA tại Đại sứ quán Nhật Bản v.v... tại đất nước bạn.

(Các giấy tờ cần thiết)

- Hộ chiếu
- Vin cấp VISA
- Ảnh
- Giấy chứng nhận tư cách cư trú tại Nhật
- Công văn từ trường hợp nhận đơn xin cấp VISA khác.

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専修学校留学生就職アシスト事業

Đất nước dễ có việc làm nhất thế giới "Nhật Bản"

Các nước châu Á đang quan tâm đến Kỹ năng chuyên nghiệp + Lòng mến khách!

Chào mừng bạn đến với các Professional Training College của Nhật Bản

~Thông điệp từ Office for the Promotion of Specialized Training College Education, Lifelong Learning Promotion Division, Lifelong Learning Policy Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology~

Gửi các bạn đang mong muốn trang bị kỹ năng nghề nghiệp cho mình tại Nhật Bản

Kể từ khi có cơ chế thành lập bắt đầu từ năm 1976, các trường Professional Training College của Nhật Bản đã dần được thế giới công nhận là hệ thống trường dạy nghề đào tạo ra nguồn nhân lực quan trọng phục vụ cho xã hội, những sinh viên tốt nghiệp từ các trường Professional Training College được kỳ vọng là những người đã có kỹ thuật chuyên môn để phục vụ cho các vị trí công việc khác nhau.

Mặt khác, vì là các sinh viên từ nước ngoài nên trường này ở mức cao, không phụ thuộc vào trình độ phát triển kinh tế. Đặc biệt là trong bối cảnh nhiều doanh nghiệp Nhật đang hướng ra thị trường nước ngoài, họ đang rất mong đợi vào và trò chủ nhà của Nhật Bản với các nước, nhờ vào những du học sinh từ những trường Professional Training College, những người vào học được kỹ thuật chuyên môn và tiếp thu được văn hóa Nhật Bản.

Chúng tôi mong rằng các bạn sẽ đến du học tại các trường Professional Training College của Nhật Bản, tích lũy được những kỹ năng nghề nghiệp để trở thành những người có kỹ năng chuyên nghiệp và thành đạt ở khắp nơi trên thế giới.

Lòng mến khách

Chăm sóc sức khỏe

Y tế / Phục lợi

Thời trang

Công nghiệp

Văn hóa phim hoạt hình

Những năm gần đây, quá trình phát triển kinh tế, phát triển sản phẩm của các nước trong khu vực châu Á, trong đó có các nước Đông Nam Á rất đáng ghi nhận, và từ các nước này đã có nhiều doanh nghiệp nổi lên, trở thành đầu kéo cho nền kinh tế thế giới. Tương tự, các nước đang phát triển cũng đang được cả thế giới quan tâm vì đang trở thành những trung tâm nhân lực công nghệ của các nước khác, trong các ngành nghề rất đa dạng gồm công nghiệp, cơ sở hạ tầng, sản xuất, thực phẩm, thời trang, làm đẹp, truyền thông v.v...

Từ trước đến nay, Nhật Bản, với hai vai trò là "trung tâm" và "trung tâm" của Nhật Bản và "quy tắc ứng xử, lòng mến khách", đã đóng góp vào quá trình phát triển của các nước khác. Và những cơ sở đào tạo nghề góp phần xây dựng nền tảng của quá trình đó chính là các trường "Professional Training College".

Là những cơ sở đào tạo chính quy được nhà nước công nhận, có thể lấy được những chứng chỉ gắn trực tiếp với các nghề nghiệp, nên hàng năm có rất nhiều du học sinh đã vượt đường xa đến học tại các trường "Professional Training College", hiện nay con số đó đã lên đến khoảng 25.000 người. Nước Nhật ngày nay không chỉ được chú ý đến về mặt kỹ thuật chuyên môn và chúng tôi nghĩ, mà còn được quan tâm về sự an toàn trong cuộc sống, khả năng để tìm việc làm, mà còn về những yếu tố văn hóa như phim hoạt hình, âm nhạc và môi trường tự nhiên. Chúng tôi mong bạn sẽ đến bước đến với các trường "Professional Training College", tiếp thu những kỹ năng kỹ thuật đa dạng cũng như văn hóa của Nhật Bản, để rồi nhận việc làm tại các doanh nghiệp Nhật Bản, hoặc trở về nước thành đạt tại các doanh nghiệp trong nước bạn!

03

05

Nhiệm cách nhập học đa dạng và con đường tương lai rộng mở

[Nhập học trực tiếp từ các nước]
Tốt nghiệp các cấp ở các quốc gia được liệt kê trong danh sách
Những quốc gia được liệt kê trong danh sách này là những quốc gia được liệt kê trong danh sách này.

[Nhập học từ các cơ sở đại học Nhật Bản trong nước]
Tốt nghiệp các cấp ở các cơ sở đại học Nhật Bản trong nước

[Nhập học từ các cơ sở trường đại học công lập của Nhật]
Tốt nghiệp đại học hoặc cao đẳng của Nhật
Những trường đại học hoặc cao đẳng của Nhật được liệt kê trong danh sách này.

Professional Training College

Nhận việc làm trong nước Nhật

Nhận việc làm ở nước ngoài hoặc khởi nghiệp

Chuyên tiếp vào trường đại học ở Nhật

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Nhớ du học mà đã mở ra được cánh cửa mới trong đời

Japan College of Foreign Languages
Bạn NGUYỄN XUÂN TRUONG

Tôi đã quyết định theo học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Mục tiêu là học business, rồi đi làm ở một doanh nghiệp trong lĩnh vực thể thao

Wassai-Bueni College of Arts and Sciences
Bạn PHẠM THANH HÀ

Tôi quyết định theo học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Nếu muốn nâng cao bản thân thì đến Nhật Bản du học là nhất

Tokaiu Foreign Language & Tourism College
Bạn NGUYỄN NGUYỄN DIEP

Li do để tôi quyết định đến Nhật Bản du học tiếng Nhật. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Muốn làm điều gì chỉ có học những loại học sinh sắp đến Nhật du học

Trinh nghiệp trường Nagoya Commerce College
Bạn DO TRONG TUONG
Trinh nghiệp trường Nagoya Commerce College

Hồi ở trong nước, tôi có một bạn bạn Nhật, nhưng chỉ được biết qua tin tức và hình ảnh. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Ước mơ của tôi là làm ra chương trình TV mới và công tác tại đài truyền hình của Nhật

Tokaiu Graduate Media Training College
Bạn LÊ BAO LINH

Tôi muốn theo học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Tích cực trải nghiệm nền văn hóa khác để mở rộng tầm nhìn của bản thân

KCC College of Communications
Bạn LÊ VĂN THANH

Vì muốn học công nghệ thông tin, tôi đã quyết định theo học tiếng Nhật. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Trọng tương lai, muốn thành một system engineer để hỗ trợ các du học sinh

Osaka Information and Computer Science College
Bạn NGUYỄN NHẬT ANH

Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Trọng tương lai, muốn nâng cao bản thân thì đến Nhật Bản du học là nhất

Tokaiu Foreign Language & Tourism College
Bạn NGUYỄN NGUYỄN DIEP

Li do để tôi quyết định đến Nhật Bản du học tiếng Nhật. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Ước mơ của tôi là làm ra chương trình TV mới và công tác tại đài truyền hình của Nhật

Tokaiu Graduate Media Training College
Bạn LÊ BAO LINH

Tôi muốn theo học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Trọng tương lai, muốn thành một system engineer để hỗ trợ các du học sinh

Osaka Information and Computer Science College
Bạn NGUYỄN NHẬT ANH

Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Trọng tương lai, muốn nâng cao bản thân thì đến Nhật Bản du học là nhất

Tokaiu Foreign Language & Tourism College
Bạn NGUYỄN NGUYỄN DIEP

Li do để tôi quyết định đến Nhật Bản du học tiếng Nhật. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

Đang theo học

Trường tiếng Nhật Professional Training College

Nhất nghiệp

Ước mơ của tôi là làm ra chương trình TV mới và công tác tại đài truyền hình của Nhật

Tokaiu Graduate Media Training College
Bạn LÊ BAO LINH

Tôi muốn theo học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi rất vui vì được tiếp xúc với văn hóa và con người Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản. Tôi cũng được học tiếng Nhật và nhận được việc làm tại công ty Nhật Bản.

[illegible]

専門学校留学パンフレット〔インドネシア語版〕：p.1-2

33

Menguasai keahlian tinggi, kualifikasi, dan keterampilan

Professional Training College di Jepang

Sama halnya dengan universitas, professional training college adalah lembaga pendidikan tinggi di Jepang. Professional training college merupakan lembaga pendidikan yang bertujuan untuk meningkatkan pengetahuan, teknik, dan keterampilan, serta pendidikan umum yang diperlukan dalam pekerjaan dan kehidupan nyata. Terdapat berbagai macam bidang Professional Training College, misalnya medical care, technology, culture & general education, business, personal care & nutrition, education & welfare, fashion & home economics, serta agriculture.

Jumlah sekolah: 2.811
Jumlah pelajar baru: 265.798 orang
Jumlah pelajar: 587.330 orang (Per Mei 2013)

Posisi Professional Training College di Jepang

Dalam sistem pendidikan publik di Jepang, professional training college menempati posisi yang sama dengan universitas dan program D2/D3, yakni lembaga pendidikan tinggi. Professional training college merupakan lembaga yang memberikan pendidikan kejuruan pada tingkat pendidikan tinggi di Jepang. Saat ini, lulusan program 2 tahun studi total jam kuliah 1.700 jam atau lebih mendapatkan gelar Diploma, sedangkan lulusan program 4 tahun studi total jam kuliah 3.400 jam atau lebih mendapatkan gelar Advanced Diploma. Pemegang gelar Diploma dapat memilih transfer ke universitas dan pemegang gelar Advanced Diploma dapat memasuki program pascasarjana.

Professional Training College ↔ **Universitas**
Professional Training College ↔ **SMA**
SMA ↔ **SMP**
SMP ↔ **SD**

Kategori lembaga pendidikan	Gelar dan Program Studi di Jepang	Kategori lembaga pendidikan	Gelar dan Program Studi di Jepang
Graduate School	Doctorate degree	Professional Training College	Advanced Diploma
University college	Bachelor's degree		
Junior College	Associate degree		Diploma

*1) Pelajar yang lulus program studi 2 tahun akan mendapat gelar Diploma, sedangkan pelajar yang lulus program studi 4 tahun akan mendapat gelar Advanced Diploma. Sedangkan pada lembaga pendidikan tinggi di masing-masing negara juga mempunyai persyaratan untuk masuk ke lembaga pendidikan profesional training college Jepang.

Kelebihan Professional Training College

Karakteristik terbesar professional training college di Jepang adalah langsung terhubung dengan pekerjaan. Professional training college merupakan lembaga pendidikan yang bertujuan agar pelajar menguasai keahlian tingkat tinggi dalam berbagai bidang pekerjaan. Kini professional training college memainkan peran penting sebagai lembaga pendidikan tinggi setelah perguruan tinggi.

Unggul dalam kesempatan kerja dan memungkinkan transfer ke universitas

Professional training college unggul dalam hal transfer ke universitas. Banyak lulusan professional training college yang melanjutkan studi ke universitas. Hal ini menunjukkan bahwa profesional training college di Jepang memiliki kualitas yang setara dengan universitas.

Transfer ke universitas (%)
 2006: 50.1, 2007: 52.2, 2008: 51.4, 2009: 51.4, 2010: 51.4, 2011: 51.4, 2012: 51.4

Mengatasi kesempatan kerja yang terbatas di seluruh dunia

Kini, teknologi canggih Jepang mendapat sambutan di seluruh dunia. Banyak perusahaan yang membutuhkan tenaga kerja yang terampil. Professional training college di Jepang dapat memberikan pelatihan yang sesuai dengan kebutuhan pasar kerja.

Ketersediaan lingkungan dan fasilitas pendidikan serta pengalaman

Sebagai contoh, sekolah media seperti anime dan desain grafis memiliki fasilitas yang lengkap. Selain itu, profesional training college di Jepang juga memiliki lingkungan yang mendukung untuk pengembangan keterampilan.

Technical Skill

Menguasai keahlian tingkat tinggi

Pelajar di professional training college semuanya merupakan spesialis di bidang masing-masing. Oleh karena itu, pengetahuan yang didapat adalah pengetahuan teknis yang bisa langsung digunakan di dunia kerja. Selain itu, banyak professional training college yang secara proaktif mengembangkan program magang sehingga memungkinkan untuk menerapkan pengetahuan know-how perusahaan Jepang secara langsung.

Hospitality

Kemahiran yang hanya dapat dimiliki di Jepang

Jepang terkenal sebagai negara keramahan yang menjunjung tinggi pelayanan kepada tamu. Akibatnya, hal tersebut juga menjadi topik hangat dalam presentasi dalam persaingan untuk menjadi tuan rumah Olimpiade 2020. Kemampuan keramahan yang berkualitas tinggi diperlukan dalam berbagai kesempatan seperti pariwisata, industri kuliner, kedokteran, dan pendidikan. Oleh karena itu, kemampuan keramahan dengan keterampilan bahasa dengan berada di Jepang merupakan keuntungan yang luar biasa.

Pendidikan profesional sesuai dengan berbagai kategori profesi serta tempat kerja yang variatif

Mengapa professional training college bisa terhubung dengan berbagai tempat kerja? Penyebabnya, professional training college menyelenggarakan pendidikan yang menonjolkan profesionalitas di masing-masing bidang. Bidang studinya pun sangat bervariasi, yakni kedokteran, kesehatan, pengasuhan anak, kejuruan, kecantikan, make-up, tata boga, memasak, membuat kue, dan nutrisi, perhotelan, pariwisata dan transportasi, olahraga dan kebugaran sosial, hewan peliharaan & hewan, pakaian, fashion, musik & alat musik, media & hiburan & editing, programmer & komputer, game, aktor, suara, manga & anime, desain & seni, kaligrafi, arsitektur, teknik sipil, interior, pegawai negeri & pilot, perawat mobil, motorsport, teknik elektronik, lingkungan, bio-pertanian & sains, pemerintahan pernabangan dan bisnis, dan masih banyak lagi. Penting untuk memilih sekolah yang sesuai dengan cita-cita Anda.

Saya ingin memanfaatkan kemampuan saya	Saya ingin berkecimpung dalam bidang penelitian	Saya ingin menjadi tenaga profesional dalam bisnis	Saya ingin bekerja di bidang yang memiliki prospek
● Kecantikan ● Desain ● Teknik ● Musik ● Bahasa ● Hewan ● Bisnis fashion ● Film, peniaran, dll.	● Perencanaan informasi ● Perawatan mobil ● Teknik sipil dan konstruksi ● Listrik dan elektronik ● Mesin ● Bioteknologi, dll.	● Bisnis ● Akuntansi dan pembukuan ● Informasi ● Komersial ● Manajemen ● Sekretaris, dll.	● Keperawatan ● Physiotherapy dan occupational therapy ● Kebersihan gigi ● Tenaga judo ● Keperawatan lansia, dll.

Persyaratan masuk professional training college dan Diploma serta Advanced Diploma

Untuk memasuki professional training college, perlu memenuhi salah satu persyaratan di bawah ini.

- Telah menyelesaikan pendidikan formal 12 tahun di negara lain.
- Telah lulus ujian kemampuan akademis yang setara dengan pendidikan 12 tahun di luar negeri dan telah berusia 18 tahun.
- Telah lulus dari sekolah asing yang ditetapkan setara SMA di Jepang dan telah berusia 18 tahun.
- Memiliki kualifikasi internasional baccalaureate, Abitur, atau Baccalaureate, dan telah berusia 18 tahun.
- Telah menyelesaikan pendidikan 12 tahun di sekolah asing yang mendapat akreditasi dari lembaga internasional yang berada di Jepang (NISC, OSC, CXC).
- Telah diakui memiliki kemampuan akademis yang setara dengan lulusan SMA berdasarkan ujian kualifikasi masuk sekolah individual di professional training college, serta telah berusia 18 tahun.

Umum nomor ②-⑤, jika pendidikan kurang dari 12 tahun, kualifikasi atau masuk sekolah dapat diperoleh melalui cara berikut.

Bila seseorang yang telah menamatkan 10 atau 11 tahun pendidikan di India, Filipina, Malaysia, atau negara-negara lainnya ingin masuk ke Jepang.

- Memenuhi persyaratan di perguruan tinggi seperti universitas di negara-negara masing-masing selama 1 atau 2 tahun, dan menyelesaikan pendidikan 12 tahun.
- Memenuhi pendidikan 1 atau 2 tahun yang ditetapkan sebagai pendidikan pengganti untuk memasuki universitas.

Selalu utara cara di atas dapat diperoleh untuk mendapatkan kualifikasi masuk sekolah.

Kemampuan bahasa Jepang

Perlu memenuhi salah satu persyaratan di bawah ini.

- Telah menempuh pendidikan bahasa Jepang selama 6 bulan atau lebih di lembaga pendidikan bahasa Jepang yang diakui oleh Menteri Pendidikan.
- Telah lulus N1 atau N2 Japanese Language Proficiency Test yang diselenggarakan oleh JES dan Japan Foundation.
- Telah menempuh pendidikan 1 tahun atau lebih di SD, SMP, dan SMA di Jepang.
- Telah memperoleh nilai 200 poin atau lebih dalam EJU (Jepang) (pemerintahan membaca, pemahaman menyimak dan pemahaman membaca dan menyimak).
- Telah memperoleh nilai lebih dari 400 untuk Business Japanese Proficiency Test yang diselenggarakan oleh The Japan Kari Aptitude Testing Foundation.
- Telah lulus NMT-TEST Bahasa Jepang Level 1 atau Level 2 yang diselenggarakan oleh Semmon Kyokyo Publishing Co., Ltd.

Standar untuk Diploma dan Advanced Diploma

	Diploma	Advanced Diploma
Periode masuk	April (sebagian sistem masuk per Oktober)	April (sebagian sistem masuk per Oktober)
Batas tahun akademik	2 tahun atau lebih	4 tahun atau lebih
Jam kuliah	Lebih dari 1.700 jam	Lebih dari 3.400 jam
Sertifikasi seleksi	Diadakan sertifikasi untuk seleksi program pendidikan dengan cara mengevaluasi prestasi, misalnya dengan ujian	Diadakan sertifikasi untuk seleksi program pendidikan dengan cara mengevaluasi prestasi, misalnya dengan ujian
Pengaturan program	Program pendidikan: disusun secara sistematis	Program pendidikan: disusun secara sistematis

Kemampuan bahasa Jepang

Dokumen yang diperlukan untuk aplikasi *

Dokumen yang diperlukan tergantung pada sekolah masing-masing. Namun, secara umum terdapat di bawah ini.

- Formulir aplikasi pendidikan (bisa diunduh dari masing-masing sekolah)
- Surat pemeriksaan kesehatan
- Pasfoto
- Dokumen yang menunjukkan kemampuan bahasa Jepang
- Surat keterangan mengenai pendidikan bahasa Jepang dan transkrip nilai (jika terdapat di Jepang)
- Sertifikat kemampuan bahasa Jepang (jika terdapat di luar negeri)

* Pelamar memiliki prestasi, beasiswa, atau metode lain untuk menanggung biaya yang diperlukan dalam kehidupan selama tinggal di Jepang. Hal ini tidak berlaku jika pelajar telah menanggung biaya hidup pelajar.

Tips!

Gunakan manual professional training college

Dalam menggunakan manual secara profesional akan lebih mudah bagi pelajar untuk memahami keadaan dan situasi yang ada di dalam bidang mana pun, bahkan memiliki kemampuan bahasa Jepang dan kemampuan akademis untuk mengikuti kuliah nanti, dan apakah memiliki kemampuan untuk belajar.

34

07

09

[illegible][illegible]

専門学校留学パンフレット〔ネパール語版〕：p.5-6

37

[illegible][illegible]

[illegible]

専門学校留学パンフレット〔ミャンマー語版〕：p.9-10

41

03

05

[illegible][illegible]

Prosedur imigresen untuk ke Jepun

Daripada prosedur untuk memilih kolej sehingga urusan kemasukan ke kolej

Permohonan pengeluaran permit penempatan

[Permohonan]
■ Calon yang ingin melanjutkan pelajaran ke luar negara
■ Tiada kaitan dengan institusi pengajian yang mana kemasukan calon dan beliaunya
■ Kebanyakan permohonan dibuat melalui wakil

[Dokumen diperlukan]
■ Dokumen permohonan permit penempatan
■ Gambar
■ Surat surat kelahiran
■ Lain-lain: Dituntut dokumen yang perlu diarahkan oleh setiap institusi, sesetengah institusi meminta dokumen

Permohonan permit (visa)

Memohon di kedutaan Jepun di negara masing-masing setelah "permit penempatan" dikeluarkan

[Dokumen diperlukan]
■ Pasport
■ Dokumen permohonan visa
■ Gambar
■ Permit penempatan
■ Dokumen selain di atas mungkin akan diminta untuk dikemukakan

PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

GUIDE BOOK

平成25年度 文部科学省委託事業 専門学校留学生就職アシスト事業

Pengeluar: Association for Technical and Career Education

マレーシア版

Jepun, negara paling mudah untuk mendapat pekerjaan

Asia memberi perhatian terhadap kepakaran+kemesraan layanan!

Selamat datang ke Professional Training College Jepun!

~Ucapan daripada Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Lifelong Learning Policy Bureau, Lifelong Learning Promotion Division, Office for the Promotion of Specialized Training College Education~

Kepada mereka yang ingin memperolehi kemahiran vokasional di Jepun

Professional Training College Jepun yang ditubuhkan sejak 1976, telah berkembang menjadi sebuah institusi teras pendidikan vokasional yang praktikal dan bersesuaian dengan perubahan masyarakat dengan menggunakan ciri-ciri fleksibel dan berdaya tahan. Kini, dengan seramai 650,000 orang pelajar, ianya menjadi sebuah institusi pengajian tinggi yang penting di Jepun.

Professional Training College Jepun melaksanakan pendidikan vokasional, dimana ianya menyediakan pengetahuan kemahiran yang berguna dalam 8 pengkhususan iaitu Technology, Agriculture, Medical Care, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Business, Fashion and Home Economics, Culture and General Education.

Pada masa kini, daripada budaya-poo yang dipanggil "cool-japan" seperti komik, animasi, permainan dan fesyen yang mendapat perhatian dunia, sehingga kepada tenaga alam sekitar, IT, infrastruktur masyarakat dan lain-lain, ianya mendidik graduan pembangunan yang berorientasi untuk mengongkong industri yang dijangka berkembang untuk pasaran dunia pada masa akan datang.

Di Jepun, Professional Training College dikenali sebagai kolej yang melahirkan graduan yang diharapkan boleh menyokong masyarakat, di mana graduannya menjadi individu yang mempunyai kemahiran vokasional yang tinggi.

Juga, ianya mempunyai kadar pekerjaan yang tinggi tanpa mengira keadaan ekonomi. Khususnya, banyak syarikat Jepun di seluruh dunia yang beroperasi di luar negara, memerlukan sumber manusia yang boleh menjadi penghubung di antara Jepun dan negara-negara luar, dan harapan ini diilhamkan kepada pelajar asing di Professional Training College yang mempelajari budaya dan kepakaran teknikal.

Dengan belajar di Professional Training College di Jepun, diharapkan pelajar dapat menjadi seorang professional yang mempunyai kemahiran vokasional yang praktikal dan mampu berkhidmat secara global.

KEMESRAAN LAYANAN

KESIHATAN

MEDICAL CARE/ WELFARE

FESYEN

TECHNOLOGY

BUDAYA/ANIMASI

IT/WEB

Ketelakangan ini, perkembangan ekonomi dan industri di Asia termasuk Asia Tenggara adalah memberangsangkan, dan dalam pada itu wujudnya syarikat-syarikat yang memacu ekonomi dunia. Ini menunjukkan negara-negara membangun tidak terkecuali dari menjadi perhatian dunia untuk dijadikan pusat industri penyumbahan luar secara meluas dalam bidang teknologi dan infrastruktur, pembuatan, makanan, fesyen, kecantikan dan media.

Setakat ini, Jepun menggunakan "Keupayaan teknikal Jepun" dan "Adab dan Kemesraan layanan" sebagai senjata untuk menyumbang kepada pembangunan negara luar dalam pelbagai bidang. Professional Training College merupakan institusi pendidikan yang bertujuan untuk membina teras tersebut.

Professional Training College merupakan institusi pendidikan yang mendapat pengiktirafan dan memberi peluang untuk mendapat pelbagai sijil kelayakan yang menghubungkan terus kepada peluang pekerjaan kepada lepasan graduan, dan kini terdapat hampir seramai 25,000 orang pelajar asing yang datang ke Jepun setiap tahun untuk belajar di institusi ini.

Jepun bukan sahaja mendapat perhatian disebabkan oleh teknologi dan sijil kelayakannya, malah terkenal dengan keselamatan serta kemudahan bekerja, animasi, makanan dan kekayaan semulajadinya. Marilah memulakan langkah untuk menimba kemahiran dan budaya di Professional Training College di Jepun, kearah memanfaatkannya ketika bekerja di syarikat-syarikat Jepun atau dalam syarikat-syarikat di tanahair!

Memperoleh teknologi, pelayanan dan kepakaran yang tinggi

Professional Training College Jepang

Professional Training College Jepang merupakan institusi pengajian tinggi Jepang yang setara dengan universitas. Ia merupakan institusi pendidikan yang mempunyai matlamat untuk meningkatkan pengetahuan yang diperlukan dalam bidang pekerjaan dan kehidupan, teknologi, pembelajaran kemahiran dan pendidikan, yang juga mempunyai bimbingan penghusnasan yang pelbagai seperti Medical Care, Technology, Culture and General Education, Business, Personal Care and Nutrition, Education and Welfare, Fashion and Home Economics and Agriculture.

Bilangan pelajar yang mendaftar pada 2004: 269,798 orang
Bilangan pelajar : 587,330 orang (Rekod pada Mei 2010)

Bilangan institusi pengajian : 2,811

Kedudukan Professional Training College Jepang

Dalam sistem pendidikan Jepun, Professional Training College merupakan "Institusi Pengajian Tinggi" yang setara dengan universiti dan kolej Jepun, dengan bermanfaat pendidikan vokasional. Buat masa kini, graduan yang menamatkan pengajian dalam 2 tahun dan ke atas (jumlah masa kuliah sekurang 1700 jam) dan ke atas akan dianugerahkan bimbingan "Diploma" dan graduan yang menamatkan pengajian dalam 4 tahun dan ke atas (jumlah masa kuliah sekurang 3400 jam) dan ke atas akan dianugerahkan bimbingan "Advanced Diploma". Di mana graduan berkelayakan "Diploma" boleh melanjutkan pelajaran ke peringkat sarjana muda dan graduan berkelayakan "Advanced Diploma" boleh melanjutkan pelajaran ke peringkat sarjana.

← Ijazah/kursus di Jepun →			
Pembinaan institusi pengajian	Ijazah/kursus di Jepun	Pembinaan institusi pengajian	Ijazah/kursus di Jepun
Graduate School	Doctorate degree		
University/College	Master's degree		
	Bachelor's degree		
Junior College	Associate degree	Professional Training College	Advanced Diploma
			Diploma

*Ijazah yang menamatkan pengajian selepas 2 tahun dan ke atas akan dianugerahkan "Diploma" dan ke atas akan dianugerahkan "Advanced Diploma".
Peluang belajar lanjut ke institusi pendidikan tinggi Jepun setelah tamat juga disediakan bergantung kepada kurikulum Professional Training College.

Kelebihan Professional Training College

Kelebihan yang paling besar bagi Professional Training College Jepun adalah ia menghubungkan terus kepada pekerjaan, ia merupakan institusi pengajian yang bermatlamat untuk melengkapkan diri dengan tahap kepakaran yang tinggi dalam semua bidang pekerjaan, dan mempunyai peranan yang penting dalam institusi pendidikan tinggi selepas universiti.

Peluang pekerjaan yang tinggi, boleh menyambung pelajaran pertukaran universiti

Tahun	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
Graduan	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	70.2	79.7

Memperoleh pengetahuan dan kepakaran teknologi yang diiktiraf di seluruh dunia

Persekitaran pendidikan dan kemudahan, peralatan yang lengkap

Technical Skill

Memperoleh kepakaran yang tinggi

Tugas pengajar di Professional Training College terdiri daripada pakar-pakar dalam bidang masing-masing. Oleh itu, pengetahuan yang diperolehi boleh digunakan terus dalam industri. Selain dari itu, banyak kolej yang melaksanakan sistem industri, membekalkan projek merentas pengaliran di syarikat Jepun.

Dengan mesra pengalaman berkeja di syarikat Jepun yang mendapat perhatian dunia dalam bidang seperti teknologi serta automasi, elektron dan industri hayat, ia pastinya akan memberi pengalaman yang besar bagi anda.

Hospitality

Layanan mesra yang tinggi yang dapat di Jepun

Kelebihan yang lain, Jepun dikenali sebagai "Ornamen" no kuni (negara dengan layanan mesra) yang telah menjadi peredaran dan keagungan yang tinggi, dan ianya juga telah menjadi tahap tertinggi semua pembelajaran untuk memajukan "Sakei Chingka" ke Tokyo.

Industri seperti pelancongan, makanan dan minuman, medical care dan pendidikan amat memerlukan tahap "layanan mesra" yang berkesan tinggi. Oleh itu, "kemahiran tersebut boleh dipelajari setiap hari dengan hanya berada di Jepun", dan ianya adalah satu manfaat yang besar.

[illegible]

専門学校留学パンフレット〔マレーシア語版〕：p.9-10

47

2. 専門学校留学チラシの作成・配布

● チラシの目的

日本への留学を志向する学生・保護者を想定対象として、専門学校の実際を分かりやすく伝えることを目的として作成。

● チラシの内容

「就職に結びつく、高い専門知識と技術を日本で学ぶ」、「専門学校で学ぶ留学生（各国ごとに該当する全国各地区の専門学校の協力により、在校生、卒業生：大学編入・日本で就職・海外で就職等の顔写真とコメントを掲載）」、「奨学金・アルバイト」、「卒業後の進路」、「学校選択から入学手続、入学まで」、「日本での生活」

● 言語の種類

英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、ベトナム語の6か国

● 印刷ならびに配布先

4ページ、印刷はカラー。配布先は、該当する海外現地日本留学フェア、英語版及び中国語（簡体字版）のみ専門学校留学生受入希望校に見本として1部送付等。

[illegible]

THE 2014 JASSO TRAINING CAMP FOR JAPANESE STUDENTS

就職に結びつく、高い専門知識と技術を日本で学ぶ。

近年、東南アジアを含むアジア諸国の経済・産業の発展がめざましく、その中から経済界に貢献する企業も数多く出てきています。その上は上記に加え、海外向けに製品やサービスを展開・輸出する企業も増加傾向にあります。グローバル化が進み、日本企業との幅広い交流のチャンスが増えつつある中で、海外企業とつながりを持ちたいという声も高まっています。

日本に比べて、多くの企業分野において日本の技術力や「ファースト・オブ・ザ・マーケット」意識と先進ITの活用と無関係に「実用」に優れた、その分野を必要とする技術者を育成する、専門的な高度の教育機関があり、職業に就くまで一貫した教育で、国際的な視野を身に付け、専門知識やスキルを身に付け、その後の就職活動に力になる心強い存在です。就職や進学後も自ら、生涯学習の安全なネット、英語、自然などの豊かな資源から得られる「日本の「専門学校」」様々なメカや文化を体験し、日本企業への就職や自国の企業での活躍の一歩を踏み出すことができます。

※ 専門学校とは何か？

専門学校は大学・短大と同等に「高等教育機関」として位置づけられ、日本の高等教育制度における重要な存在である。専門学校は、専攻分野が明確で、入学・卒業の期間が短く、かつ時には1日専攻科で卒業できる。専門学校は、専攻分野が明確で、入学・卒業の期間が短く、かつ時には1日専攻科で卒業できる。専門学校は、専攻分野が明確で、入学・卒業の期間が短く、かつ時には1日専攻科で卒業できる。

※ 日本の「学校・学位」※

教育機関の名称	日本の学位	教育機関の名称	日本の学位
University School University College	University degree Bachelor's degree	Professional College	Advanced Diploma
Junior College	Associate degree	Technical College	Diploma

※短期大学は専門課程を履修する2年制の短期大学。4年制の短期大学を履修する4年制の短期大学。

専門学校で学ぶ留学生

留学生

日本語学校 専門課程

大分県立国際大学
ソニー・ソニー・ソニー

留学生

日本語学校 専門課程

大分県立国際大学
ソニー・ソニー・ソニー

日本で臨床工学士になり、中国での知識を広めたい。

中国の大学で臨床工学士として学びたい。日本では、臨床工学士として働くことができない。中国では、臨床工学士として働くことができない。中国では、臨床工学士として働くことができない。中国では、臨床工学士として働くことができない。

将来はシステムエンジニアとして、留学生をサポートしたい。

高校時代に中国でシステムエンジニアとして学びたい。中国では、システムエンジニアとして働くことができない。中国では、システムエンジニアとして働くことができない。中国では、システムエンジニアとして働くことができない。

大分県立国際大学
ソニー・ソニー・ソニー

留学生

日本語学校 専門課程

大分県立国際大学
ソニー・ソニー・ソニー

留学生

日本語学校 専門課程

大分県立国際大学
ソニー・ソニー・ソニー

学校で学んだ技術で、友人のウェブサイトができるように。

日本の大学のウェブサイトやウェブサイトの開発に興味がある。ウェブサイトの開発に興味がある。ウェブサイトの開発に興味がある。ウェブサイトの開発に興味がある。

日本に関する知識が豊富で、適切な翻訳ができるように。

高校時代に中国でシステムエンジニアとして学びたい。中国では、システムエンジニアとして働くことができない。中国では、システムエンジニアとして働くことができない。中国では、システムエンジニアとして働くことができない。

大分県立国際大学
ソニー・ソニー・ソニー

※ スケジュール

日本企業で働く留学生
日本企業で働く留学生

さらに語学力を高め、日本へ留学

インターンシップで日本企業で働き方を知り、卒業後、日本企業や母国の企業などに就職

※ 奨学金

文部科学省外国語留学支援奨励金給付制度
月額 ¥48,000
国際文化留学奨学金制度
月額 ¥17,000

JASSO <http://www.jasso.go.jp/ichijokushugaku/shougaku.html>
JASSO http://www.jasso.go.jp/study/ichijokushugaku_shougaku.html

※ アルバイト

入国管理局より「業務外活動許可」を受けるとして、週40時間以内でのアルバイトが許可されています。週40時間以内でのアルバイトが許可されています。週40時間以内でのアルバイトが許可されています。週40時間以内でのアルバイトが許可されています。

※ アルバイト

アルバイトの収入は、生活費に充てることができます。アルバイトの収入は、生活費に充てることができます。アルバイトの収入は、生活費に充てることができます。アルバイトの収入は、生活費に充てることができます。

★ 就職

多くの企業・業種・分野に対応した専門知識と幅広い技能

音楽の才能を活かしたい	ものづくりに関心がある	ビジネスのスキルを磨きたい	人を助ける仕事に就きたい
音楽の才能を活かしたい	ものづくりに関心がある	ビジネスのスキルを磨きたい	人を助ける仕事に就きたい
音楽の才能を活かしたい	ものづくりに関心がある	ビジネスのスキルを磨きたい	人を助ける仕事に就きたい
音楽の才能を活かしたい	ものづくりに関心がある	ビジネスのスキルを磨きたい	人を助ける仕事に就きたい

卒業後の進路

卒業後、留学生は卒業後に就職する学生が多いです。卒業後に就職する学生が多いです。卒業後に就職する学生が多いです。卒業後に就職する学生が多いです。

※ 留学生から就職先の統計の推移

JAPAN

Gain highly specialized knowledge and skills leading to a professional career

In recent years, Asian countries, including those in Southeast Asia, have received considerable growth in their economies and industries. Some countries in these countries are already leading the global economy. Developing countries are no exception. They are driving innovation from around the world to hubs for manufacturing for many other countries in many different types of businesses, such as technology and information services, manufacturing, food, fashion, beauty and media.

In many different areas of industry, Japan has leveraged its strength in technology, manners and hospitals, and has contributed to the growth of many other Asian countries. The backbone of its contribution lies in its professional training colleges.

Nationally designed, professional training colleges are official educational institutions, and help students acquire specific qualifications that lead directly to professional careers. Many students come to Japan every year, with their number currently reaching 50,000.

In addition to offering people the opportunity to acquire skills and qualifications, Japan is not the only, and is also attracting worldwide attention for its animation, food, science and other cultural aspects. You can acquire cultural knowledge and many different skills as a professional training college in Japan, and be a step closer to finding a job in a Japanese company or a major corporation in your country.

What is a professional training college?

In the Japanese educational system, professional training colleges are regarded as institutions of higher education for their students and new colleges, and are vocational training to Japan in the range of higher education. Currently, students who have studied for one or more years (1st, but at least 1,700 hours of classes) at a professional training college receive a Diploma, whereas those who have studied for five years or more (1st, but at least 3,400 hours of classes) receive an Advanced Diploma. Students with a Diploma are allowed to transfer to a university, and students with an Advanced Diploma are eligible to graduate school.

Academic degrees conferred by colleges in Japan			
Classification of colleges	Academic degrees conferred by colleges in Japan	Classification of educational institutions	Academic degrees conferred by colleges in Japan
Graduate School	Doctorate degree Master's degree	Professional Training College	Advanced Diploma
University / College	Bachelor's degree	Advanced Diploma	Diploma
Junior college	Associate degree		

Students who are qualified for the transfer to higher education in Japan are those who have completed the required number of classes and have received a Diploma or an Advanced Diploma. Students who are qualified for the transfer to higher education in Japan are those who have completed the required number of classes and have received a Diploma or an Advanced Diploma.

Job opportunities

Specialized training and extensive job opportunities in many fields

Want to help others and the world?

Culture and Language	Health and Welfare	Education and Training
English	Japanese	English
French	French	French
Spanish	Spanish	Spanish
German	German	German
Italian	Italian	Italian
Portuguese	Portuguese	Portuguese

Job	Job	Job
English teacher	French teacher	Spanish teacher
French teacher	Spanish teacher	German teacher
Spanish teacher	German teacher	Italian teacher
German teacher	Italian teacher	Portuguese teacher

Want to make something new?

Technology	Agriculture	Business
Computer	Computer	Computer
Internet	Internet	Internet
Software	Software	Software
Hardware	Hardware	Hardware

Job	Job	Job
Computer engineer	Internet engineer	Software engineer
Software engineer	Hardware engineer	Business engineer

Want to be a business professional?

Technology	Agriculture	Business
Computer	Computer	Computer
Internet	Internet	Internet
Software	Software	Software
Hardware	Hardware	Hardware

Job	Job	Job
Computer engineer	Internet engineer	Software engineer
Software engineer	Hardware engineer	Business engineer

Want to help others?

Health and Welfare	Education and Training	Business
English	Japanese	English
French	French	French
Spanish	Spanish	Spanish
German	German	German

Job	Job	Job
English teacher	French teacher	Spanish teacher
French teacher	Spanish teacher	German teacher
Spanish teacher	German teacher	Italian teacher
German teacher	Italian teacher	Portuguese teacher

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

KIMURA ANDREY (Russia)

COSTA ALEXANDRE (Brazil)

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some foreign students who are studying at a professional training college

Introducing some

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

การเลือกโรงเรียน การสมัครเรียน จนถึงการศึกษา

1. ค้นหาโรงเรียนที่ต้องการเรียน
2. ติดต่อขอข้อมูลโรงเรียน
3. สมัครเรียน
4. ศึกษาต่อ

5. เดินทางไปเรียน
6. ศึกษาต่อ

7. จบการศึกษา
8. กลับมาประเทศไทย

WELCOME TO PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE in JAPAN

平成25年度 文部科学省委託事業 専門学校留学学生就職アシスト事業

จัดพิมพ์โดย Association for Technical and Career Education

<http://www.spec.or.jp/>

การใช้ชีวิตที่ญี่ปุ่น

1. เรียนภาษาญี่ปุ่น
2. เรียนวิชาชีพ
3. เรียนภาษาอังกฤษ
4. เรียนวิชาชีพ
5. เรียนภาษาญี่ปุ่น
6. เรียนวิชาชีพ
7. เรียนภาษาอังกฤษ
8. เรียนวิชาชีพ

การเลือกโรงเรียน การสมัครเรียน จนถึงการศึกษา

1. ค้นหาโรงเรียนที่ต้องการเรียน
2. ติดต่อขอข้อมูลโรงเรียน
3. สมัครเรียน
4. ศึกษาต่อ

5. เดินทางไปเรียน
6. ศึกษาต่อ

7. จบการศึกษา
8. กลับมาประเทศไทย

เรียนต่อที่ญี่ปุ่นเพื่อหาความรู้ทางวิชาชีพ และเทคนิคขั้นสูงที่ช่วยให้ทำงานได้

1. เรียนภาษาญี่ปุ่น
2. เรียนวิชาชีพ
3. เรียนภาษาอังกฤษ
4. เรียนวิชาชีพ
5. เรียนภาษาญี่ปุ่น
6. เรียนวิชาชีพ
7. เรียนภาษาอังกฤษ
8. เรียนวิชาชีพ

บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน Professional Training College

1. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
2. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
3. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
4. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
5. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
6. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
7. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน
8. บริการช่วยเหลือที่โรงเรียน

การทำงาน

1. เรียนภาษาญี่ปุ่น
2. เรียนวิชาชีพ
3. เรียนภาษาอังกฤษ
4. เรียนวิชาชีพ
5. เรียนภาษาญี่ปุ่น
6. เรียนวิชาชีพ
7. เรียนภาษาอังกฤษ
8. เรียนวิชาชีพ

ผลการเรียน

1. เรียนภาษาญี่ปุ่น
2. เรียนวิชาชีพ
3. เรียนภาษาอังกฤษ
4. เรียนวิชาชีพ
5. เรียนภาษาญี่ปุ่น
6. เรียนวิชาชีพ
7. เรียนภาษาอังกฤษ
8. เรียนวิชาชีพ

[illegible]

STUDY in JAPAN

WELCOME TO
PROFESSIONAL
TRAINING
COLLEGE
in JAPAN

平成25年度 文部科学省委託事業 専修学校留学生就職アシスト事業

Phát hành | Association for Technical and Career Education

<http://www.sacc.or.jp/>

[illegible]

Đu học sinh học tại trường Professional Training College

Trong tương lai, muốn trở thành một kỹ sư điện tử

Nếu học sinh học tại một trường dạy nghề, và là một kỹ sư điện tử giỏi có thể học, thực hành chuyên nghiệp, kỹ năng học và làm việc của học sinh, nhiều chuyên gia giáo dục và người khác có thể học hỏi được từ đó. Trong tương lai, tất cả các học sinh đều có thể trở thành chuyên gia trong lĩnh vực này.

Trong tương lai, bạn muốn hướng tới công việc gì?

Đa số các học sinh đều chọn công việc của kỹ sư điện tử. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này.

Trong tương lai, bạn muốn trở thành chuyên gia trong lĩnh vực nào?

Đa số các học sinh đều chọn công việc của kỹ sư điện tử. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này.

Trong tương lai, bạn muốn trở thành chuyên gia trong lĩnh vực nào?

Đa số các học sinh đều chọn công việc của kỹ sư điện tử. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này.

Trong tương lai, bạn muốn trở thành chuyên gia trong lĩnh vực nào?

Đa số các học sinh đều chọn công việc của kỹ sư điện tử. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này. Họ muốn học và làm việc trong lĩnh vực này.

Quá trình học

Trang bị những kiến thức và kỹ năng cần thiết để có thể làm việc trong lĩnh vực này.

Học bổng

Loài học bổng

Mức học bổng hàng tháng

web

48.000 yên

JASSO

<http://www.jasso.go.jp/chiho/chiho-yakuken.html>

Việc làm thực tế

Thị trường việc làm của kỹ sư điện tử đang phát triển mạnh mẽ.

Thống kê các kỹ thuật lập trình được sử dụng trong các doanh nghiệp

Sau khi tốt nghiệp, bạn dự định làm việc trong lĩnh vực nào?

Con đường sự nghiệp tốt nghiệp

Những sinh viên tốt nghiệp của trường chuyên nghiệp sẽ có thể tiếp tục học tập và nghiên cứu tại các trường đại học, hoặc có thể đi làm ngay sau khi tốt nghiệp.

Thống kê các kỹ thuật lập trình được sử dụng trong các doanh nghiệp

Sau khi tốt nghiệp, bạn dự định làm việc trong lĩnh vực nào?

Thống kê các kỹ thuật lập trình được sử dụng trong các doanh nghiệp

Sau khi tốt nghiệp, bạn dự định làm việc trong lĩnh vực nào?

3. 留学生受け入れ専門学校名簿の作成・配布

●名簿の作成

後掲の「専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査」アンケート用紙にて、留学生受け入れ名簿への掲載を許可する回答を得た専門学校のみ、県別・五十音順で、各学校の学校名、住所、ホームページアドレス、電話番号を載せて作成した。

※掲載されている専門学校(593校)は、平成25年5月現在、本財団で把握している「留学生を把握している」もしくは「受け入れたいとしている」学校のリストである。

●配布先

日本語教育機関、等。

平成 26 年 3 月

留学生受け入れ専門学校名簿

—平成25年度—

平成25年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

学校名	所在地（URL）	電話番号
北海道		
道庁学校エグゼクティブアカデミー専門学校	062-0906 札幌市豊平区南平六条6-5-1 http://www.hsb.ac.jp	011-811-5515
札幌学院エスエチカビジュアルデザイナー札幌	064-0810 札幌市中央区南十条南1-1-3 http://www.esetech.ac.jp	011-522-0321
大館実践経済専門学校札幌校	060-0806 札幌市江北区江ノ口西8-8-1 http://www.ohtsuka.ac.jp	011-707-0088
北見拓殖ビジネス専門学校	090-0817 北見市富岡3-1-4 1-8 http://www.kuribara.ac.jp	0157-61-5588
北見実務専門学校	090-0806 北見市花岡1-7-1 1-5 http://k/bc/info	0157-44-3604
専修学校実践経済専門学校	062-0933 札幌市豊平区平岸二条2-5 http://www.keisoin.kosen.ac.jp	011-821-2155
国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局札幌発達障害福祉センター	042-0932 札幌市中央区南1-3-5 2-0 http://www.rehab.go.jp/hokkaido	038-59-0751
札幌発達障害福祉専門学校	060-0042 札幌市中央区南一条西1-8-1 8 http://www.sankyo.ac.jp	011-646-2865
札幌エコー専門学校	060-0001 札幌市中央区北一条西1-9-1 1-0 http://www.sankyo.ac.jp/sapporo-child	011-616-2111
札幌科学専門学校	064-0807 札幌市中央区南七条西1-0-1 3-4 http://www.sankyo.ac.jp/sds/pokun/	011-511-1885
札幌スクールオブミュージック専門学校	060-0001 札幌市中央区南一条西8-2-7 5-5 http://www.som.ac.jp	011-280-2100
札幌ビジュアルアート専門学校	060-0061 札幌市中央区南一条西9-1-1 3 http://www.sankyo.ac.jp/sapporo-child	011-232-3230
札幌プライム専門学校	060-0042 札幌市中央区南一条西9-1-1 1 http://www.sankyo.ac.jp/sapporo/lelle	011-232-3334
札幌レゾナンス製菓調理専門学校	065-0026 札幌市東区北一条東1-4-1 4-5 http://www.foods.belle.ac.jp	011-712-8666
札幌ベルゴースタディオ実務専門学校	060-0031 札幌市中央区北一条東1-7-1 1 http://www.sapporo.belle.ac.jp	011-219-6272
札幌放送芸術専門学校	060-0001 札幌市中央区北一条西8-2-7 5 http://dsba.ac.jp	011-280-5100
札幌市立国際関係看護専門学校	073-0164 札幌市西区南一条1-1-5 http://www.med.sankyo.ac.jp/school/	0125-52-6171
日本工科大学札幌看護専門学校	059-8601 砂防町札幌18-4-3 http://www.wakus.ac.jp	0143-88-0888
北海道工芸・動物自然専門学校	061-1373 札幌市東区南野5-1-0-4 http://eco.bhit.ac.jp	0123-36-2311
北海道介護福祉専門学校	069-1508 札幌市中央区南一条西6-0-1 http://www.inn.hokurika-bokai.ac.jp	0123-72-6060
北海道歯科技術専門学校	061-1121 北支那道中央3-4-1 http://www.hokkaidodentaltec.ac.jp	013-72-4457
専門学校札幌自動車自動車整備専門学校	097-0884 札幌市東区北一条東二条2-1-7 3-7 http://www.vshs.seshi.jp	011-790-1205
専門学校札幌道建専門学校	065-0011 札幌市中央区北一条東6-1-3-0 http://www.vshs.ac.jp	011-753-7073
北海道中央福祉専門学校	062-0023 札幌市豊平区西一条西6-1-2-0 http://www.sapporo.higashikosen.ac.jp	011-856-0022
北海道ハイテクファッション専門学校	061-1396 札幌市東区南一条西2-1-2 1-1 http://www.vhit.ac.jp	0123-39-6666
北海道福祉教育専門学校	051-0004 室蘭市母島南1-5-1 1-1 http://www.widuka-boku.ac.jp	011-232-7722
北海道情報ビジネス専門学校	065-0015 札幌市東区北一条東6-2-31-2 http://www.vshs-business.jp	011-711-6770
道庁学園福祉専門学校	065-0016 札幌市東区北一条東6-5-4-7 http://www.vshs-dokko.ac.jp	011-712-1631

学校名	所在地（URL）	電話番号
東北バイオテクニカルカレッジカレッジ	020-0205 仙台市青葉区西通 2-5-1-5 http://www.kitaki.ac.jp/nite	019-621-2105
宮城県福祉福祉専門学校	020-0225 仙台市大川町 3-5-1-8 http://www.morioka.ac.jp	019-624-8600
専門学校カレッジオプティクス	020-0205 仙台市大川町 3-1-1-8 http://www.morioka.ac.jp	019-651-5001
専門学校ビジュアル専門学校	020-0201 仙台市中央通 3-2-1-7 http://www.mps.jp	019-622-1500
茨城県		
専門学校花巻自動車大学校	980-0815 仙台市青葉区花巻 8-1 http://www.kadan-sts.co.jp	022-222-3838
仙台マシナリクス専門学校	980-0801 仙台市青葉区中央 4-8-3-2 http://www.mrlc.ac.jp	022-222-2328
仙台医療福祉専門学校	984-0051 仙台市青葉区新寺 2-1-1-1 http://www.sendai-da.ac.jp	022-292-2141
仙台医療福祉専門学校	984-0051 仙台市青葉区中央 4-8-3-2 http://www.sankyo.ac.jp/sendai-med	022-256-2271
仙台ウェディングアカデミアドレス専門学校	983-0852 仙台市青葉区柳川 3-1-6 http://www.sendai-wed.ac.jp	022-742-5682
専門学校仙台カルテツデザイン	983-0852 仙台市青葉区柳川 3-3-3-6 http://www.scsd.ac.jp	022-291-3577
仙台国際実業専門学校	980-3012 仙台市青葉区柳川 1-1-2 http://www.shib-vc.jp	022-222-210
仙台こども専門学校	984-0051 仙台市青葉区新寺 2-1-1-6 http://www.sankyo.ac.jp/sendai-kid	022-742-5660
仙台コミュニケーションアート専門学校	984-0051 仙台市青葉区新寺 2-1-1-1 http://www.sendai-scan.ac.jp/	022-292-2232
仙台総合ビジネス公務員専門学校	980-0014 仙台市青葉区中央 1-1-5-1 http://www.sugensha.ac.jp/business/	020-212980
仙台スリープランドス専門学校	983-0852 仙台市青葉区柳川 3-8-5 http://www.sankyo.ac.jp/sendai-sleep	010-975-9312
仙台総合専門学校	980-0014 仙台市青葉区中央 1-1-2-20 http://www.sugensha.ac.jp/pet	022-221-1112
仙台ビューティー専門学校	983-0852 仙台市青葉区柳川 3-8-2-5 http://www.sendai-bv.ac.jp	022-292-3715
仙台ヘアメイク専門学校	980-0021 仙台市青葉区中央 3-4-8 http://www.shsma.ac.jp	022-722-5780
仙台YMC国際ホテル専門学校	980-0852 仙台市青葉区中央 9-7 http://www.sendai-ymca.ac.jp/hotel	022-222-7645
仙台デザインデジタルアート専門学校	980-0004 仙台市青葉区中央 2-1-1-10 http://www.sugensha.ac.jp/art/	022-211-8714
東京11会計専門学校仙台校	980-0021 仙台市青葉区中央 1-1-6 http://www.all-japan.ac.jp	022-713-8715
東北芸術短期専門学校	980-0022 仙台市青葉区中央 1-1-11-1 http://www.tobio.ac.jp	022-267-3847
東北福祉専門学校	982-0841 仙台市大川町 4-2-7-8 http://www.tnshs.ac.jp	022-266-0237
東北電子専門学校	980-0013 仙台市青葉区花巻 1-3-1 http://www.wj-21.ac.jp	022-244-6501
東北保健福祉専門学校	980-0013 仙台市青葉区花巻 1-3-1 http://www.tnhs.ac.jp	022-745-0001
ドメスティック芸術専門学校	980-0824 仙台市青葉区中央 1-3-3 http://www.doestaria.ac.jp	022-23-5324
東北日本航空専門学校	980-2421 宮崎市下野郷字夜宿 8-4 http://www.jpvac.ac.jp	022-222-2241
宮城県調理専門学校	981-0917 仙台市青葉区山崎 1-1-0 http://www.miyagi-cc.ac.jp	022-772-3131

青森県	http://www.yosinai-doudou.co.jp/	
青森県ヘアアーティスト専門学校	036-8096 弘前市表町 6-4 http://haair-artist.com/	0172-31-2200
八戸看護専門学校	039-1161 八戸市大字河原本字北沼 2-2-4 1 http://www.8-kango.ac.jp/	0178-28-4002
岩手県		
日本医療福祉専門学校	020-0045 盛岡市盛岡西通 2-5-1 5 http://www.kitakita.ac.jp/	019-621-2105

宮城文化服装専門学校	http://www.miyagifashion.ac.jp 984-0073 仙台市若林区荒町209 http://www.miyagifashion.ac.jp	022-227-1345
秋田県立衛生看護専門学校	013-0037 横手市前庭二番町10-2 http://www.pref.akita.lg.jp/www/genre/0000000000000/1000000000994/	0182-23-5011
山形県立若菜看護専門学校	997-0035 鶴岡市市場町2-1 http://www.shouhei-hys.jp/~school	0235-22-1919

(2) WEB サイトによる情報発信

情報発信内容

専門学校制度の概要・特長、日本での生活、奨学金情報、卒業後の進路と就職、留学生受け入れ専門学校名簿、各種日本留学関連情報、本委託事業で作成した各国言語版及び日本語版による専門学校留学パンフレット・チラシのダウンロード、本委託事業調査結果など。これまでの文部科学省「専修学校留学生総合支援プラン」で実施した各都道府県専各協会等の成果を本サイトに集約し、体系的にまとめることにより、留学生が日本企業に就職するための学習機会を整備し、今後の留学生支援体制を確立する。



(3) 中小企業との留学生を対象とした 短期インターンシップ等の実態把握と事例収集

1. 専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査

● 調査の趣旨

文部科学省の平成25年度「専修学校留学生就職アシスト事業」に、本財団として『専門学校留学生の就職支援と情報提供ネットワークの構築』事業が採択された。本事業は、専門学校への留学希望者に対する来日の動機付けと入学支援、日本の中小企業及び専門学校に対しては受入態勢の整備に係る就職支援を行うなど、産業界等との連携の下、専門学校の留学生に係る入口から出口までの体系的な取り組みを推進することとなっている。

本調査は、この事業の趣旨に基づき、各専門学校における留学生受け入れの実態及び意向を継続的に把握し、今後の留学生に対する政策立案等の基礎資料とすると同時に、留学生の就職をアシスト・支援する情報を収集して、全国の専門学校に広く情報提供を行うため調査研究を行うこととした。

● 調査の実施

全国の専門学校2,805校を対象にアンケート郵送法による調査を行った。調査は平成25年5月1日を基準日とし、調査期間は平成25年12月6日から12月20日までで、59.7%に相当する1,675校より回答を得ることができた。

回答校のうち「留学生が在籍している」と回答したのは356校（昨年度482校）、「在籍していない」は1,201校（同922校）であった。回答校中の在籍者の総数は11,844人（同18,450人）であり、前年度比6,606人激減（同35.8%減）という厳しい結果となった。

回答校における平成25年度の留学生入学状況は、入学者総数が6,087人（昨年度11,743人）となり5,656人減、48.2%減である。およそ半減といってもよい激減ぶりである。

出身国別で見ると、特に中国からの留学生は3,355人と昨年に比べ4,225人減少（同55.7%減）した。上位10か国のうちベトナムだけが232人増えた以外は、韓国、台湾、ネパール等、他の9か国はすべて減少している。受け入れ校数については、上位10か国すべての国が減少している。

分野別人数を見ると、1「商業実務（27.7%）」、2「文化・教養（日本語科以外＝専門学科）（22.9%）」、3「文化・教養（日本語科）（22.8%）」の順となる。割合の増減では、増えているのは「文化・教養（日本語科以外＝専門学科）」、「衛生」、「教育・社回福祉」、「農業」、「医療」で、他の分野の割合は減少している。

平成25年3月卒業の留学生の卒業後の進路は、回答のあった卒業生総数は4,794人（同7,951人）で、「専門学校に進学（1,027人）」が最も多く、次いで「日本で就職（998人）」「大学に進学（986人）」「帰国（830人）」の順となる。

自由記述については、「留学生が在籍していない理由」、「留学生受け入れに関する意見、要望」、「今年入学した留学生の傾向」、「日本国内で就職できた事例、卒業した学科と就職できた職種・

ビザ」、「留学生の就職に向けてのサポート方法」、「留学生が専門分野以外の業種に就職を希望する場合の対処と方策」、「インターンシップ参加の事例」、「今後の専門学校の国際交流で具体的に取り組みたい課題・解決すべき課題」等の各項目で回答をいただいた。内容に関しては各設問の分析で詳細を記すこととする。

専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査研究報告書

専門学校へのアンケート調査では、設問 5 から 9 にかけて、留学生が参加可能なインターンシップ制度活用の現状と、意見・感触・要望等について問うています。

設問 5 現在、留学生が参加可能なインターンシップ制度を実施されていますか。

- 1 実施している
- 2 今は実施していないが、将来実施する予定である
- 3 実施していない(予定もない)

無回答を除いた 445 校の回答では、

1 実施している	155 校 (34. 8%)
2 今は実施していないが、将来実施する予定である	32 校 (7. 2%)
3 実施していない(予定もない)	258 校 (58. 0%)

という結果でした。実施している学校数はおよそ 3 分の 1 ということになります。

設問 6 留学生が参加可能なインターンシップで連携する企業を探すため、どのような施策を講じていますか。※複数回答可

- A 学内で開催する企業説明会への出展依頼
- B 企業への案内書の発送
- C メディアの活用(新聞、雑誌、就職サイトなど)
- D 経済団体・雇用サービスセンター等の活用
- E 留学生卒業生同窓会の活用
- F その他

専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査研究報告書

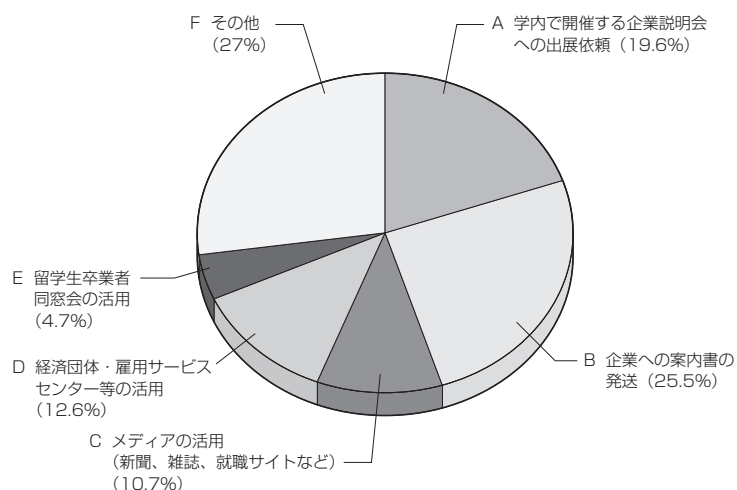


図10 連携する企業を探すための施策

「採用に関しては企業から当校の理解を得るためにもインターンシップ等の活動が必要かと思う」という意見が多いなかで、学校側の施策としては、「企業への案内書の発送」が最も多く、次いで「学内で開催する企業説明会への出展依頼」を多く採り入れていることが分かる。

では、インターンシップ制度に取り組むことに、どのようなメリットがあると考えておられるかを尋ねた。

設問 7 インターンシップ制度は学校・学生側にとって、どのようなメリットがあるとお考えでしょうか。※複数回答可

- A 企業との接点が増え、学校側の要望を伝えることができる
- B 社会に対して自校の存在をアピールすることができる
- C 学生の職業意識を向上させ、実践的人材として育成することができる
- D 就職後短期間で離職する事態を防ぐことができる
- E 企業との連携関係を確立し、情報交流を進める機会となる
- F その他

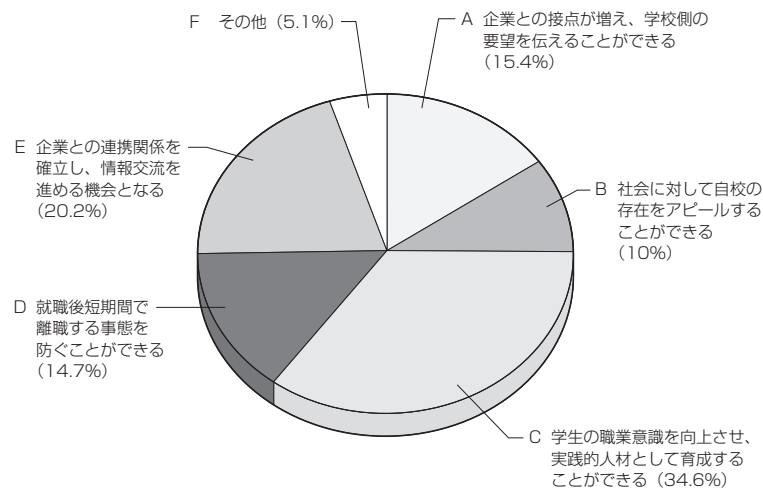


図11 インターンシップのメリット

無回答を除く570件の回答のなかで、「C学生の職業意識を向上させ、実践的人材として育成することができる」と「E企業との連携関係を確立し、情報交流を進める機会となる」で過半数を占めている。

では、具体的にはどのようなインターンシップに取り組んでおられるか、その事例をお尋ねしたところ、170件の回答をいただいた。

設問 8 留学生が参加したインターンシップにつき、企業数、期間、受け入れ規模、就業形態（アルバイト、研修）をふまえて、事例をお教えください。

- 企業数：2 期間：1ヶ月 形態：研修。企業側が求める技術レベル・日本語力もクリアした留学生がインターンに参加。実践技術向上をベースに学校より依頼。内1つのケースは内定にもつながる。事業内容として海外取引のある企業が受け入れを認めてくれる傾向にある
- 12社に2週間ほど15名を受け入れていただいた。企業での業務体験を通して、日本ビジネスマナーを学び、自己の就業意識の向上に役立っている
- 本校では夏休み期間の1～2週間でインターンシップを実施・運営している。例年30名余りの学生が参加、うち1割程度の留学生が希望する業種・職種の企業にお世話になっている。日本人・留学生の区別なくオープンに受け付けている。また、受け入れ企業も日本人・留学生の区別なく接していただき評判も良く、なかにはそのまま就職へ結びつくケースもある。当然ながら参加する学生というのは皆意識も高く日本語力も相当あると思われる

専門学校における留学生受け入れ実態に関する調査研究報告書

- 業界によって期間が異なる。クリエイター職の中に奨学金を出して頂きながらのインターンシップから企業採用へ繋がる機会をくださる企業もあった
- 内定企業へのインターンシップが15～16社、5～6ヶ月間がいちばん多く、1名程度。研修ではあるが、週28時間までの報酬はなるべくお願いしている
- ライブ研修という名前でコンサートにスタッフとして参加する。毎週のように行われ、1日から1週間（フェス）程度で、人数は10人から数十人。留学生と日本人の区別はない。現場ではプロと一緒に様々な経験ができる
- 日本語能力が日本人並みで、日本文化や価値観、日本人とのコミュニケーションに支障がない学生は実施しており、内定を頂いたケースがある
- 当校では在籍中（2年間の間）に、留学生も日本人同様に1回のホテル研修（8週間）×3回＝24週間が必須となっています。従って、日本語能力だけではなく、接客やコミュニケーション能力も必要となります
- 企業数は約10社で、期間は1～2週間ほど、研修を行う。インターンシップ先には、学生が実務にたずさわることができるようお願いし、実践をさせていただいている
- 授業の一環として校外実習（インターンシップ）を実施。時間数は調理高度技術学科2年制で120時間、調理師1年制で60時間の規定
- 本校では、インターンシップ（無給の職業体験）ではなく、有給で旅行会社やホテル等に於いて採用を前提とした長期アルバイトを斡旋している。この間に、人物や能力を見極めていただき、別途正式に採用面接を実施し、採用内定に導いている。
- 1年生の春休みを利用して、10社ほどの企業へ研修に行っています。報酬は交通費や食費等も含めて原則支給していません。夏休みも3社ほど数名受け入れてインターンシップに出しています。
- ホテル科の場合、今年は15社前後のホテルからインターンシップを受け入れていただいた。期間は1ヶ月半。職種については、各外国人留学生の日本語力により、表に出る職種と、裏方の業種に分けられる。
- 昨年度実績→受入れ企業数：23社、受入れ期間：最短1週間～最長1ヶ月、受入れ規模：1社につき最少1名から最多3名、就業形態はインターンシップ（無給の就労体験研修）、事例→株式会社オンワード樫山、平成25年3月11日～同年同月22日まで、研修学生全10名中留学生2名（中国、ロシア）、レディスブランドに配属されデザイナーアシスタントとして研修。
- 企業数：2 期間：1ヶ月 形態：研修。企業側が求める技術レベル・日本語力もクリアした留学生がインターンに参加。実践技術向上をベースに学校より依頼。内1つのケースは内定にもつながる。事業内容として海外取引のある企業が受け入れを認めてくれる傾向にある
- 留学生のインターンシップに関しては、外国人向け就職サイトや就職斡旋サービスを利用している。具体的には、新卒者（留学生）就職応援プロジェクト（全国中小企業団体中央会主催 株式会社学情が運営）を利用してインターンシップを行った。

インターンシップで連携する企業に対して、学校側はどのように感じておられるのか率直な感想をお尋ねしたところ、154件の回答をいただいた。

設問 9 外国人留学生のインターンシップを受け入れてくれる企業等に対する、学校側の意見または感触をお教えてください。

- 留学生も受け入れがあるような企業は、求めるものも大きい。人間性・コミュニケーション能力に加えて語学力は日本人以上に求めているので、学生には頑張ってもらいたい
- 日本語理解力が低くても受け入れ可の企業を選択。迷惑をかけるかもしれない事を前提でお願いしている。必須な履修科目なため、受け入れ許可をいただける企業の存在は大変ありがたい
- アニメスタジオにおいては、アジア圏企業との取引が盛んで留学生雇用が常態化しており、日本人学生同様のインターン受け入れを行っていただける
- 求人募集につながっており、インターンシップに参加した学生は書類選考を免除されるケースもあります。経験した学生は就職に対する意識が高まり、就職活動に好影響がありますが、受け入れ数が少ない
- 企業規模の大小を問わず受け入れ間口は広がっている。受け入れ先によっては、出身国・地域を指定してくるケースもあり、グローバル化適応の一策として留学生を受け入れているようである。ただし、留学生のインターンシップが採用に結びついた事例は希少であり、機会が活かされていない現状を残念に感じる
- 語学力が多少低い生徒でも、企業側に直接その職業に対する熱意と真剣さ、能力を直接見せることができ、就職まで繋がっていく
- インターンシップを経験することにより、日本での文化や慣習を理解でき、今後就労に臨む姿勢を育成することができたと考えています
- 海外のお客様の受け入れや、海外への販売実績のある企業を中心に働きかけている。最近、企業の対応力が変わり、積極的になっている
- 採用の見込みのあるインターンシップで、卒業年次の1月末迄に結論を出せるようなプログラムなら安心して参加させたい
- 日本人同様に全てのホテルに受け入れていただきたいのですが、やはり受け入れは日本人のみということもあります
- インターンシップを行い、企業も留学生をもっと理解し、留学生も企業や職種について理解を含めることができると思います。離職率が高い若者に対して、インターンシップは行うべきだと思います
- 外国人を採用したい企業が多いです。最近では『インドネシアから顧客を引っ張ることができる（あるいは素養がある）者』など、以前より採用側がインターンシップ前に峻別する傾向がみられ、インターンシップに行った学生の就職率は高いように思われます
- 事前に企業との綿密な打ち合わせが重要であり、特に宿泊を伴う場合や、生活習慣に関しては配慮が必要である

2. 企業における外国人留学生向けインターンシップ等の採用実態に関する調査

● 調査の概要

日本国内での経済成長や景気の先行きが読みにくいなか、世界進出を計画する企業が増えている。なかでも経済発展が見込める中国をはじめとするアジアへ熱い視線が向けられている。日本貿易振興機構（ジェトロ）の調査によると、日本企業の2社に1社は成長市場を求めて海外に拠点をもつようになったという。

日本企業はもともと働き手（安い人件費）を求めてアジアに進出してきたが、これからは市場としての重要性和、魅力あふれるアジアの経済成長をいかに日本に取り込むかが各企業のビジネス戦略の大きな柱になってくる。文化や価値観の違う海外でいかに優秀な現地人材を集め、育てるかに進出企業は知恵を絞っている

一方、日本に来て学び、身に付けた専門的知識や技術を就職に活かしたくても就職できない外国人留学生たちもいる。成長市場を求めて海外に拠点を設ける企業にとって、この外国人留学生たちは貴重な役割を担える人材であるといえるだろう。

現在、企業における外国人留学生たちの採用・活用状況はどうなっているのか、その実態を把握するための調査研究を行い、全国の専門学校等の外国人留学生の国内就職をさらに促進させることを目的とした。

● 調査の実施

全国の企業3,033社を対象にアンケート郵送法による調査を行った。調査は平成25年5月1日を基準日とし、調査期間は平成25年12月6日から12月20日までで、346社から回答を得ることができた。無回答を除く189社全体では、外国人従業員が87社（46.0%）に在籍し、総人数は18,075人であった。（※そのうち、N社では世界29か国140か所に生産・販売拠点をもち、従業員28,487人のうち外国人は17,267人という数値が特別に高い1社含む）

外国人従業員が在籍する企業の事業内容は、「製造業」（17,390人）、「卸売業、小売業」（298人）、「宿泊業、飲食サービス業」（137人）、「サービス業」（68人）の順であった。

海外に生産拠点をもつ企業や、グローバル化を図りたいと望む企業がどこに目を向けているかの調査では、GDP1位・2位のアメリカ・中国との取引を多く望んでいることが分かる。タイ・インドネシア・韓国・ベトナム・シンガポール・台湾など、アメリカを除く上位国はすべてアジア圏であり、アジアとの産業界の結び付きがますます深まることが予想できる。

外国人留学生の採用実態としては、過去3年間合計で製造業（21社）、卸売業、小売業（13社）、サービス業（7社）で、毎年90人前後を採用してきている。今年の状況としては、「採用する・条件が整えば採用する」と答えた企業は、22.6%で、職種としては「海外営業」（26.1%）、「研究・開発・設計」（11.3%）「企画・マーケティング」（10.6%）「国内営業」（10.5%）「IT・ソフトウェア」（8.5%）となっている。

そのほか「インターンシップ制度の実施状況」、「採用する外国人留学生に求める能力」などをお尋ねしている。内容に関しては各設問の分析で詳細を記すこととする。

3 インターンシップ制度の実施状況

設問【10】～【12】では、インターンシップ制度の実施状況をお聞きし、77社から寄せられた無回答以外のものを集計すると、

- 「1 現在実施している」(17校)
- 「2 今は実施していないが、将来実施する予定である」(20校)
- 「3 実施していない」(40校)

このような結果であった。

「留学生総合支援プラン」で強調されている「企業インターンシップの促進」がどのように反映されているか注目していたが、「外国人留学生も参加可能なインターンシップ制度を実施していない、予定もない」という企業が半数以上もあり、残念な結果であった。今後、外国人留学生の就職・生活支援の取り組みを総合的に進めるためにも、「企業インターンシップの促進」に目を向けていただけたらと思う。

設問【10】 御社では外国人留学生も参加可能なインターンシップ制度を実施されていますか。

- 1 現在実施している
- 2 今は実施していないが、将来実施する予定である
- 3 実施していない(予定もない)

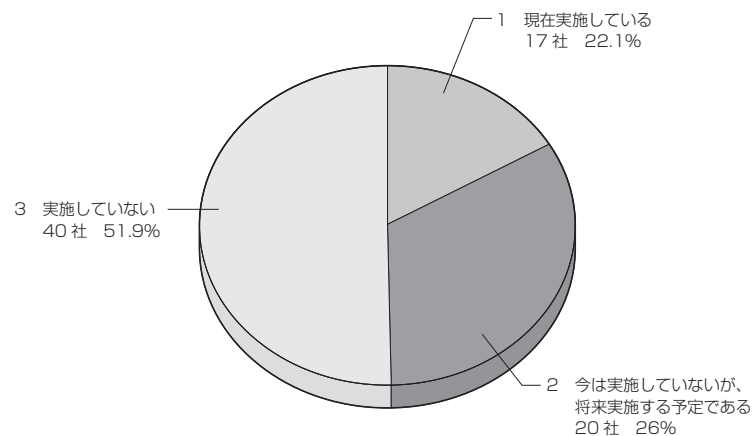


図11 外国人留学生も参加できるインターンシップ制度を実施しているか

企業における外国人留学生の採用実態に関する調査

設問【11】 インターンシップ制度で、外国人留学生を受け入れる部署はどこですか。

※複数回答可(2つまで)

- A 研究開発
- B 製造
- C 営業(国内)
- D 営業(海外)
- E 総務・広報
- F 商品企画・市場調査
- G その他

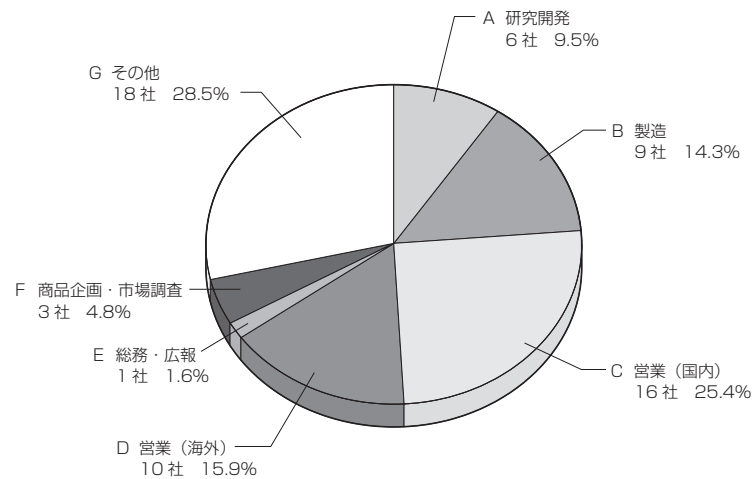


図12 インターンシップ制度で外国人留学生を受け入れる部署

1 「B 製造」(16社・25.4%)

2 「C 国内での営業」(10社・15.9%)

3 「D 海外での営業」(9社・14.3%)

の順であった。CとDを合わせ約4割となる営業分野で期待されていることが分かる。

設問【12】 外国人留学生を対象としたインターンシップで連携する学校を探すため、どのような施策を講じていますか。※複数回答可(3つまで)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| A 学校が開催する企業説明会への出展 | G 雇用サービスセンター等の活用 |
| B 学校への案内書の発送 | H 自社ホームページでの告知 |
| C 教授等からの推薦 | I 社内人脈の活用 |
| D 学校への寄附講座・講師の派遣 | J 同窓会の活用 |
| E 日本で開催する合同企業説明会への出展 | K 外国人留学生を対象とした奨学金制度 |
| F メディアの活用(新聞、雑誌、就職サイトなど) | L その他 |

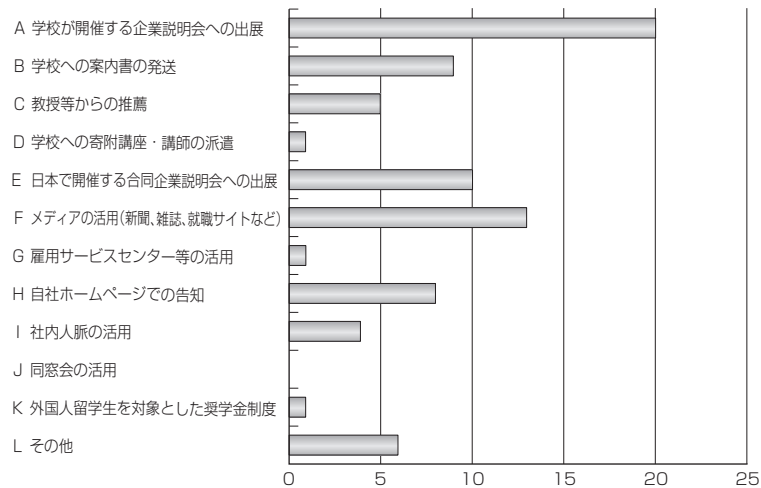


図13 企業による連携する学校を探す施策

無回答を除く78社の回答では、

- 1 「A 学校が開催する企業説明会への出展」(20社・25.6%)
- 2 「F メディアの活用(新聞、雑誌、就職サイトなど)」(13社・16.7%)
- 3 「E 日本で開催する合同企業説明会への出展」(10社・12.8%)

の順であった。

企業説明会を多く活用していることが分かる。

3. グローバルインターンシップ事業（大阪事業分科会）

専修学校留学生就職アシスト事業 事業報告書（インターンシップ）

平成 25 年度文部科学省委託事業
専修学校留学生就職アシスト事業
事業報告書
（インターンシップ）

【主催】一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

【事業運営事務局】一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

【協力】一般財団法人大阪労働協会
大阪商工会議所

1. 事業実施概要

(1) 目的

近畿圏内の専修学校・各種学校に在籍しており、2014年3月・2015年3月に卒業予定の外国人留学生を対象に、外国人留学生の採用意欲がある企業とのマッチングの機会を創出する。

そこで、職場体験を実施、留学生に日本企業で働くことに対する意識づけや、今後の就職活動または日本で仕事をしていく上で必要となる知識やスキルを習得できるように実施する。

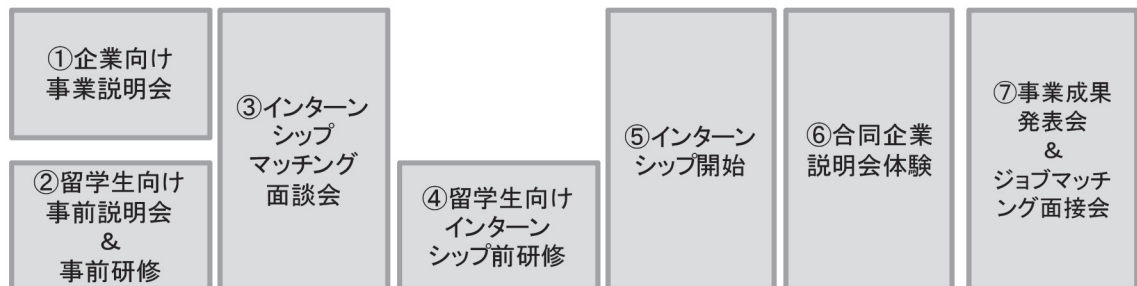
(2) 実施期間

平成25年7月～平成26年3月



(3) 全体の流れと実施内容

①企業向け事業説明会



留学生の採用に興味・関心を持っている企業や採用を考えている企業へ、本事業や今後の流れなどを説明する。

②留学生向け事前説明会&事前研修

本プログラムにおける今後の流れなどを説明する。

就職活動におけるビジネスマナーやマッチング面談会に向けた自己PRの方法など、今後、就職活動を進めていく上で役立ててもらえるようなセミナーを実施する。

③インターンシップマッチング面談会

企業と留学生が実際に顔を合わせる面談会を実施する。

この面談会を通してお互いの交流を深め、企業はインターンシップの受け入れをしたいと思う留学生を、留学生はインターンシップに行きたいと思う企業を、それぞれ挙げてもらう。

マッチング結果については、事務局側で集計後、後日連絡する。

④留学生向けインターンシップ前研修

インターンシップの受入先が決定した留学生を中心に、インターンシップに行く前に、再度、ビジネスマナーやコミュニケーションの取り方などに関するセミナーを実施する。

⑤インターンシップ開始

インターンシップ受入先企業において、約1週間のインターンシップを実施する。

この期間を通して、仕事の仕方、また働いている人の一日を体験してもらう。

また、本プログラムでは、インターンシップから継続して、「留学生の目線から見た採用戦略」をテーマに共同取組を実施する。

⑥合同企業説明会体験

「外国人留学生のための合同企業説明会」に企業のスタッフとして参加する。

そこで、共同取組で実施した採用戦略をもとに、企業ブースを訪れる他の留学生に受入企業のアピールを行う。

⑦事業成果発表会&ジョブマッチング面接会

本プログラムを通して得られた知識やインターンシップを経験しての感想及び成長点などの成果を発表する。

また、ジョブマッチング面接会も同日に実施し、留学生を採用したい企業との交流を図る。

2. 実績

実施内容	日 程	時 間	実 績		備 考
			参加 留学生数 (単位:名)	参加社数 (単位:社)	
①企業向け事業説明会	平成25年9月12日	13:00～15:00		6	製造業・サービス業・商社・IT系など
②留学生向け事前説明会&事前研修	平成25年10月7日・9日	17:00～20:00	62		10月7日:25名 10月9日:37名
③インターンシップマッチング面談会	平成25年10月14日	13:00～17:00	50	17	マッチング件数:15社44名(うち3名辞退)
④留学生向けインターンシップ前研修	平成25年10月22日・29日	17:00～20:00	57		10月22日:25名 10月29日:32名
⑤インターンシップ開始	平成25年11月1日～				
⑥合同企業説明会体験	平成25年12月3日	12:00～18:00の間で 企業が指定した時間	17	13	
⑦事業成果発表会&ジョブマッチング面接会	平成26年1月27日	13:00～16:30	42	11	

①企業向け事業説明会

本プログラムの今後の流れと、インターンシップと共同取組を組み合わせることによる狙い、12月に実施する合同企業説明会への出展などについて説明した。

また、「外国人留学生を雇用する魅力」をテーマに、外国人留学生を受け入れるメリット・デメリットやタイプ別インターンシップ活用事例などについてセミナーを実施した。

②留学生向け事前説明会&事前研修

本プログラムの今後の流れを説明した。

また、日本の就職活動におけるスケジュールや自己分析の方法、企業研究のポイントなどについてグループワークも取り入れたセミナーを実施した。

さらに、自己PRの作成方法を説明し、インターンシップマッチング面談会で使用するプロフィールシートを作成してもらった。

③インターンシップマッチング面談会

企業と留学生が直接コミュニケーションを取り、企業と留学生双方がアピールを行い、インターンシップ先の希望を出せる集合面談会を実施した。

留学生が企業ブースを訪問する形式とし、1回あたり15～20分の交流タイムを8回行い、できるだけ留学生の希望の企業と話ができるようにした。希望企業のブースに座れるよう当日は3つのグループに分け、席に着く順番をグループ別（赤、黄、青）にローテーションした。

10月14日面談会タイムスケジュール					
13:30	13:45	交流タイム1 ランダムA(15分) アルファベット			
13:45	13:48	移動			
13:48	14:03	交流タイム2 ランダムB(15分) 数字			
14:03	14:06	移動			
14:06	14:26	交流タイム3 希望A(20分) 赤→青→黄			
14:26	14:31	移動			
14:31	14:51	交流タイム4 希望B(20分) 青→黄→赤			
14:51	14:56	移動			
14:56	15:16	交流タイム5 希望C(20分) 黄→赤→青			
15:16	15:26	休憩			
15:26	15:30	移動			
15:30	15:50	交流タイム6 希望A(20分) 赤→青→黄			
15:50	15:55	移動			
15:55	16:15	交流タイム7 希望B(20分) 青→黄→赤			
16:15	16:20	移動			
16:20	16:40	交流タイム8 希望C(20分) 黄→赤→青			
16:40	17:00	希望シート・アンケート記入			

④留学生向けインターンシップ前研修

主に、インターンシップの受入先が決定した留学生等を対象に、これから実際に企業で職場体験をするにあたり、必要となるビジネスマナーやコミュニケーションスキルなどに関するセミナーを実施した。

「社会で求められているスキルは何か？」を理解し、現在の自分の状態を知ること、今後、身に付けるべきスキルに対する意識付けを目的とした。

⑤インターンシップの実施

11月1日以降で、専修学校等に通う外国人留学生41名が、各受入先企業15社で約1週間程度のインターンシップを実施し職場体験を行った。

また、インターンシップ終了後も⑥合同企業説明会体験に向けて各企業と継続して、【留学生目線から見た採用戦略】をテーマに「OSAKA ジョブフェア・外国人留学生のための合同企業説明会」で企業の魅力を発信できるよう共同で取り組み準備をした。

⑥合同企業説明会体験

12月3日に実施した「OSAKA ジョブフェア・外国人留学生のための合同企業説明会」において、インターンシップ受入先企業に出展していただき、その出展企業のスタッフとして、来場する他の外国人留学生等に対して企業のインターンシップスタッフとして企業ブースにてインターンシップ先企業の魅力を発信した。

インターンシップ開始から OSAKA ジョブフェアまでの期間、企業と関係構築を図るだけでなく、企業の魅力を探るため企業研究を深めたり、他の外国人留学生等から質問を受けたりと就職活動中の留学生と交わり、採用の裏側をみることで、インターンシップ生からは「企業側の観点から他の留学生がどう映るのか」や「自分を見つめ直すきっかけになった」との声もあった。

また、インターンシップ受入先企業においても本事業に参加しインターンシップ生を受け入れることでグローバル人材育成に向けての社内インフラ構築に繋げることを目標に実施した。

本事業参加企業には「OSAKA ジョブフェア・外国人留学生のための合同企業説明会」に優先して出展できることや⑦「事業成果発表会&ジョブマッチング面接会」に参加いただけた仕様にすることで、インターンシップ受入に関して直接的な利点を感じにくい中小企業も事業に参加いただけた。

さらに、企業のグローバル化に向けた喫緊の課題であるグローバル人材の確保にも外国人留学生等と出会える機会の提供することでグローバル人材の採用チャネル拡大に繋がるよう実施した。

⑦事業成果発表会&ジョブマッチング面接会

事業成果発表会と企業との交流会であるジョブマッチング面接会の二部構成とした。

■第一部■ 事業成果発表会（13：00～14：00）

事前に、当事業でのインターンシップに参加した留学生に成果や感想などをテーマに話をしてもらい、その様子を撮影した動画を上映する。その後、代表者（企業1社・留学生2名）より成果発表として実際に話をしてもらう。

■第二部■ ジョブマッチング面接会（14：10～16：30）

留学生が企業ブースを訪問する形式とし、1回あたり15分の交流タイムを4回行う。（14：10～15：50）交流タイム終了後、留学生が選考を希望する企業名を記入したカードを提出、すぐに集計を行い、面接タイムへと移行する。（16：00～16：30）

専修学校留学生就職アシスト事業 事業成果発表会 & マッチング面接会	
【日 時】 平成26年1月27日（月）13:00～16:30 第一部・・・成果発表会 13:00～14:00 第二部・・・マッチング面接会 14:00～16:30 【会 場】 エル・おおさか10階 松・竹・梅・寿	
タイムスケジュール（予定） 【第一部：成果発表会】 13:00～13:05 開会 挨拶（一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 留学生委員会委員長 長谷川様） 13:05～13:15 概要説明（協会・桑田） 13:15～13:35 成果発表に関する動画上映 13:35～13:55 代表者による成果発表 ●企業1社：エバオン株式会社 谷口様 ●留学生2名：ユ ソンミンさん、パク デシクさん 13:55～14:00 閉会 14:00～14:10 休憩 【第二部：マッチング面接会】 14:10～14:50 説明・企業PR（3分＊11社） 14:50～15:50 交流タイム（15分＊4回） ※1社につき5席まで。 ※企業は、選考オファーカードを渡す。 ※留学生は、企業訪問カードを各回1枚ずつ渡す。 15:50～16:00 企業：休憩 留学生：面接希望カードを2枚記入。 面接を希望しない留学生は、アンケートを記入して終了。 16:00～16:30 面接タイム（15分＊2回） 16:30 アンケート記入・終了	
選考オファーカード 企業名 面接タイムの際には、ぜひ、当社へお越しください。	面接希望カード ① 16:00～16:15 フリガナ 氏 名： 学校名： 希望企業名：
↑選考オファーカード（各社4枚ずつ）	↑面接希望カード（留学生一人2枚ずつ）

3. 参加学生在籍校一覧

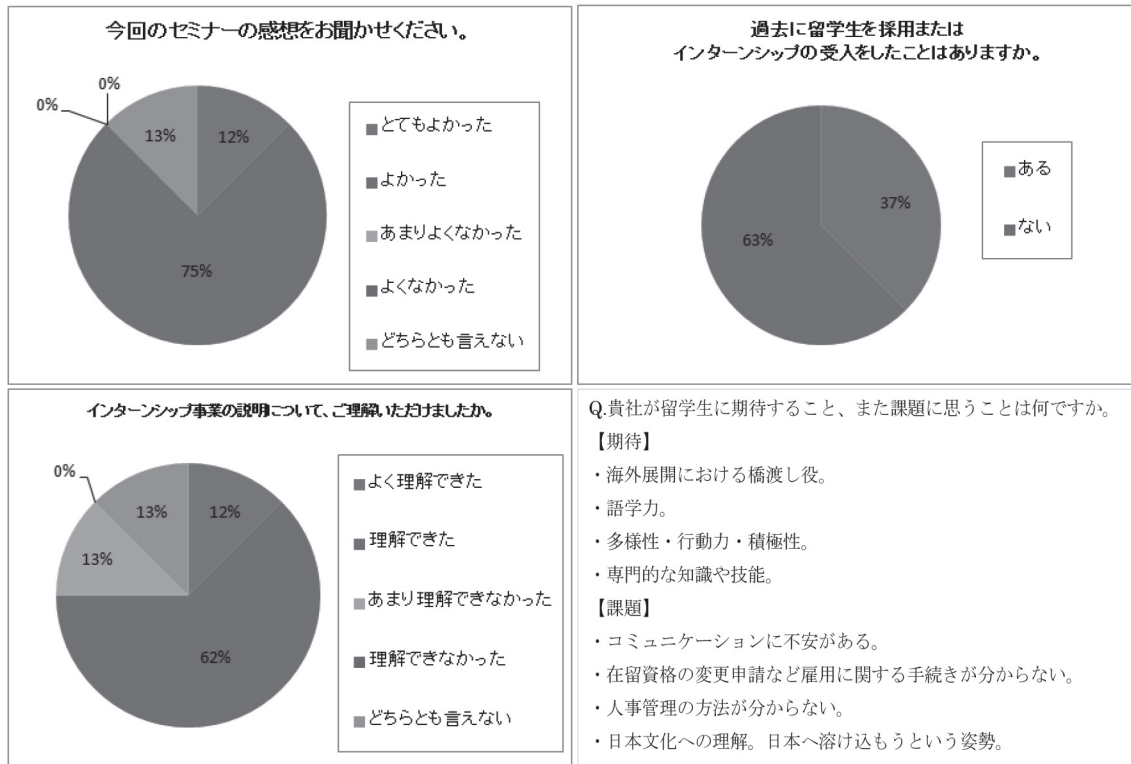
	学校名
1	関西外語専門学校
2	ECC国際外語専門学校
3	エール学園
4	奈良コンピューター専門学校
5	清風情報工科学院
6	専門学校ヒコみづのジュエリーカレッジ大阪
7	大阪文化国際学校

4. インターンシップ受入先企業一覧

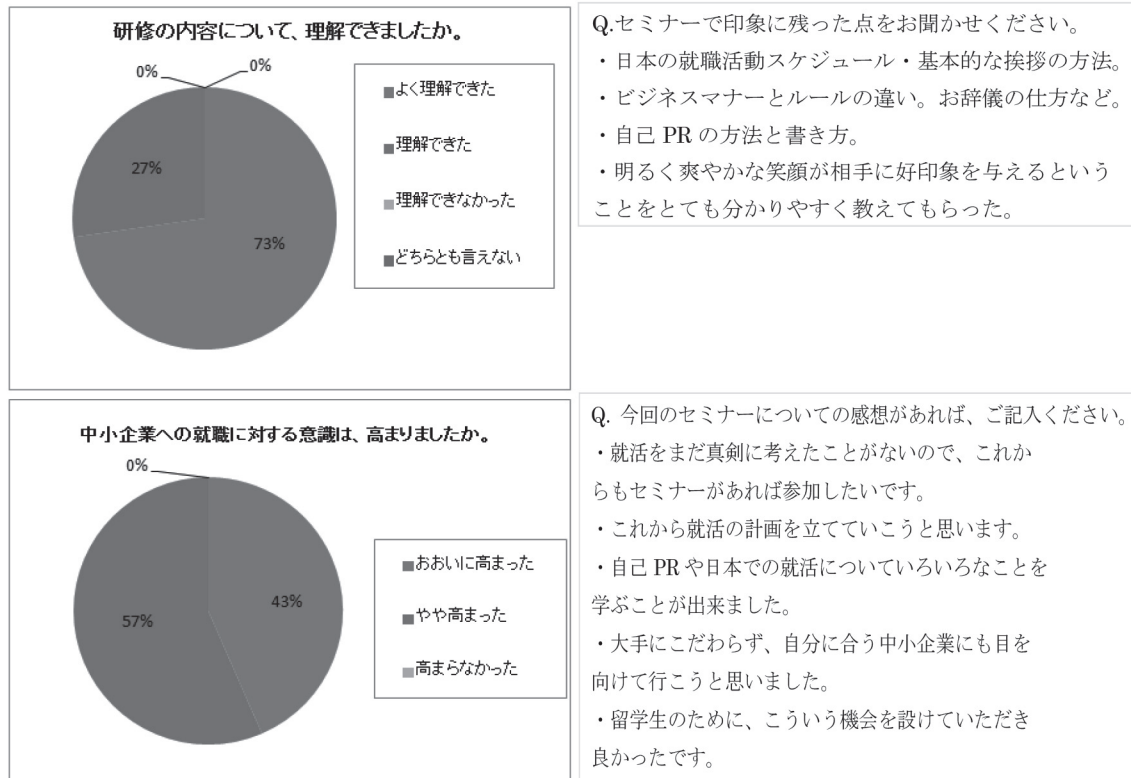
	企業名	業種	インターンシップ 受入結果
1	エパオン株式会社	機械部品専門商社	5人
2	株式会社コンサス	バルブ配管機材・製造業	2人
3	株式会社岡崎金型工作所	製造業（プレス金型の設計・製作）	2人
4	五大産業株式会社	鉄鋼業（鋼材の加工流通及び貿易）	1人
5	ケイ. イー. シー. 株式会社	教育サービス業	7人
6	富士テクノ工業株式会社	精密ポンプ製造業	1人
7	株式会社NICO	サービス（外国向け）業 （外国人観光客向けサービスの企画立案・運営、Pfotoサービス全般など）	8人
8	株式会社マーケットデザイン	サービス業（中小企業のコンサルティング）	4人
9	近畿工業株式会社	製造業（工業系・土木建設系）	0人
10	株式会社千隆	飲食（バーカウンター）	1人
11	有限会社さざなみ	介護職・医療	2人
12	株式会社seiwa	ITサービス	1人
13	株式会社ヘヴンス ヘヴンス・シザーズ	理美容業界・美容シザーズメーカー	1人
14	株式会社大谷悦造商店	家具卸売・輸入	2人
15	バリューマネジメント株式会社	コンサルティング	0人
16	株式会社アローズコーポレーション	広告・ブライダル	3人
17	株式会社リアルエステート大阪	不動産管理仲介	1人
計			41人

5. アンケート結果

【企業向け事前説明会について】

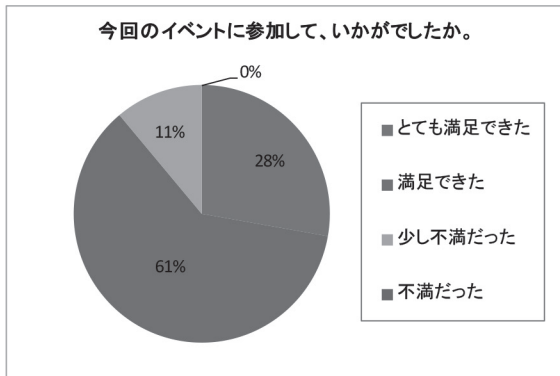


【留学生向け事前説明会＆事前研修について】



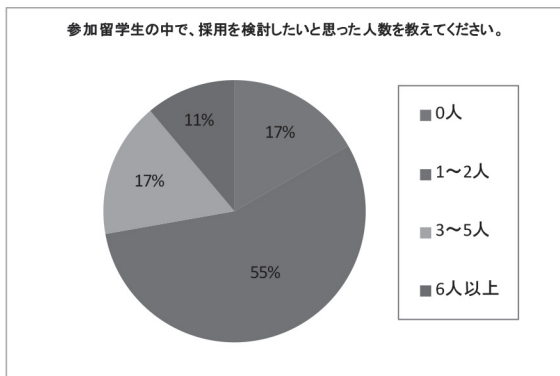
【インターンシップマッチング面談会について】

■参加企業のアンケートより■



Q. 今回のイベントに参加して、いかがでしたか。

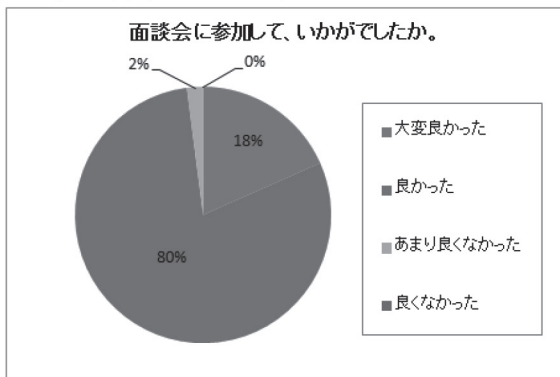
- ・満足しています。出来ればもう少し話が出来れば良かったです。
- ・礼儀正しい学生が多く、素晴らしかったです。
- ・今回の面談会において、インターンシップ＝採用としない点がよく理解できず、企業としても準備に時間がかかり過ぎるかなと思います。
- ・休憩時間をもう少し長くしてほしいです。
- ・1～4名の面談なので一人一人の個性まで理解できました。



Q. 貴社のテーブルに訪れた外国人留学生についてご感想をご記入ください

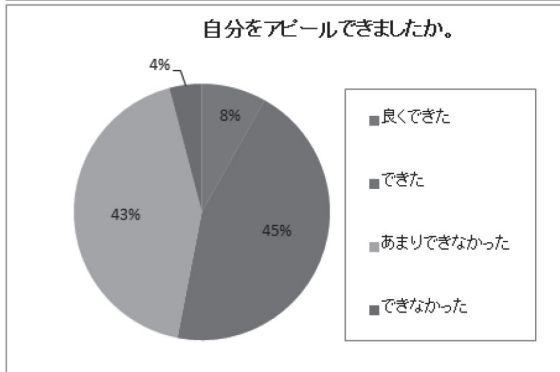
- ・4人までの対話だったので、話がよく出来ました。
- ・真面目な留学生が多かったと思います。
- ・ただ、日本の企業で働きたいという気持ちしかなく、本当に自分が将来就きたい職業というのが見えていない学生が多いと感じました。

■参加留学生のアンケートより■



Q. 面談会に参加して、いかがでしたか。

- ・順番に企業と話し合えたので満足しました。
- ・色々な企業と話ができ、自分が足りないところ、頑張っていく方向が見つけられました。
- ・日本の会社のイメージができました。
- ・様々な情報を知ることができました。



Q. 自分をアピールできましたか。

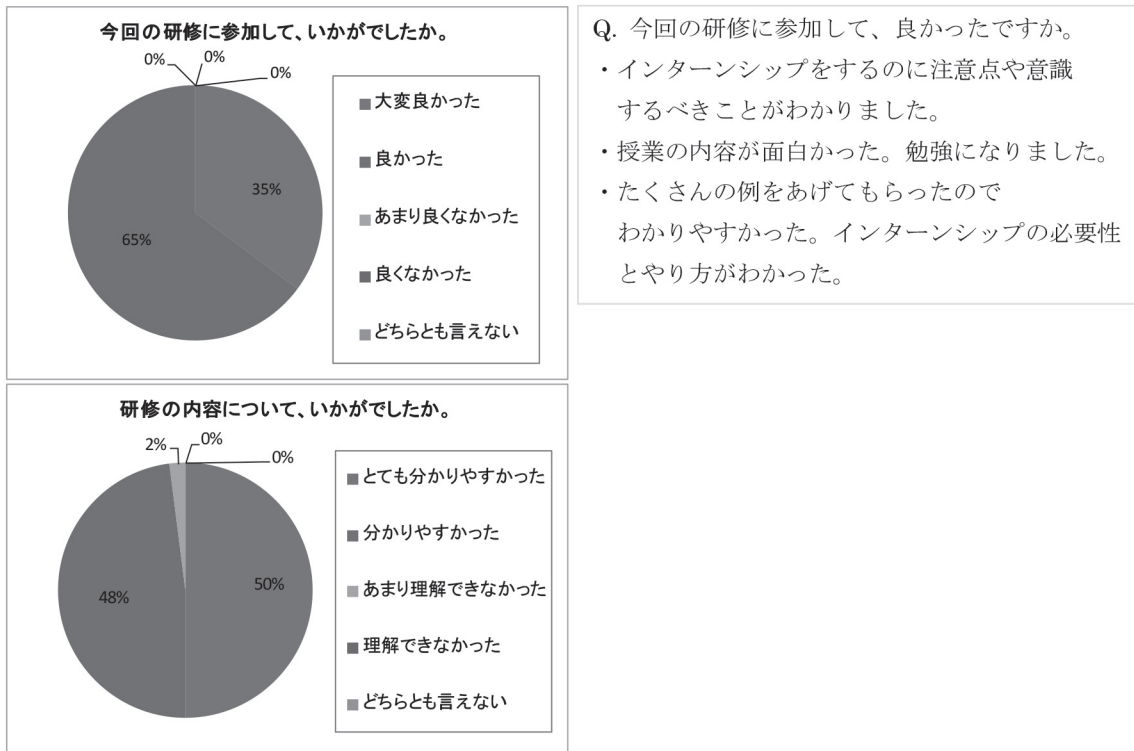
【できた点】

- ・落ち着いて言いたいことをうまく話せました。
- ・日本と日本語が好きという気持ちは伝わったと思います。マナーはまだ勉強不足だと思いました。
- ・ちゃんと自分をアピールし、自分のやりたいことをうまく伝えられました。

【できなかった点】

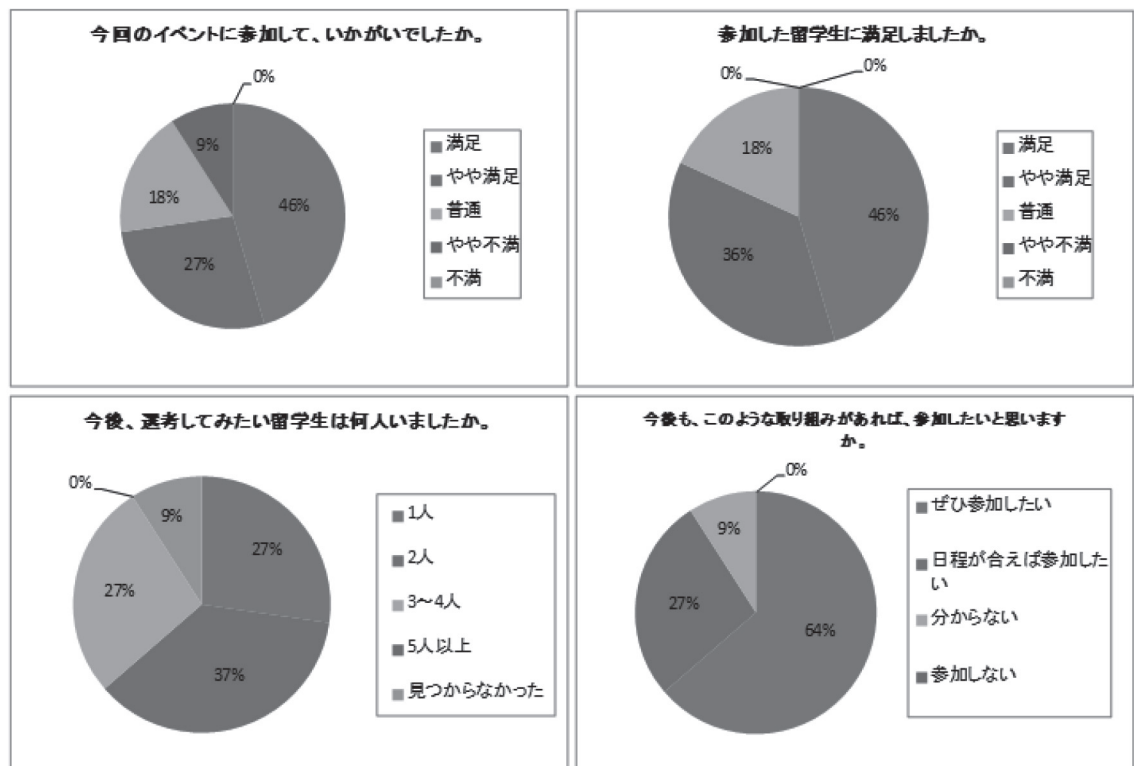
- ・自分の長所を直接担当者にお伝えできませんでした。粘り強さのアピールは簡単にできません。
- ・初めて日本の企業の方と話をしたので、緊張してアピールできませんでした。
- ・自分がどういう会社で働きたいのか、うまく伝えられなかった。

【留学生向けインターンシップ前研修について】

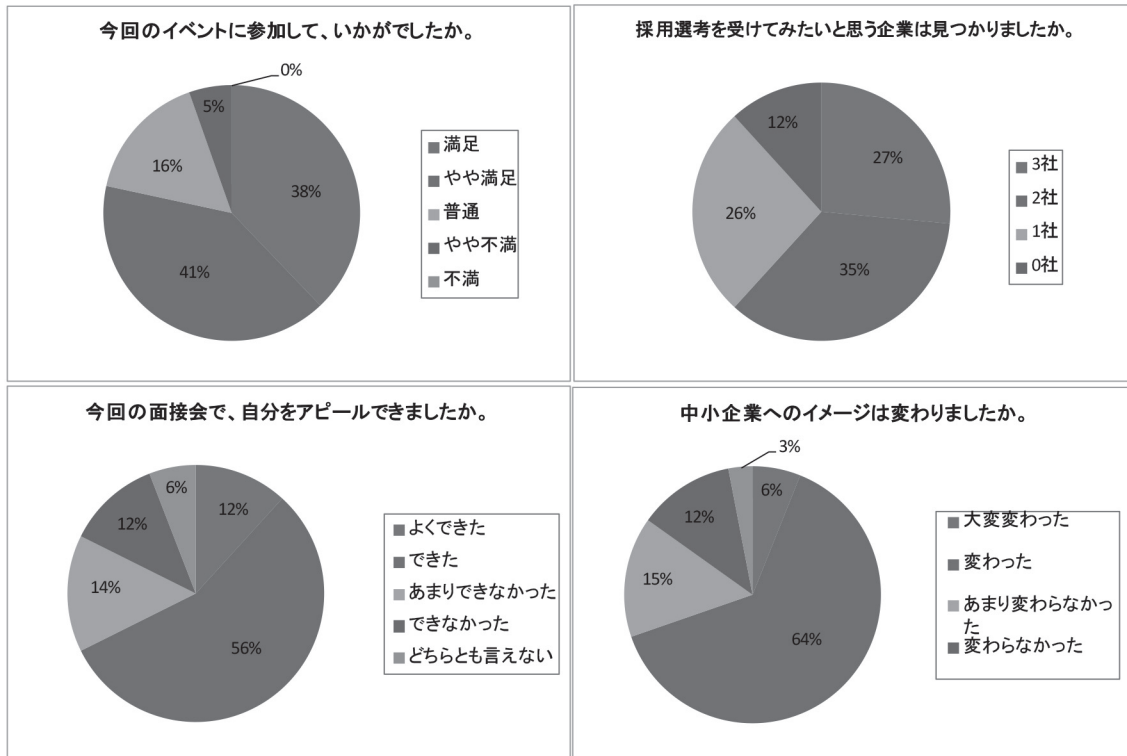


【事業成果発表会&ジョブマッチング面接会について】

■ 参加企業のアンケートより ■



■ 参加留学生のアンケートより ■

事業成果発表会&ジョブマッチング面接会【企業アンケートコメントより抜粋】

Q. 今回のイベントに参加して、いかがでしたか？

- ・良い経験となりました。さまざまな文化の方と話が出来て良かったです。
- ・インターンシップに参加した学生が、どんな思いで研修を受け、何を学んだのかを詳しく、身近な言葉で聞けたことが大変良かったと思います。
- ・面談者が多く、1人1人としてしっかり話すことが出来なかった。

事業成果発表会&ジョブマッチング面接会【留学生アンケートコメントより抜粋】

Q. 今回のイベントに参加していかがでしたか。

- ・面接を受けてみたいと思う会社を見つけたから。
- ・留学生を積極的に採用する企業と出会えるから。

Q. 今回の面接会に参加して、お気づきの点や要望等がございましたら、ご記入ください。

- ・もっとこんな面接会を行ってほしいです。
- ・このような貴重な場を設けていただき、ありがとうございました。
- ・一回目の交流会は少し短いと思いました。
- ・初めて、こういった場に参加させていただきました。経験として大変勉強になりました。

【インターンシップの様子】



←インターンシップ



←合同企業説明会体験

【事業成果発表会&ジョブマッチング面接会の様子】



事業成果発表会&ジョブマッチング面接会 上映

【納品 DVD】

「外国人留学生のための就活塾」の特別プログラムに参加して内定を獲得しよう。



【主催】一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）
 【共催】一般財団法人大阪労働協会、一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
 【協力】大阪商工会議所

平成25年度 文部科学省委託事業
専修学校留学生就職アシスト事業

外国人留学生のための
就活塾 開講

参加費 無料

—成果発表動画—

職場体験（インターンシップ）から企業とのマッチング交流会までをサポート！

就職するためのパッケージプログラム

Program 1	Program 2	Program 3	Program 4	Program 5
面接会に向けて	インターンシップ 面接会	インターンシップ 実施	合同企業説明会 体験	成果発表会& マッチング交流会
▶10月7日(月) または9日(木)	▶10月14日(月-祝)	▶11月1日(金)～	▶12月3日(火)～	▶12月20日(金)

就活塾 修了

- 留学生基礎力UP
- 企業で求められる人材像の把握
- ビジネス日本語の習得
- 実践的な経験や知識の習得

**日本企業の
内定獲得へ！**

対象 2014年3月、2015年3月卒業予定者（志望企業等での学生以外も参加可能。
ただし、一部参加できないプログラムがあります。）
近畿圏内の専修学校各種学校留学生（大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県）
※専修学校各種学校において日本語を学ぶ留学生を含む



7. 企業の意識変化について

海外進出を検討している企業の採用したい人物像がより明確になってきていることもあり、「〇〇語ができる留学生を受入りたい」「日本語検定 1 級を持っている留学生が希望」といった様々な企業のインターンシップ受入条件を提示される企業が昨年より増加傾向にある。また、外国人留学生の大半は中国籍の留学生であるが、出身国別では母数の少ないベトナム・インドネシア等の外国人留学生や東南アジア諸国連合に精通した人材の確保について、東南アジア諸国連合等への進出を考える企業からの問合せが増加しており、東南アジア諸国連合に精通した人材の確保について苦戦している企業が多い事が伺え、時代の変化に伴い急速にニーズが変化し日本の外国人留学生の現状と乖離傾向にあることが伺えインターンシップ受入にも少なからず影響しているのではないかと考える。

8. 事業実施についての成果

今年度の具体的な成果として、目標の 40 名に対し 41 名がインターンシップを実施し、目標を上回る結果となった。また、事業に参加した留学生のうち 1 名がインターンシップ受入企業に内定するという結果が得られた。

「就活塾」は①事業説明会、②インターンシップ面談会、③事前研修、④インターンシップ体験、⑤共同取組、⑥合同企業説明会体験、⑦事業成果発表会&ジョブマッチング面接会を 1 つのパッケージとし運営することで、留学生にスケールメリット感を持たせることやスケジュールが確定しているなど予定調整が行いやすい等の利点がある。また、以前、企業側からインターンシップ期間が短いという意見があり、今年度は⑤、⑥、⑦の事業を追加したことでインターンシップ以外でも留学生と接点を持てることがよかった、という評価を得ることができた。

事業に参加した留学生からは、今年度製作した『外国人留学生のための就活塾－成果発表動画－』にもあるように日本での就職活動に自信がついたという声が多かった。

本事業の「就活塾」を通じた体験が、外国人留学生の成功体験へと繋がり、漠然とした不安の解消や自分に自信を持つだけでなく、今後就活に挑むための心構えやモチベーションに繋がる基礎的部分の構築に貢献したと思われる。

9. 今後の課題

本年度事業の反省点として、下記の 4 点が挙げられる。

(1)実施期間が長期になり参加留学生がインターンシップ体験後に、就職先としてふさわしくないと感じた場合、モチベーションが続かず途中リタイアする留学生が一部出たこと。

(2)スケジュールが固定していることで、企業・留学生双方からの採用・応募を前提とした十分なヒアリング期間及びマッチング期間が確保できず一部マッチングが成立しないケースがでたこと。

(3)「インターンシップ面談会」で顔を合わせて相互理解した上で留学生に行きたいイン

ターンシップ先をヒアリングする形での自然的なマッチングになり、運営側でニーズを掌握しコーディネーターを介入させた紹介マッチングができなかったこと。

(4)一斉にスタートする「就活塾」では留学生募集の期間に限りがあり、参加留学生の在籍学校に偏りが見られたこと。

今年度は長期的な視点で取り込み、インターンシップを通じて留学生の成長を促し、企業との関係を構築をしてもらおうという意図があった。短絡的に「自分とは合わないから」とすぐに辞めないモチベーション維持に努め、理解してもらうよう試みたものの、外国人留学生を取り巻く環境が日本人学生に比べ厳しい状況であり、事業への理解は示すが、諸事情により「事前研修」のみ、「インターンシップ体験」のみ、参加するといった留学生も一部あった。このような留学生は、インターンシップから直接的に内定に繋がる企業を探しており、マッチングのハードルは高くなるが、やはりコーディネーターを介入させ双方をスクリーニングした上で紹介マッチングする、というメニューも必要であった、と考える。

以上のような反省点を踏まえ、今後の課題として短期的に就職活動結果の出るインターンシップと両軸で長期的な視点でのプログラムを実施し支援対象者をカテゴライズして、シンプルなマッチングを行うことが挙げられる。さらに 7.で取り上げた内容を踏まえ東南アジア諸国連合に精通した人材の確保と企業側の明確なインターンシップカリキュラムの構築も支援することが必要である。

(4) 研修会・セミナー等の情報提供・啓発活動

1. 専門学校留学生就職指導担当者研修会

● 研修会の目的

専門学校留学生の就職指導を担当する学校関係者と専門学校留学生を採用する企業関係者を対象とし、専門学校に関しては留学生の日本での就労の促進、企業採用担当者に関しては留学生の採用について積極的に取り組む機会を提供することを目的に開催。

● 研修内容

「専門学校における留学生の就職事例及び留学生採用企業における事例」、「外国人雇用の際の在留資格手続きについて」、「専門学校・企業における留学生就職促進に係るこれからの連携について」

● 参加者

専門学校関係者 115 名、企業関係者 10 名、合計 125 名

【専門学校留学生就職担当者研修会】タイムテーブル

開催日：平成26年2月12日（水）

会 場：スクワール麹町

東京都千代田区麹町6-6 TEL：03(3234)873

<http://www.square.or.jp/>

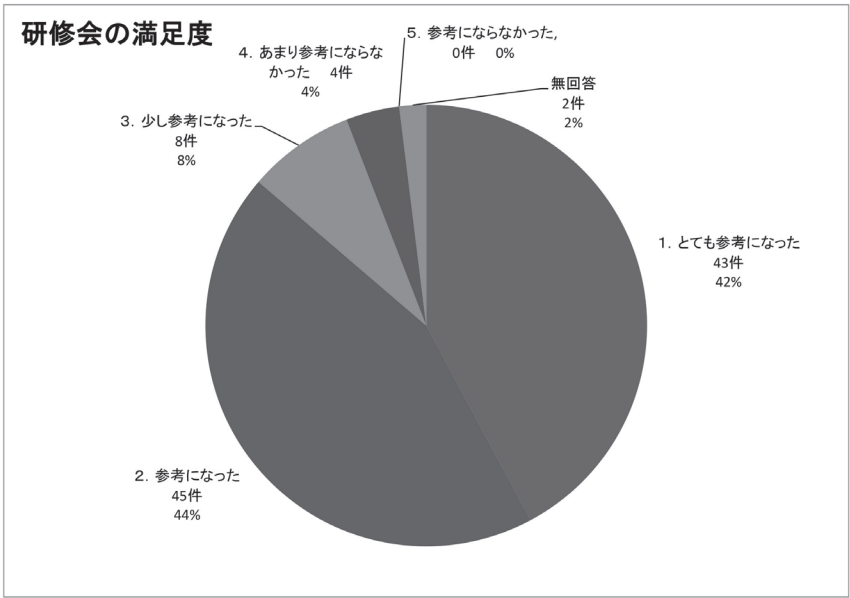
(JR 中央・総武線「四ツ谷」駅麹町口徒歩1分、地下鉄「四ツ谷」駅四ツ谷口徒歩3分)

時 間	内 容 ・ 講 師
12:30	(受 付)
13:00～13:05	開 会 開会あいさつ 武田 哲一 専修学校留学生就職アシスト事業 実施委員長
13:05～13:55	「専門学校における留学生の就職事例及び留学生採用企業にお ける事例について」 日本電子専門学校 就職部長 生山 浩
13:55～14:05	(休 憩)
14:05～14:55	「外国人雇用の際の在留資格手続きについて」 クワタオフィス・行政書士桑田優事務所 桑田 優
14:55～15:05	質疑応答
15:05～15:15	(休 憩)
15:15～17:00	パネルディスカッション 「専門学校・企業における留学生就職促進に係るこれからの連携に ついて」 専門学校・企業パネラー及びファシリテーターによるこれからの 連携の在り方事例紹介及び質疑応答 ファシリテーター 東京外語専門学校 武田 哲一 パネラー 日本外国語専門学校 平野 公美子 行政書士 桑田 優 (株)オリジネーター 工藤 尚美
17:00	閉 会

専門学校留学生就職担当者研修会

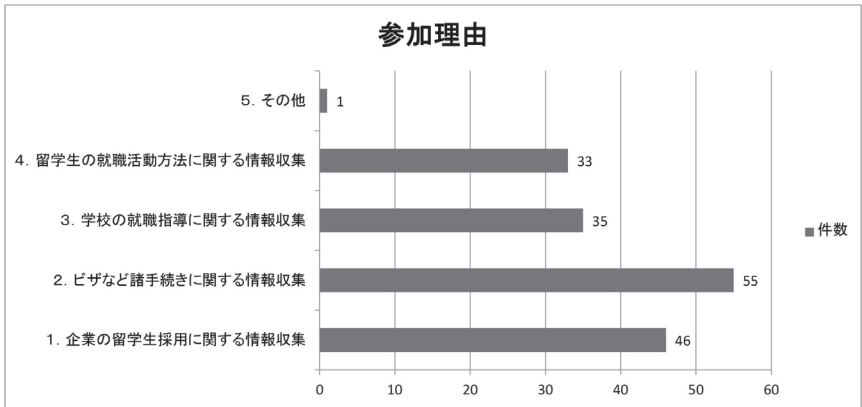
問1 研修会の満足度
【1. とても参考になった 2. 参考になった 3. 少し参考になった
4. あまり参考にならなかった 5. 参考にならなかった 】

評価	件数
1. とても参考になった	43
2. 参考になった	45
3. 少し参考になった	8
4. あまり参考にならなかった	4
5. 参考にならなかった	0
無回答	2



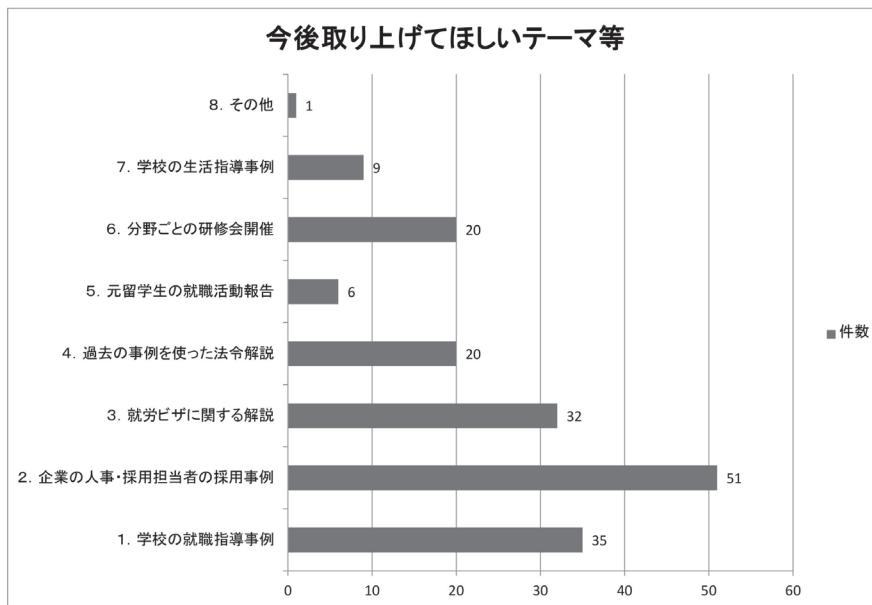
問2 研修会への参加理由(複数回答可)

理由	件数
1. 企業の留学生採用に関する情報収集	46
2. ビザなど諸手続きに関する情報収集	55
3. 学校の就職指導に関する情報収集	35
4. 留学生の就職活動方法に関する情報収集	33
5. その他	1



問3 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ等(複数回答可)

状況	件数
1. 学校の就職指導事例	35
2. 企業の人事・採用担当者の採用事例	51
3. 就労ビザに関する解説	32
4. 過去の事例を使った法令解説	20
5. 元留学生の就職活動報告	6
6. 分野ごとの研修会開催	20
7. 学校の生活指導事例	9
8. その他	1



問4 研修会の感想、近年の留学生採用について感じることをご記入ください

- 皆で問題を共有し新しい情報を得ることで留学生にとってもより良い状況が生まれるように協力しあえれば感じました
- 今後、留学生の出身国にも変化が出ることから就職の指導方法も変わらざるを得ないと思うので、その点の意見交換がしたい
- 日本語力の弱い学生を教育部門と連携し、いかに就職可能レベルまで引き上げていくかが課題であると思う
- 同じ業種の専門学校を集めてそれぞれの意見交換をしたかった
- 専門学校全体の存在意義につながる大きなテーマで社会的な責任を感じました。
- 全専各連として海外における専門学校の認識を高めること、業界団体と団結して特定活動の範囲を広げること。
- これらは非常に重要で難しいテーマだと思います
- 最新の留学生に対する指導事例、ビザに関する情報は非常にためになりました
- 本校では本年度初めてベトナムから留学生3名を受け入れました。中国・韓国と比べベトナム人は母語と日本語の文法・発音の差が大きくどのように日本語力をアップさせるのが課題である
- グローバル化と言われる時代ですが、まだまだ留学生の就労には厳しいものだと分かりました。
- 留学生を採用する企業は増加傾向にありますが、「試験的」であることが多く、採用された当人の今後の活躍如何という部分があります。継続して採用されるには、まだ実績が少ないため、新規開拓が必要だと思います



「専門学校留学生就職担当者研修会」 2014/02/12



学校法人電子学園
日本電子専門学校
就職部長 生山 浩

1



レジュメ

- 学校紹介
- 本校留学生就職実績の紹介
- 留学生就職指導の事例紹介
- 補足：外国人雇用者の状況
- 企業の声と雇用ニーズ
- まとめ

2



日本電子専門学校の紹介

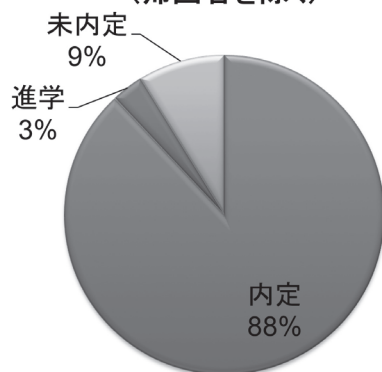
- 創立: 1951年
 - 工業分野一筋63年目
- 学校規模
 - 学生数: 約2500名
- 留学生状況
 - 留学生受入れ
 - 1977年から
 - 全体の約15%未満
 - 「日本留学AWARDS」
2年連続受賞
- 特徴: 先進的な教育
 - 細分化された学科構成
 - 昼間部: 9分野23学科
 - 専門性の追求
 - 産業界のニーズに対応
 - 教育理念
 - 職業教育とキャリア教育
- 就職の特徴(強み)
 - 就職部の活用
 - 本校求人企業への内定
– 87%

3

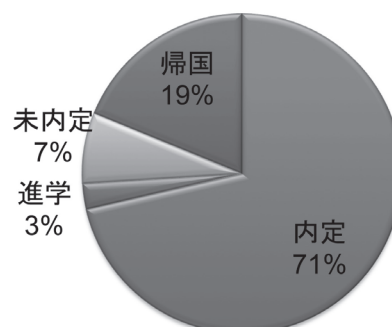


本校留学生就職実績(2013年3月卒)

2013年3月卒留学生データ
(帰国者を除く)



2013年3月卒留学生データ



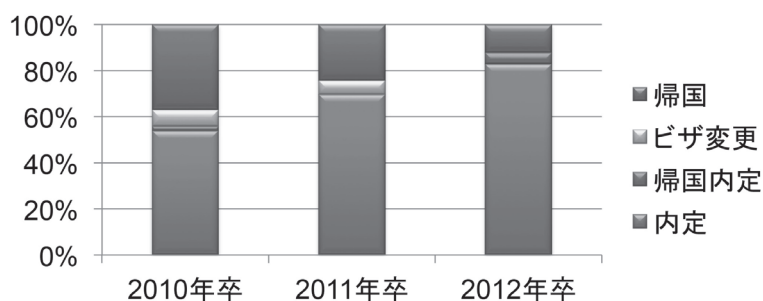
4



本校留学生未内定者卒業後進路

・ 留学生の未内定者の卒業後

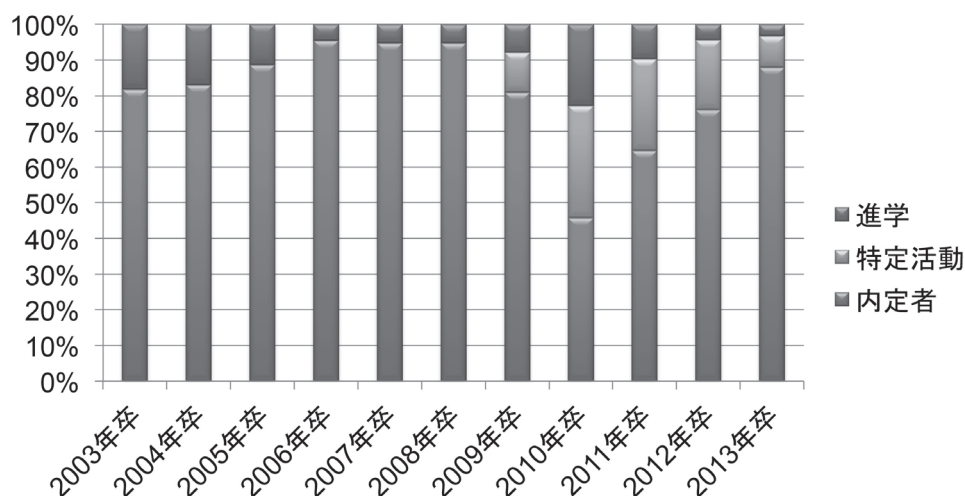
- － 日本国内での就職希望者
 - ・ 活動実績を審査⇒特定活動ビザの推薦
 - ・ 就職活動報告(毎週)と就職指導の継続
- － 特定活動ビザ申請者の進路



5

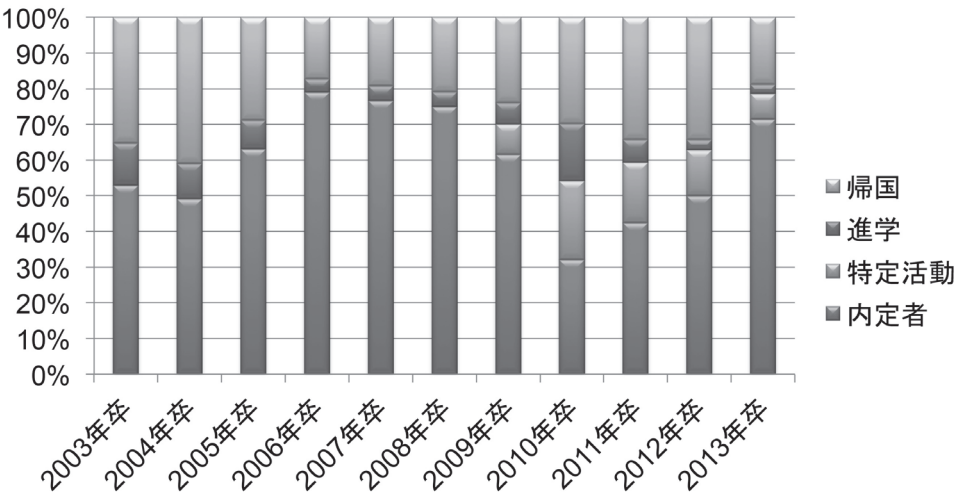


本校留学生就職状況推移(帰国除く)

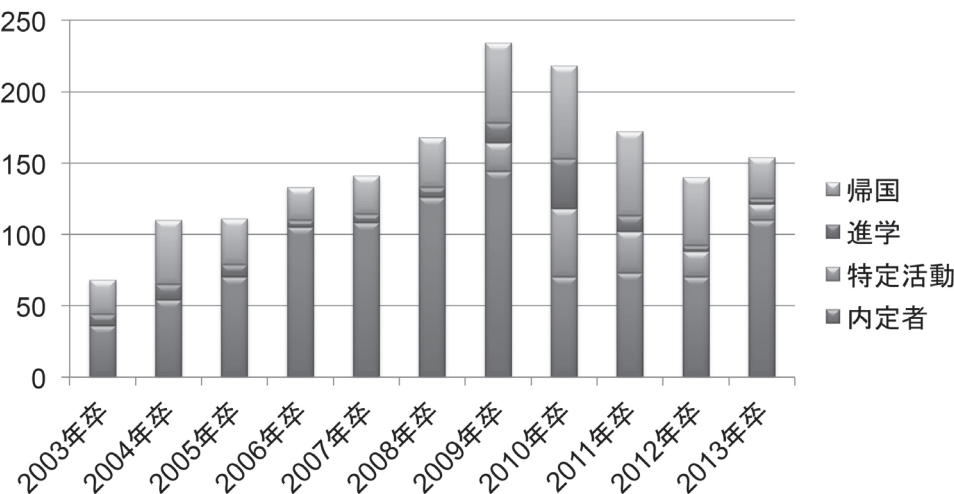


6

本校留学生就職状況推移



本校留学生就職状況推移





留学生就職指導の事例紹介

- 科目(全学生):「就職活動リテラシー」
 - 全クラスに科目「就職活動リテラシー」が設置
 - 求人の探し方、求人票の見方、電話やメールの仕方、履歴書の書き方、作文対策、模擬面接など
- 留学生対象:「留学生対象就職ガイダンス」
 - 第1回:卒業年次6月
 - 第2回:卒業年次10月
 - 第3回:卒業年次2月

9



留学生対象就職ガイダンス

- 第1回:意識調査と全体説明
 - 卒業後の進路意識の確認
 - 留学生向け求人の探し方を紹介
 - 留学生の就職活動方法のアドバイス
- 第2回:ビザの確認
 - 就労ビザへの切り替え方法の説明
- 第3回:未内定者の今後の確認
 - 特定活動ビザへの切り替え

10



その他の留学生向けサービス

- 学生トータルサポート
 - 全学生を対象に生活サポート・学習サポート
 - 留学生向けサポート担当者配置
- 留学生向け学習サポート
 - 日本語特別講座
 - 日本語会話力の低い留学生を対象にした講座
 - 日本語検定対策講座
 - N1に向けた対策講座

11



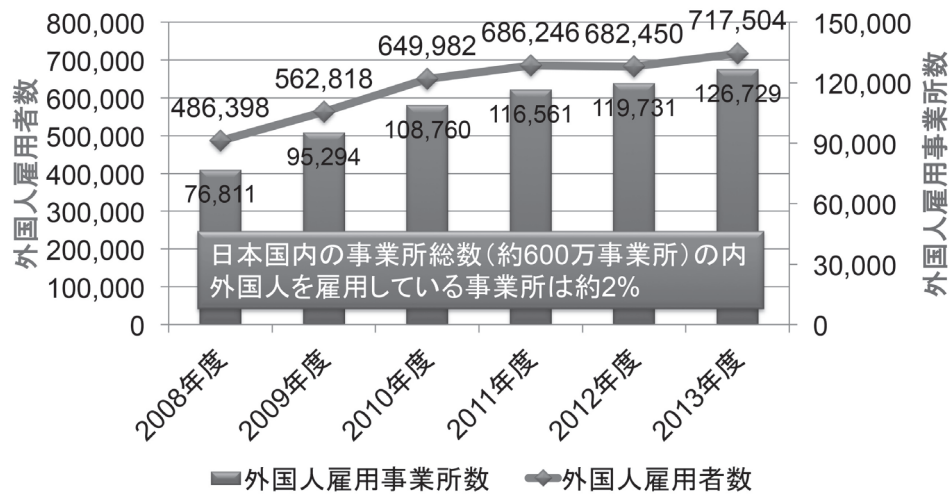
就職部での留学生サポート

- 就職部: 10名 (内キャリア関係有資格者6名)
- 在校生と卒業生を対象にした職業紹介斡旋
 - 基本姿勢: 日本人と外国人留学生の区別はない
 - 日本人の就職指導も簡単ではない
- 留学生就職指導担当者の配置: 3名
 - ビザ等について詳しい者を留学生窓口に行っている
 - 留学生ガイダンスを担当
 - 留学生向けの履歴書添削指導を実施

専門学校留学生就職担当者研修会



補足：外国人労働者の状況



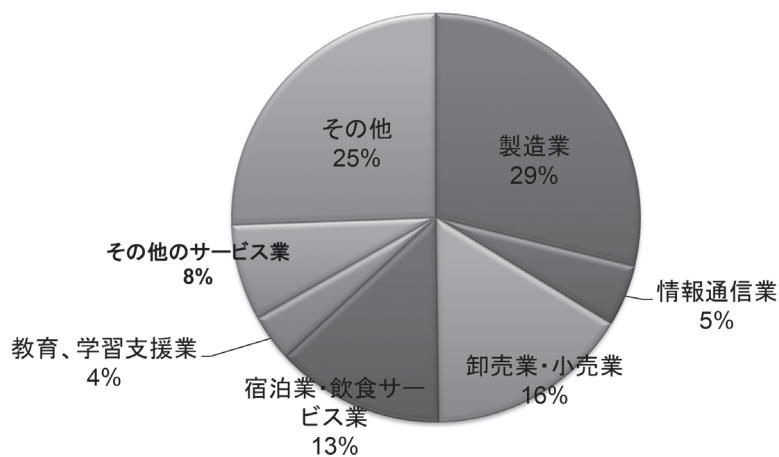
出所：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」

13

専門学校留学生就職担当者研修会



外国人雇用事業所の産業別特性

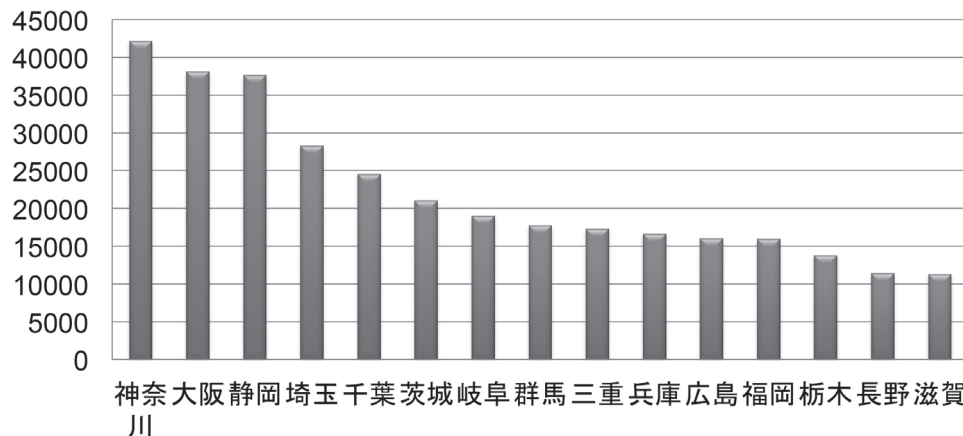


出所：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」

14

地域別外国人労働者数

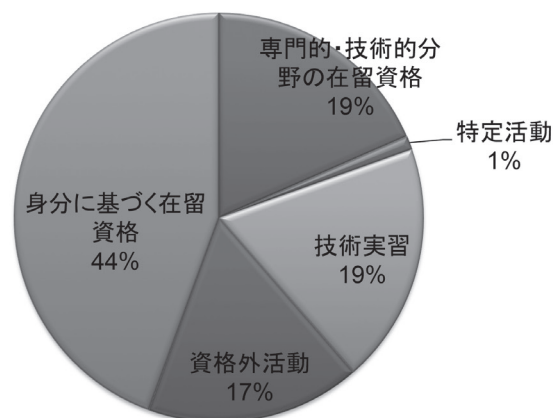
地域別外国人労働者数(東京と愛知を除く)



出所: 厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」

15

在留資格別外国人労働者の割合



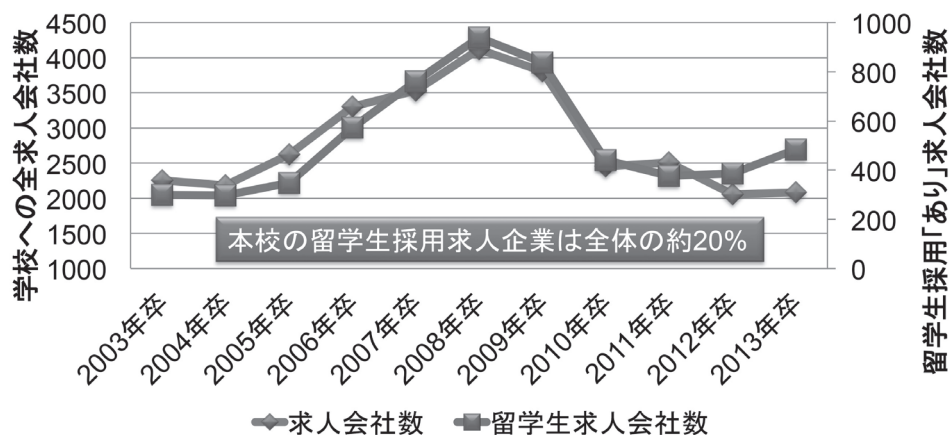
出所: 厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」

16



本校の留学生求人状況

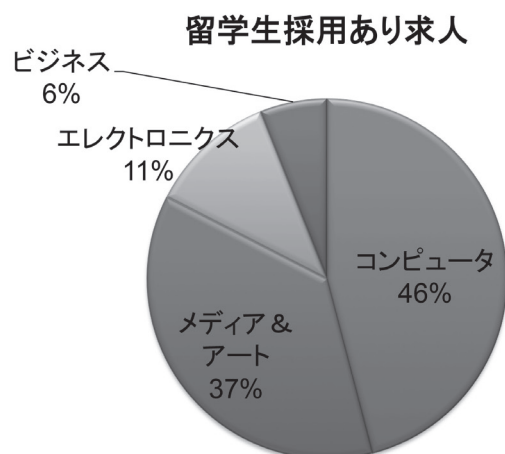
本校求人会社数に占める留学生採用「あり」求人



17



本校留学生求人分野別状況



18



まとめ(本校の留学生就職指導)

- 日本人と外国人留学生の区別はしていない
 - 日本人でも留学生でも個別指導が必要な学生
- 留学生採用企業の把握
 - 求人票からの「留学生採用あり」求人を把握
 - 本校の就職の特徴: 本校求人企業への高内定率
 - 留学生採用実績のある企業を特定できる
- 「専門性」が企業ニーズ
 - 留学生の方が専門性が高い場合が多い
 - 「日本電子さんからは留学生だけが欲しい」

19



今後の取組み

- 入学学科のコントロール
 - 本校の入学検討者には
 - 東南アジアからの入学検討者が増えている
 - エレクトロニクス分野希望者が多い
 - 本校への「エレクトロニクス」分野の求人は約10%
 - 希望分野の変更を促す

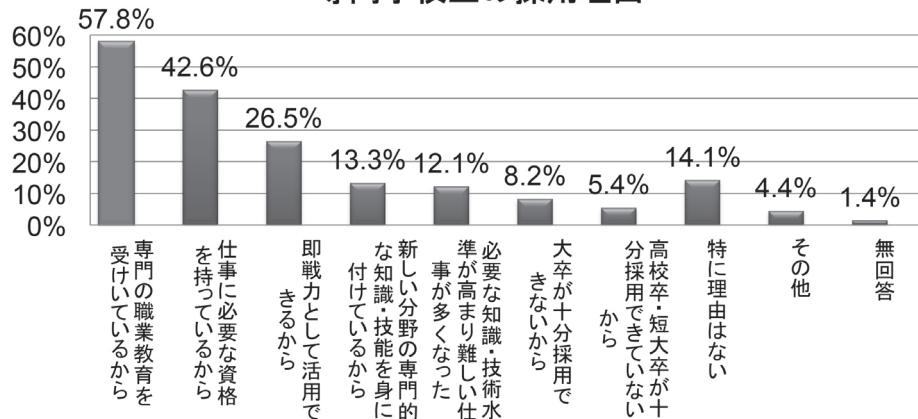
20

専門学校留学生就職担当者研修会



雇用ニーズ(専門学校)

専門学校教育の評価に関する現状調査 専門学校生の採用理由



平成19年度 文部科学省調査

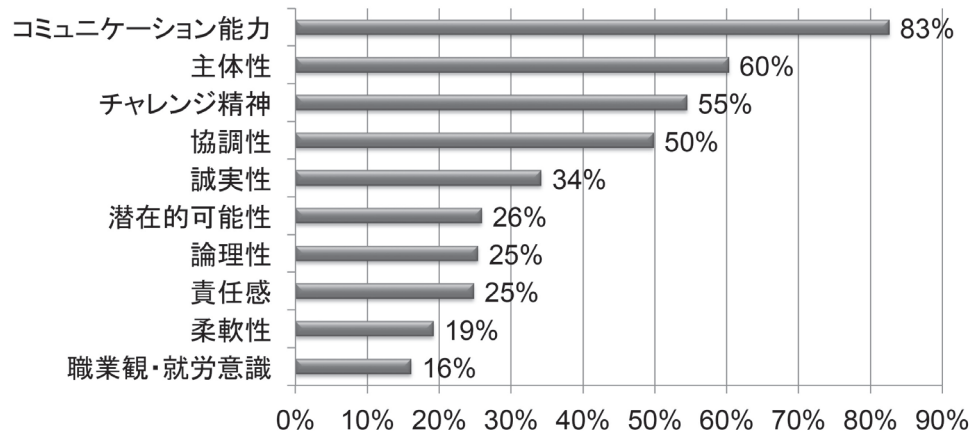
21

専門学校留学生就職担当者研修会



雇用ニーズ(全体)

新卒採用にあたって重視した点



平成24年 日本経済団体連合会

22

留学生就職指導の指南

- 市場理解
 - 自校の分野における外国人労働者の状況理解
- 自校の就職実績
 - 就職の強みの確認(特徴的な実績の確認)
 - 強み(特徴的な実績)の強化
- 「強み」を生かした就職指導へ

23

留学生採用に対する企業の声

- ネガティブな声
 - 1位:コミュニケーション:日本語能力の懸念
 - 2位:すぐに帰国:計測が必要
 - 3位:書類や手続き:外国人未採用企業は知らない
 - 番外:お客様先が...
- ポジティブな声
 - 「日本電子さんからは留学生だけが欲しい」
 - 能力も姿勢も評価
 - ※日本語やコミュニケーションへの評価はない

24



企業への取組み

- 企業への外国人採用の啓蒙
 - 日本人の18才人口の減少の説明
 - 手続きなどの説明

25



ご清聴ありがとうございました。

2014年2月12日(水)
日本電子専門学校
就職部長 生山 浩

26

外国人雇用の際の在留資格手続きについて



2014年2月12日 行政書士 桑田 優

テーマ①：リスクマネジメントとしての 就労ビザ

問題点

「外国人を採用するときには、就労ビザが必要」
「内定が決まっても、就労ビザが許可されとは限らない」

問題の解決に向けて

入管(入管法)の考え方と、ビザ申請手続きについて知る

望ましい結果(目標)

- 不許可のリスクを減らすこと。
- 外国人留学生の採用を促進すること。

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

就労ビザに関する「国の方針」＝入管の考え方 1

○日本に滞在する外国人は(滞在中の)活動に見合ったビザの許可を受けなければならない。

具体例: ①観光(短期滞在)ビザでは働くことができない。
②留学生が大学や専門学校卒業後、留学ビザの期間が残っていても、**留学ビザのままでは(たとえアルバイトが可能で「資格外活動許可」を持っていたとしても)社員として勤務させることはできない。**

→就労に関するビザには、どのようなものがあるか(次頁)

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

日本で就労するためのビザ

ビザの種類	業務(国内での活動)	対象とする外国人
人文知識・国際業務	通訳、デザイン、国際取引、人事、経理、マーケティング等、人文系の専門業務	留学生も対象
技術	機械、IT技術、設計等自然科学系の専門業務	留学生も対象
研究	企業での研究職	留学生も対象→修士または「学士・高度専門士プラス研究経験3年」
技能	調理師、宝石加工、外国製品の製造・修理等	外国から直接人材を招く
技能実習	製造業・農林水産業等の技術習得のための活動	業界団体(組合)が直接招く

就労ビザに関する「国の方針」＝入管の考え方2

○単純労働者は受け入れない。

→言い換えると、専門業務を行う外国人人材に、就労ビザを許可する。

＊それでは、就労ビザに関し、入管では「許可する場合」と「許可しない場合」を、どのように区別するか

「本人の条件」及び「会社の条件」を、それぞれ満たすことが必要。

在留資格「人文知識・国際業務」における「本人の条件」＝どれか1つ

- 専門学校を卒業し専門士である者が、専門的に勉強した事に関連した専門業務を行うこと
- 通訳翻訳・語学指導業務の場合、日本か本国で大学を卒業し、学位があること
- 人文・社会科学分野の専門業務の場合、日本か本国で関連分野を専攻して大学を卒業し、学位があること
- 本国で、専門業務10年以上の経験
- 貿易実務・通訳・デザインなど、「外国人ならではの」業務の場合、専門業務3年以上の経験

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

在留資格「技術」における 「本人の条件」＝どれか1つ

- 専門学校を卒業し「専門士」である者が、専門的に勉強した事に関連した専門業務を行うこと
- 日本か本国の大学で、関連の専門分野(技術系)を専攻して卒業し、学位があること
- 本国で、専門業務10年以上の経験
- IT関連業務につき、日本または指定された国の指定された国家試験に合格していること

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

留学生採用時に関する留意点＝ 「会社の条件」をすべて満たすこと

- 専門的な業務に従事させること
- 安定した雇用であること
 - (1) 継続的な雇用契約を締結すること
- 「採用後に配属を決定」の場合：入管での審査時に「どのような専門業務を行うか、そもそも専門業務を行うかどうか」が不明。(なお、採用後の社内研修については別に解説します。)
- 「試用期間」(期間満了後に採否を決定)の場合：安定・継続性が無いとみなされる可能性がある。
- (2) 事業所が確保されていること
- (3) 日本人社員と同等の給与を払うこと

就労ビザに関するQ & A

Q: 留学生が専門学校を卒業後、7月に正式採用する前に、研修を受けさせたい。「研修」というビザはあるか。

Q: 当社では採用内定を出した学生には、学校の卒業前から4月の採用までに、インターンシップを受けさせることになっている。インターンシップ用の特別なビザはあるのか。

Q: 日本人社員と同様、給与は「完全歩合制」で採用することは可能か。

就職活動のための「特定活動」ビザ

○日本で専門学校・大学を卒業した留学生が、引き続き日本国内で就職活動を行う場合、就職活動のためのビザとして「特定活動」ビザが許可されうる。

* 最初に許可される在留期間は6か月、1回更新可能。

* 卒業証書または卒業証明書(専門士であることを証明する書類)

* 成績証明書(専門学校生の場合)

* 学校が発行する、就職活動を行うことの推薦状

* 就職活動に関する書類

* 滞在費用に関する書類

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

入管法改正：在留カード制度と住民登録制度

◎「3か月より長い期間のビザ」を許可されて日本に長期滞在する外国人には、在留カードが交付される。

＊すでに留学ビザ・就労ビザ等で長期滞在している者（中长期在留者）の場合、在留期間更新・在留資格変更の許可のたびごとに在留カードが交付される。

＊現在持っている「外国人登録証」は、ビザの期限（または最長で平成27年7月8日）まで「在留カード」とみなされるので急いで交換する必要はない。

◎外国人登録制度は廃止され、外国人住民も住民登録制度の対象となった。（住民票が発行される）

＊転居の場合は、現住所の市役所に転出届、移転先の市役所に転入届と、両方出す必要がある。

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

法改正によるメリットと規制強化

メリット＝「みなし再入国許可」

- 就労ビザを持っている外国人が一時帰国・海外出張をするときは、**就労ビザの残りの期間内で、かつ1年以内であれば、入管での事前の再入国許可申請が不要となった。**
- （平成24年7月9日以降ビザの更新をしていない場合の）外国人登録証のままでも、同様の取り扱い。

規制の強化＝退職時の（本人による）届出義務

→就労ビザの場合に勤務先を退職したり、契約の終了があった場合は、**14日以内に「所属機関の変更」を入国管理局あて届け出る必要がある。**

テーマ② 雇用に関する留意点：企業側の対応（１）

○「在留カード」（または外国人登録証）で、現在のビザの種類及びビザの期限を確認する。（→表と裏を確認）

＊平成24年7月9日改正入管法施行後は、ビザの更新・変更を受けても、パスポートにビザのシールを貼らない取り扱いなので、在留カードで確認。

＊専門学校や日本語学校の卒業生でも、本国で大学を卒業していれば「本人の条件」を満たす場合がある。

＊日本の専門学校卒業生で、専門士称号を持っている元留学生は、いったん帰国後でも就労ビザの許可を取得しうる。

○留学生の在学状況を確認する。

企業側の対応（２）申請手続き

1, 申請の種類に応じた、申請書の用紙を準備。

＊留学生の場合、日本にいたまま入管に申請することになるので「在留資格変更申請」用の申請用紙を使う。

2, 申請書に会社（原則として代表取締役）の記名押印が必要。

3, 「いつ申請するか」の問題

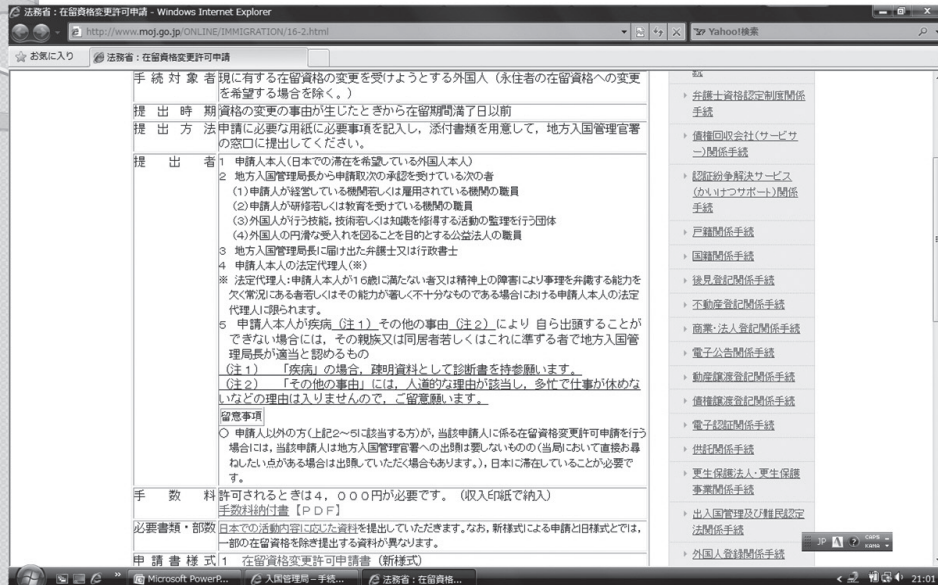
＊採用内定が決まっていれば、変更申請することは可能。

＊留学ビザの期限が4月以降まで残っていても、入社時点で就労ビザの許可をもらうことが必要。

＊許可までの期間＝「1か月」または「2か月」

外国人雇用の際の在留資格手続きについて

「在留資格変更許可申請」のページ（URL後掲）



外国人雇用の際の在留資格手続きについて

企業側の対応（3）許可後の取り扱い

○職業安定所に「外国人雇用状況の届出」をする。

雇用保険の「被保険者資格の取得届」の用紙の備考欄に「国籍・在留資格・在留期限」を記載すれば足りる。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/index.html>

○外国人労働者の雇用労務責任者の選任

→常時10人以上雇用する場合、人事課長等を雇用労務責任者として選任。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/01.html>

参考サイト

○入国管理局(法令・管轄など)

<http://www.immi-moj.go.jp/index2.html>

○申請書等のダウンロード: 在留資格変更申請の場合

<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2.html>

○新しい在留管理制度(在留カードの説明)

http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/index.html

○厚労省「外国人雇用状況の届出」: このページの「届出の方法について」→届出事項の様式について」をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/>

○IT技術者に関する、資格試験一覧

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyukan_hourei_h09.html

○労働政策研究・研修機構「企業における高度外国人材の受入れと活用に関する調査」

<http://www.jil.go.jp/institute/research/2013/110.htm>

ご清聴ありがとうございました。



行政書士 桑田 優(くわたまさる) kuwataoffice@nifty.com

1964年生まれ、1999年クワタオフィス(行政書士桑田優事務所)開設

主要著作「Q&A外国人をめぐる法律相談」(新日本法規出版、共著)

所属学会等 JAFSA国際教育交流協議会・日本成年後見法学会

TEL 03-3344-0177 <http://jklive.tea-nifty.com/>

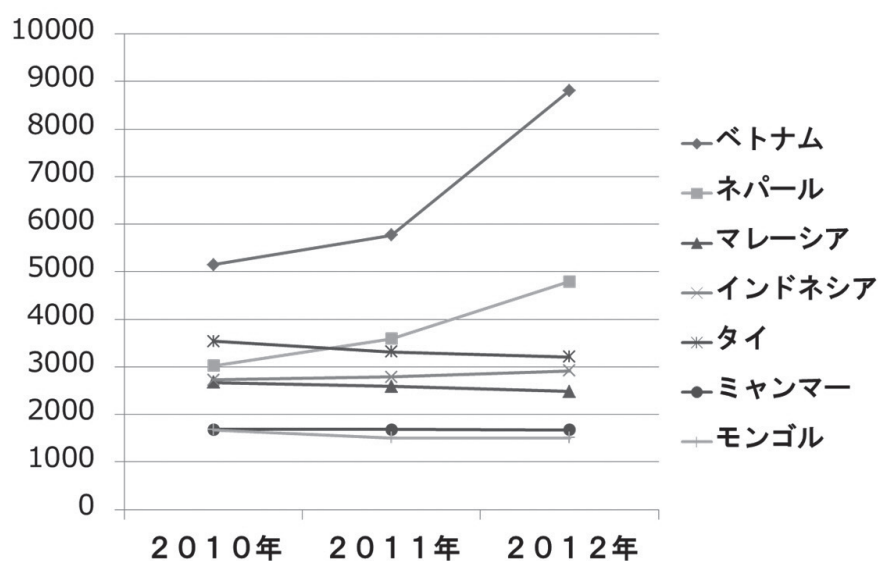
留学生をめぐる話題： 出身国別留学生数（全国／2012年5月）

○受け入れ留学生の傾向～専門学校と大学

○中国の「次」としての、東南アジア・モンゴル

国名・地域名	「留学」在籍数	国名・地域名	「留学」在籍数
中国	86,324	インドネシア	2,276
韓国	16,651	タイ	2,167
台湾	4,617	アメリカ	2,133
ベトナム	4,373	ミャンマー	1,151
ネパール	2,451	モンゴル	1,114
マレーシア	2,319	インド	541

アジア各国からの留学生数の傾向



在留資格に関する相談数 (アジア人材就職転職説明会 2013.3)

- 「行政書士桑田優事務所」のブースのみで全18件
- 国籍:

中国11 台湾3 ベトナム1 ネパール2 モンゴル1

- 在留資格 留学:日本語学校1 留学:専門学校9
留学:大学4 留学:大学院2 就労2

主な内容:留学ビザ～就職活動の特定活動、本国
で大卒の場合の就労ビザの可能性、家族滞在
就労ビザ～転職、永住

「世界の成長を取り込むための外国人 留学生の受入れ戦略」報告書 (25.12.18)

- 東南アジア 「ASEANは我が国との人的交流が最も活発な地域であるとともに、将来的にも、日系企業の進出も盛んになる地域であることから、各国の状況を考慮しつつ、教育の質を確保するしくみを構築し、量的な拡大を図る。」
- 東アジア 「東アジアの中でも、我が国との関係が強く親日国であり、資源確保の観点からも関係を強化することが重要なモンゴルを中心として、留学生の受入れを促進する。」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1342726.htm

専門学校留学生就職担当者研修会

専門学校における就職促進事例等

平成26年 2月12日

日本外国語専門学校

理事・事務局長 平野 公美子

●外国人留学生を採用する企業側の一般的なニーズ

- ① 海外との橋渡し役となり得る異文化コミュニケーション能力を持った人
- ② 新しいことにチャレンジする意欲と精神力を持った人
- ③ リーダーシップを発揮できる人

大半の企業は、新卒採用において、特に“留学生枠”は設けていないが「異文化の中で学ぼう」というチャレンジ精神とバイタリティを持って母国を飛び出した留学生には、たいへん興味を持っている。企業としては、今後さらに経済のグローバル化が進む中で、中核的存在として活躍が期待できる“人材”を欲している。

●外国人留学生を採用する企業のパターン

- ① 日本人・外国人の区別なく、「優秀な人材」を採用する企業
- ② 海外展開を見据え、進出国の母語ができる人材を採用する企業
- ③ 日本人の応募者が少ないゆえに、結果的に外国人採用が多くなっている企業

国籍を問わず、人材募集をしている企業の大半はケース①。
近年、グローバル展開を積極的に推進している新鋭企業はケース②。
ケース③の企業は、業務内容がきびしく、日本人の採用が思うように進まない一方で、日本で就職先を見つけて、日本に滞在し続けたいという外国人を採用している企業群。

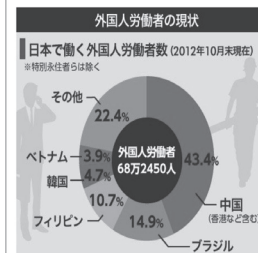
●外資系ホテルからのヒアリング内容（一部抜粋）

- ① 外国人のお客様が過半数のため、会話のできる留学生を新卒で採用していた
- ② 就労ビザの取得に関しては、入管協会（法務省所管の公益法人）にチェックと申請を依頼
- ③ 情勢により、審査基準にバラつきがある→ビザの更新がスムーズに認められないケースを散見
→幹部クラスの更新も従来の3年から1年に短縮
→他の外資系ホテルも同様の状況ではないか
- ④ 定着率の問題→採用しても2～3年で退職するケースも多い

上記のことから、積極的な採用に至っていないのが現状のようである。

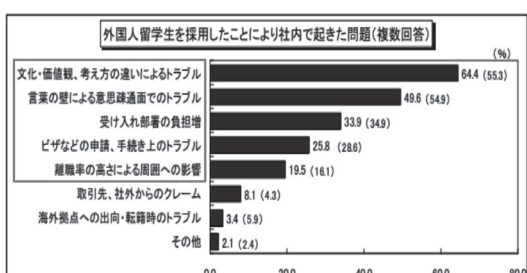
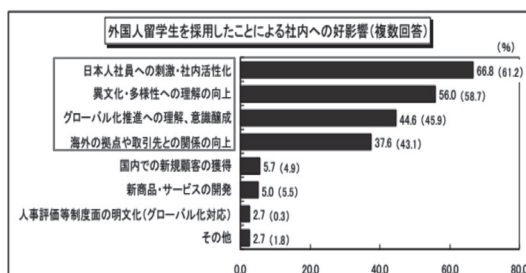
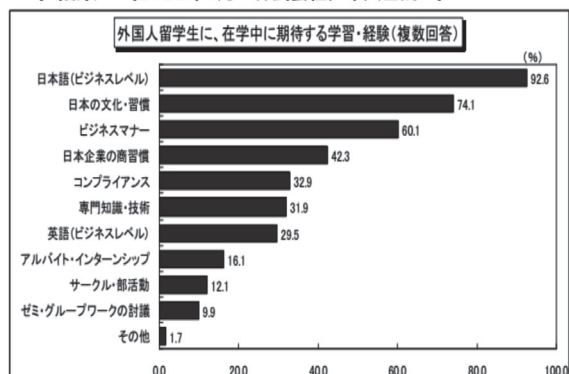
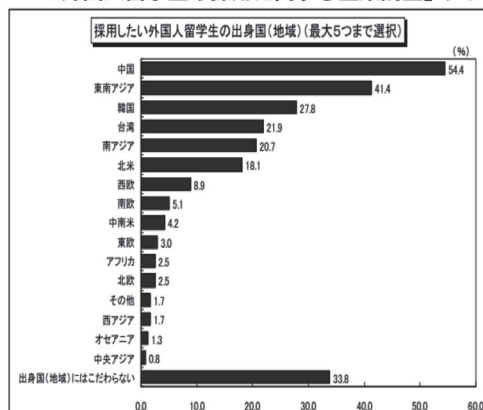
●外国人労働者の現状と留学生採用に関する今後の展望

- 外国人の採用に積極的な代表的な企業・・・パナソニックやユニクロ、楽天、ローソンなど。
- 日本で働く外国人労働者の数は、特別永住者を除き、71万7504人（2013年10月末現在）
- 外国人留学生在が日本企業に就職した数は、2012年は1万969人と前年より2383人増加（入国管理局資料）。リーマンショックで一時的に落ち込んだものの、ここ10年では増加傾向。
- 国籍別では、中国出身者が最も多く約7000人。次に多い韓国の約1400人よりも圧倒的に多い。
- 今後、さまざまな職種で外国人採用が増えていくと見込まれるものの、留学生の就職希望と実態では乖離がある。日本学生支援機構の調査によると、50%超の留学生在が日本企業への就職を希望しているが、実際に就職できているのは留学生全体の1割未満。外国人留学生在は基本的に日本人と同じ採用試験を受けており日本語の壁もある。
ちなみに現在、大学や高専など日本の高等教育機関に在籍中の留学生数は約13万8000人。
- 一般的に、外国人留学生在は、語学スキルとバイタリティーに富む傾向があり、母国と日本という2つの文化に触れていて、多様性のあるバックグラウンドを持っている。国によって、人間性や土地柄、文化、ビジネスマナーは違うので、こうした多様性を経営に生かすことができれば、アドバンテージは大きい。
- 今後さらに少子高齢化が進み、労働力人口が減っていく中、外国人労働者への依存度は高まり、戦力として欠かせない存在となっていくのは間違いない。
外国人を採用した企業側も「文化の違い」を受け入れないで「日本流」だけを押し付けたり、うまくいかないこともあるだろう。ただ、グローバル展開を考える企業ならば外国人採用は必要であるし、人手確保に悩んでいる企業なども検討する価値があるといえる。企業それぞれの事情に応じて必要性を判断すべきではあるが、経済・社会のグローバル化が進む中、多くの企業で積極的に考えていくことが求められている。



2

●「外国人留学生の採用に関する企業調査」アンケート結果（2011年8月 株式会社ディスコ調べ）



3

留学生の応募条件

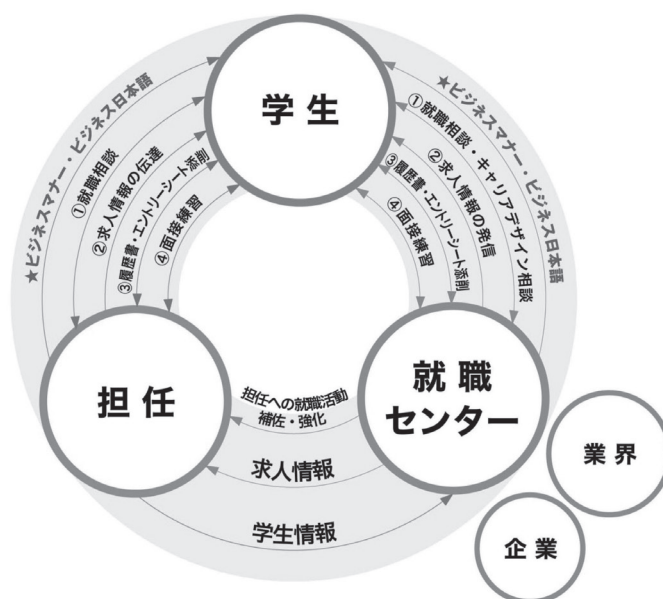
- 12年の学校教育課程を修了した者
- 日本語能力試験N1程度の日本語能力がある者
日本語能力試験N1合格者、または日本留学試験260点以上の者は、
日本語試験を免除している
- 6年以上の英語学習歴がある者
- 日本語学校の出席率が90パーセント以上の者

留学生の入学試験

- 日本語筆記試験
- 英語筆記試験
- 日本語面接

4

本校の就職指導イメージ図



5

日本外国語専門学校の就職指導

1、就職ガイダンス

2、業界セミナー

3、企業セミナー・企業説明会・キャリアフォーラム参加

4、就職に向けたキャリアカウンセリング

5、ビジネスマナー・
企業研究

6、模擬面接練習

7、卒業生座談会

入学直後の
キャリアプラン
ヒアリング&
アドバイス

自己分析

履歴書添削

エントリーシート
指導

2. 外国人留学生採用促進セミナー

● セミナーの目的

外国人留学生の日本就労を支援するため、雇用に当たっての法令解説や、すでに採用し、人材として活用されている企業の雇用事例を通じて外国人留学生の人材としての価値をご理解いただき、採用について積極的に取り組む機会とすることを目的に開催。

● 研修内容

「高等教育機関（大学・専門学校等）における留学生の現状」、「外国人留学生の採用及び雇用事情報告」、「日本企業における外国人留学生の採用状況について」、「外国人留学生の在留資格変更に伴う手続き方法など」

● 参加者

第1回 7月8日 企業担当者49名

参加企業名 41社

No	企 業 名	業 種
1	アクリーティブ(株)	金融
2	(株)ウェザーニューズ	情報通信
3	(株)エイト日本技術開発	建設コンサルタント
4	エムズ・ホールディング・インターナショナル(株)	コンサルティング
5	沖ウィンテック(株)	建設
6	柿沼金属精機(株)	製造
7	KISCO (株)	商社
8	ギャップジャパン(株)	衣料製造販売
9	共同印刷(株)	総合印刷
10	(株)共立メンテナンス	サービス
11	(株)クリエイティブソリューションズ	IT人材派遣
12	KDDI (株)	情報通信
13	(社) 国際人材育成労務管理協会	外国人受入団体機関支援
14	コニカミノルタ(株)	製造
15	(株)コメ兵	小売
16	BR サーティワンアイスクリーム(株)	製造
17	(株)昭栄広報	広告代理店
18	正田醤油(株)	食品製造
19	(株)セプテーニ・ホールディング	IT・広告
20	(株)ゼロステーション	放送
21	ソマール(株)	メーカー
22	ソントンホールディングス(株)	食品製造
23	築地魚市場(株)	卸売
24	帝国インキ製造(株)	製造

25	(株)テクノ菱和	建設
26	東ソー(株)	化学工業
27	東都興業(株)	製造
28	(株)トクヤマ	化学
29	(株)トモエ自工	建設機械修理・販売
30	日信工業(株)	製造
31	日本精工(株)	製造
32	(株)日本セラテック	セラミックス製造
33	日本電業工作(株)	電波利用技術開拓メーカー
34	日本パーカライジング(株)	製造（化学）
35	平賀機械工業(株)	機械器具製造
36	(株)フジキン	精密機器
37	本田技研工業(株)	製造
38	(株)マイスターエンジニア	エンジニアリングサービス
39	(株)みずほフィナンシャルグループ	銀行
40	(株)武蔵野銀行	銀行
41	油脂製品(株)	製造

第2回 11月19日 企業担当者21名

参加企業名 19社

No	企 業 名	業 種
1	(株)アグレックス	情報サービス
2	(株)アスク	出版
3	伊田テクノス(株)	建設
4	(株)オズマプロデュース	情報通信設備等の設計・施工
5	(株)亀和商店	水産仲卸
6	川崎地質(株)	技術サービス業
7	KISCO (株)	商社
8	キャノン電子(株)	製造
9	(株)コナミデジタルエンタテインメント	デジタルエンタテインメント・ゲーム
10	(株)コンピュータネットワーク	ソフトウェア開発
11	(株)サトー	建設機械リース・販売
12	正田醤油(株)	食品製造
13	ソフトバンク・テクノロジー(株)	IT 通信
14	ティアック(株)	電子機器製造
15	日本金属(株)	鉄鋼
16	(株)富士通マーケティング	情報・通信サービス
17	(株)ボーダーリンク	人材派遣
18	レカム(株)	情報通信
19	和光堂(株)	食品製造販売

外国人留学生採用促進セミナー タイムテーブル

外国人留学生採用促進セミナー 次第

日 時 平成25年7月8日(水) 13:30～16:30

会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館

千代田区九段北4-2-25 TEL: 03-3261-9921

内 容 13:00 受付開始

13:30 高等教育機関における留学生の現状と支援

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

後藤 由利

13:50 外国人留学生の採用及び雇用事例の報告

SMK株式会社 人事部二課専任課長

秋間 恭一

14:30 外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

株式会社オリジネーター 取締役専務執行役員

工藤 尚美

15:10 《休 憩》

15:20 外国人雇用の際の在留資格手続きについて

クワタオフィス・行政書士桑田優事務所

桑田 優

16:00 質疑応答

16:10 「第15回アジア人材就職・転職説明会」について

株式会社オリジネーター 取締役専務執行役員

工藤 尚美

外国人留学生採用促進セミナー 次第

日 時 平成25年11月19日(水) 13:30～16:30
会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館
千代田区九段北4-2-25 TEL: 03-3261-9921

内 容 13:00 受付開始

13:30 高等教育機関における留学生の現状と支援
公益社団法人東京都専修学校各種学校協会 後藤 由利

13:50 外国人留学生の採用及び雇用事例の報告Ⅰ
株式会社アイエスエフネット
グローバル戦略本部グローバルサービス部 部長 曾田 昌志

14:30 外国人留学生の採用及び雇用事例の報告Ⅱ
株式会社日本マンパワー
人材開発本社統括部 統括部長 二階堂 孝志

15:10 《休 憩》

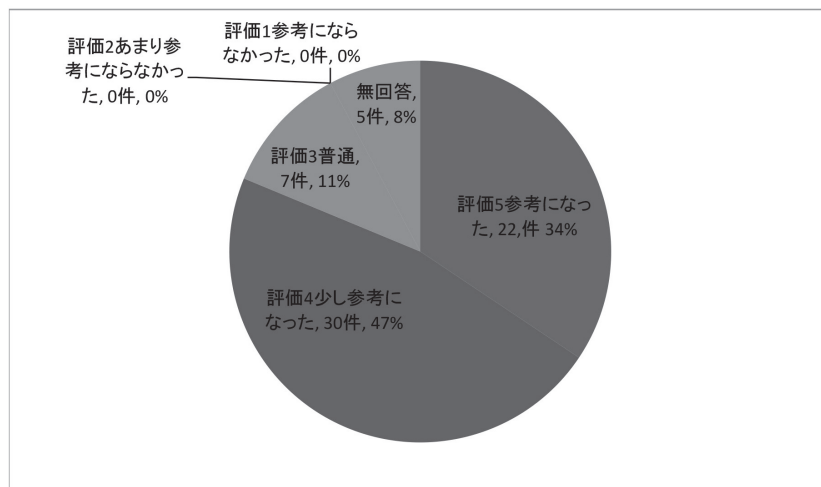
15:20 外国人雇用の際の在留資格手続きについて
クワタオフィス・行政書士桑田優事務所 桑田 優

16:00 質疑応答

16:10 「第16回アジア人材就職・転職説明会」について
株式会社オリジネーター 取締役専務執行役員 工藤 尚美

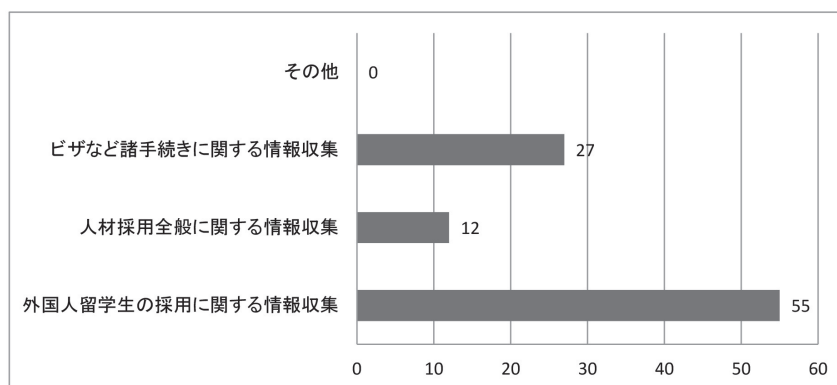
問1 セミナーの満足度【評価5:参考になった～評価1:参考にならなかった】

評価	件数
5	22
4	30
3	7
2	0
1	0
無回答	5



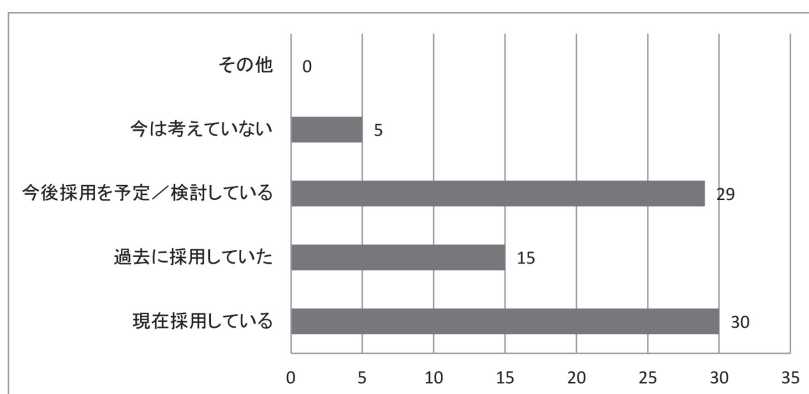
問2 セミナーへの参加理由(複数回答可)

理由	件数
外国人留学生の採用に関する情報収集	55
人材採用全般に関する情報収集	12
ビザなど諸手続きに関する情報収集	27
その他	0



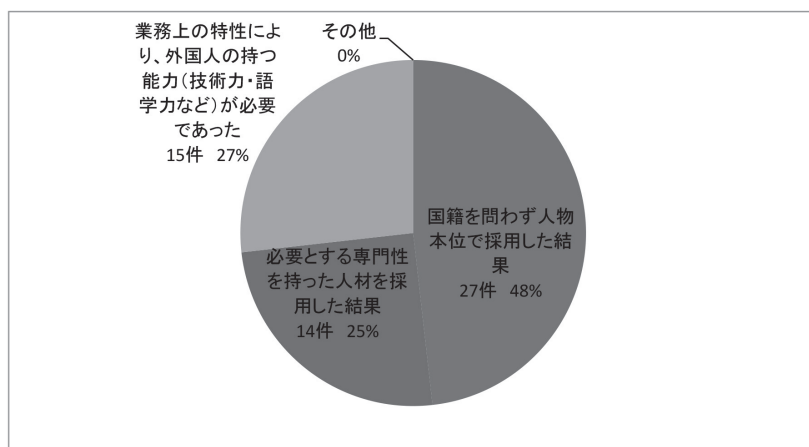
問3 外国人留学生の雇用状況(複数回答可)

状況	件数
現在採用している	30
過去に採用していた	15
今後採用を予定／検討している	29
今は考えていない	5
その他	0



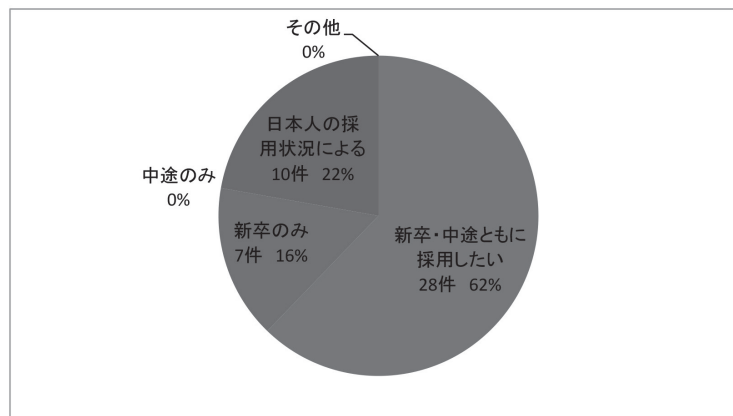
問4 外国人留学生の採用理由

選択項目	件数
国籍を問わず人物本位で採用した結果	27
必要とする専門性を持った人材を採用した結果	14
業務上の特性により、外国人の持つ能力(技術力・語学力など)が必要であった	15
その他	0



問5 外国人留学生の採用条件

選択項目	件数
新卒・中途ともに採用したい	28
新卒のみ	7
中途のみ	0
日本人の採用状況による	10
その他	0

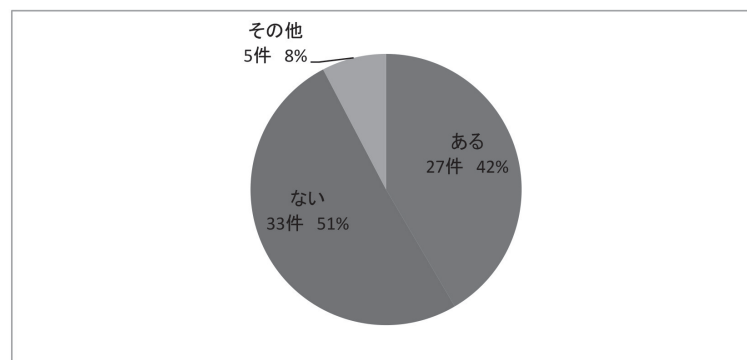


問6 採用を考えていない企業。その理由は

・外国人雇用の社内風土が整っていない	3件
・日本人の人材で充足している	2件
・過去に採用し、トラブル等があった	1件

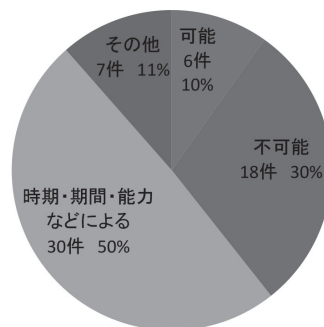
問7 インターンシップ制度があるか

選択項目	件数
ある	27
ない	33
その他	5



問8 今後、インターンシップ生として留学生を受け入れることは可能か

選択項目	件数
可能	6
不可能	18
時期・期間・能力などによる	30
その他	7



問9 セミナーの感想や要望、学校への質問や要望など

- 在留資格手続の説明時間をもう少し長くっていただきたかった
- 在留手続の話と質疑応答の時間をもう少し取った方が有意義
- 在留資格手続について更に詳しい説明会があると留学生の採用実現可能性が高まる
- 採用企業の成功例、トラブル事例が聞きたい
- 桑田先生の入管法改正の話が特に参考になった
- 在留資格申請の部分で個別にセミナーを開催してほしい
- 採用活動のタイミング上、企業説明会に参加できない

当社の外国人留学生採用事例



当社の外国人留学生採用事例

2013年7月8日

SMK株式会社
人事部 採用/教育チーム

SMK CORPORATION

当社の外国人留学生採用事例

AGENDA

I. SMKの概要

1. 会社概要
2. 当社を取り巻く環境と人財経営

II. 外国人採用について

1. 日本での外国人採用の経緯
2. 採用の方針・基準・活動など
3. 留意している点

III. 今後の課題

SMK CORPORATION

会社概要

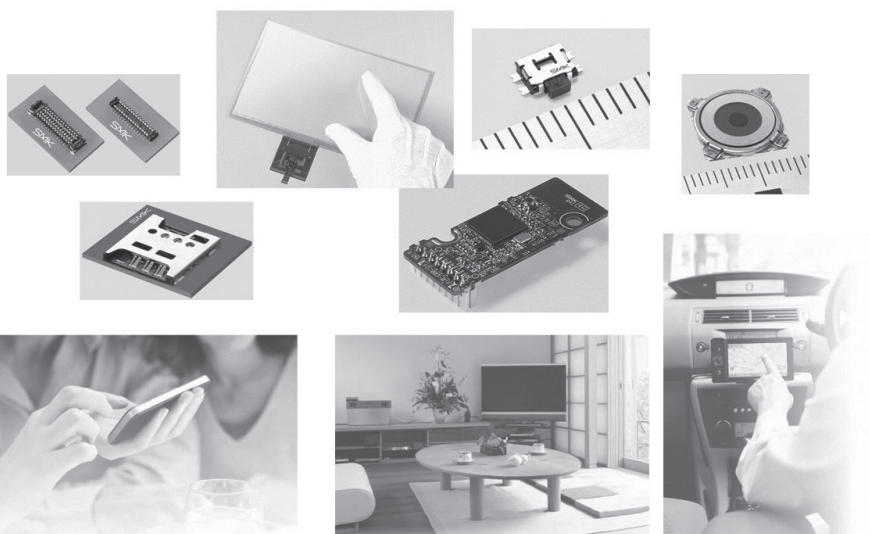
- 業 種 製造業（電子部品の製造・販売）
- 創 業 1925年4月
- 資本金 79億9600万円
- 売上高 544億7500万円
- 株 式 東証1部上場
- 従業員数 9,850名（グループ従業員数）
- 本 社 東京都品川区



SMK CORPORATION

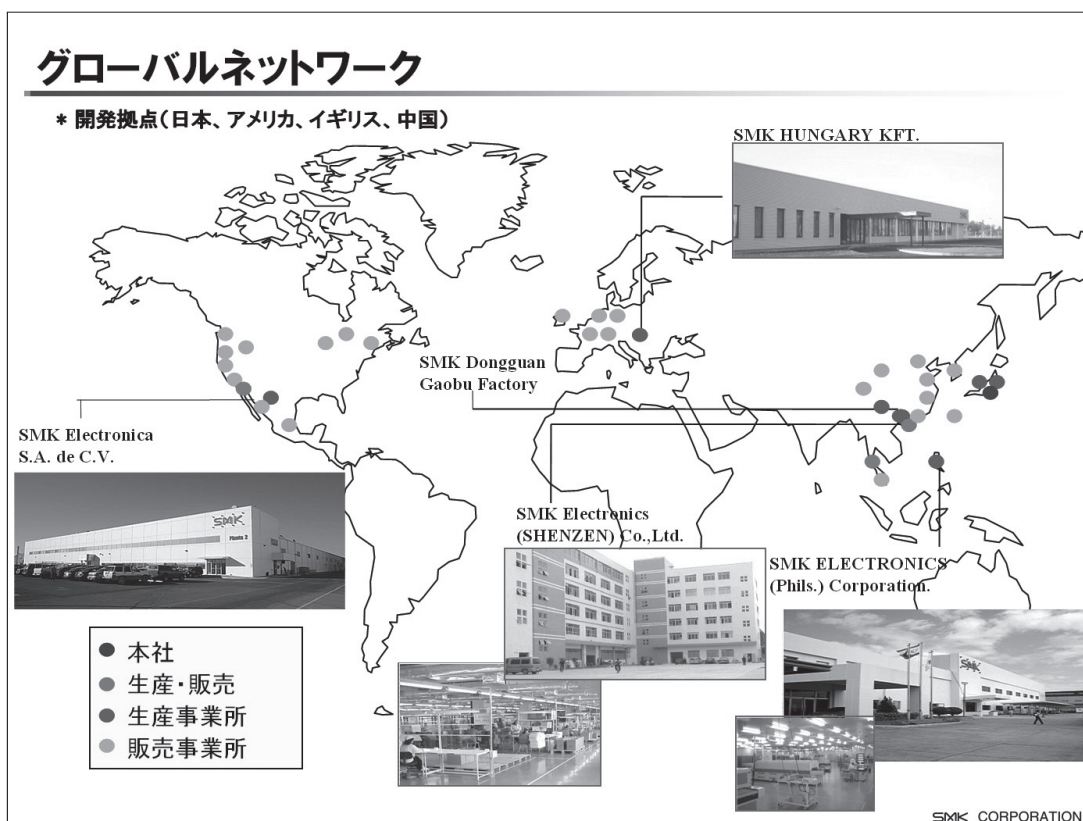
事業内容

情報通信、デジタル家電、車載用機器、環境関連機器等に
使用される電子部品の開発・製造・販売



SMK CORPORATION

当社の外国人留学生採用事例



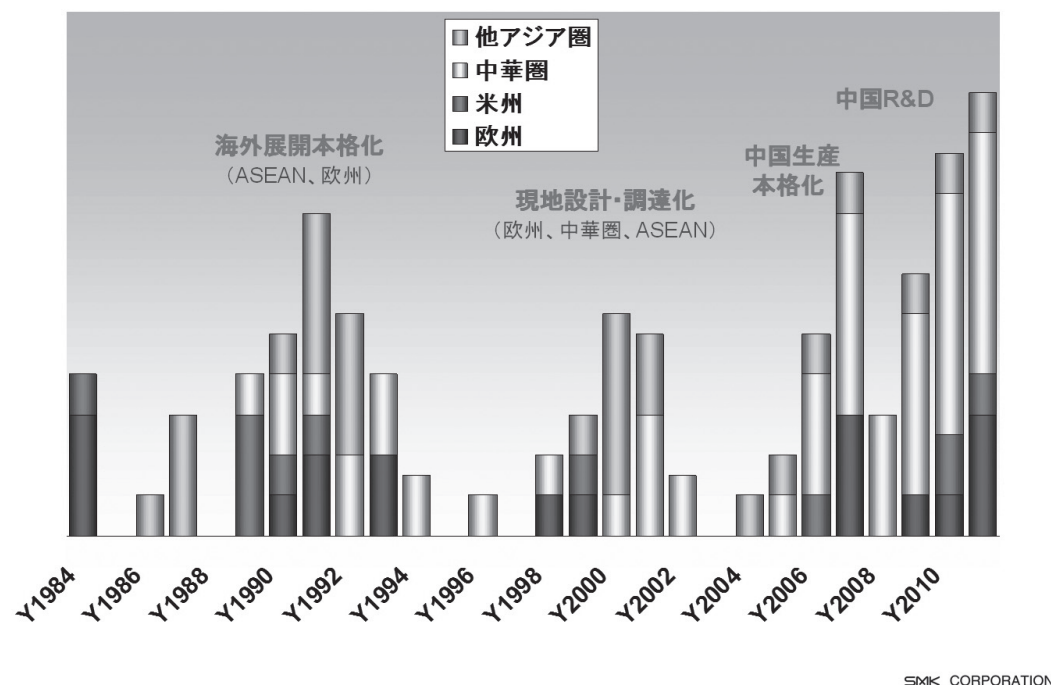
当社の外国人留学生採用事例

採用したい(来てほしい)人材 日本人/外国人とも共通

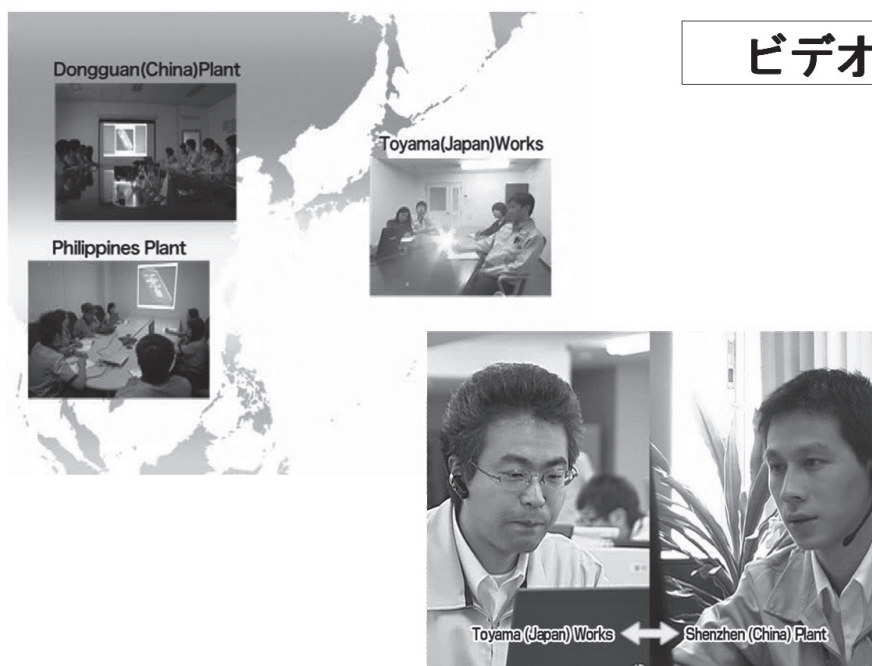
- ◇ 自立型人材... 自主・自助・自己責任能力
- ◇ 国・言語・文化の違いにとらわれない国際感覚を持った人
- ◇ 母国の文化を理解し、違う文化圏にも正しく伝えることの出来る人
- ◇ 「三つのCプラス一つのA」を実践できる人
 - Change, Challenge, Collaboration, Anticipation

SMK CORPORATION

日本での外国人採用の経緯（国籍別・人数）



なぜ経営のグローバル化に外国人が必要か



当社の外国人留学生採用事例

外国人留学生のその後（日本での研修を終えて海外へ）



SMK CORPORATION

当社の外国人留学生採用事例

外国人留学生の採用方針・基準・活動など

➤ 採用基準

- ◇ 特に外国人用の基準は定めていない。エントリー、面接、筆記試験等はすべて日本人と変わらず。（採用に国籍の指定はない）
- ◇ ただし、日本語が得意でないor出来ない学生で、募集する職種とマッチする可能性が見込まれる場合は、英語で筆記・面接を行う場合もある。

➤ 採用活動

- ◇ 外国人留学生対象の就職説明会等に参加
- ◇ 一部職種ではエージェントを利用

SMK CORPORATION

留意している点

- 職場に「壁」を作らない
人種や言葉の違いを一切意識しない職場環境
英語の公用語化...2000年より実施
- 評価・処遇に差を設けない
基本的な社内基準はグローバルで統一化(国籍による区別なし)
- 社内教育
階層別／職能別教育、自己啓発研修(語学教室etc.)
異文化コミュニケーション研修(社内外国人50%日本人50%)
- 私生活面でのサポート
メンターの設置、外国人用独身寮(...トイレ・シャワーetc.)
- 外国人同士の交流促進
欧米人vsアジア人etc. ...意外な効果あり!

SMK CORPORATION

今後の課題

- 採用活動の更なるグローバル化
人事システムのグローバル化強化
会社に貢献できる人材かどうかで判断(国籍は不問)
欧米留学中のアジア人、アジア留学中の欧米人...
- 採用基準のグローバルでの統一化検討
筆記試験問題、面接時の質問etc.
- 海外派遣(転籍)の際のモチベーション維持
特に中国をはじめとするアジア圏
- 外国人社員のメンタルヘルスケア
メンタルヘルスケア委員会の対応
外国人のメンタル的な行動や思考を理解

SMK CORPORATION

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について



第23回外国人留学生採用促進セミナー

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

平成25年7月8日

株式会社オリジネーター 工藤尚美
<http://www.originator.co.jp>

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について



会社概要

株式会社オリジネーター

設立：2001年12月
住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-19-12

事業内容

- 外国人採用支援、およびコンサルティング事業
 - 外国人留学生採用サポート(国内、海外)
 - 外国人中途人材採用サポート
- 就職情報サイト運営
外国人留学生専門就職情報サイト「リュウカツ・ネット」の運営
- 研修、セミナー事業
 - ◆企業様対象
 - ビジネス日本語研修
 - ビジネスマナー研修
 - 異文化対応研修(外国人社員および日本人社員対象)
 - ◆学校様対象
 - 就職対策講座(留学生対象)
 - 就職指導セミナー(留学生就職指導職員対象)
- 留学生向け最大級就職フェア「アジア人材就職・転職説明会」協力

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved



リユウカツ・ネット®

留学生のための就活NET

http://www.ryugakusei.com





日本で働きたい! 留学生のための就職支援サイト

全庁から企業情報

英語から探す

- ・メーカー
- ・流通・卸売・小売
- ・サービス
- ・建設
- ・運輸
- ・金融
- ・教育
- ・医療
- ・福祉
- ・その他

地域から探す

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	香川県	高松市	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	大分県	熊本県	鹿児島県	沖縄県
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

会社データ

会社名	株式会社 山本機械製作所
事業内容	最先端テクノロジーをベースとしたシステムLSIの開発 (ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア) ・システム開発LSI ・制御システム用LSI ・アナログLSI ・ワイヤレスデバイス ・その他ワークパルソリューション
設立	1963年 01月
資本金	10億
売上高	20億円
従業員数	3587562
代表者	山本 太郎
事業所	〒1410022 東京都品川区東五反田5-28-1 4Fビル TEL:03-5423-0630 FAX:

応募先情報

住所	〒1410022 東京都品川区東五反田5-28-1 ケイウビル
電話番号	03-5423-0630
担当者	はしのえみ
E-Mail	yama@originator.co.jp
採用 ウェブページ	http://www.originator.co.jp
応募方法	当ホームページ(http://www.nibean-tz.co.jp)をご覧ください。 ●その上で興味・関心をお持ちになったら、エントリー下さい。 ●セミナー(説明会)にご参加いただき、より詳しい事を聞いて下さい。 ●もちろん夏期大募集です。(※当社は、中部支店・北関東支店にて開催) ●セミナー参加は、随時受付いたします。(※内容・参加費・抽選・面接) ●面接は、あなたの希望や考え方をじっくりお話しします。 そして、自己PRもお願いさせていただきます。 ●採用後及びエントリーの受付、説明会の予約はすべて HP等からの申込みも可能です。 ○受付→○会社説明会→○筆記試験→○面接→○内定

Copyright©2013Originator. All Rights Reserved

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

リユウカツ・ネット・キャリア

http://career.originator.co.jp/



人材紹介とは?

SERVICE

お仕事情報一覧

JOB SEARCH

事例紹介

CASE STUDY

就職活動サポート

SUPPORT

よくある質問

FAQ

HOME



あなたの力を
活かす場所がここにあります

無料転職・就職支援サービス

仕事をお探しならまずは登録!

WEBエントリー

文系の方のご登録

理系の方のご登録

お悩み・ご質問お気軽にご相談ください

News&Topics

2012/02/26 【第12回アジア人材就職・転職説明会】は大盛況のうち無事終了しました。当日ご来場された皆さん、ありがとうございました。

2012/02/14 外国人留学生を応援するリユウカツ! JFacebookページが本日オープン!

2012/02/12 【NEW】3月内定見込 増員決定! 車載メーカーで生産管理システムを構築していくITエンジニア職の募集です

注目企業



アジア人材
就職・転職説明会

Copyright©2013Originator. All Rights Reserved

132

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

1. 日本における留学生の就職状況

1、日本全体の就職状況

1) 採用は数よりも質、厳選採用

2) 労働力人口の減少
少子化、大量の定年退職者

↓
優秀な新卒人材の確保

2、外国人留学生の就職状況

1) 外国人留学生数（2012年）

高等教育機関	137,756名
日本語学校生	24,092名
合計	161,848名

2) 留学ビザから就労ビザへの申請
と許可数（2011年）

申請数	9,143名
許可数	8,586名（前年比9.6%増）

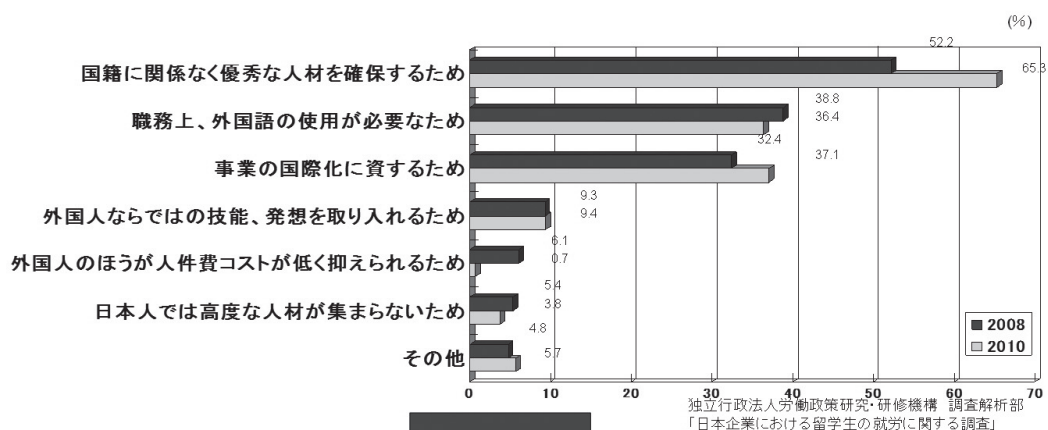
2011年 優秀な外国人人材の採用を検討する企業が増加



Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

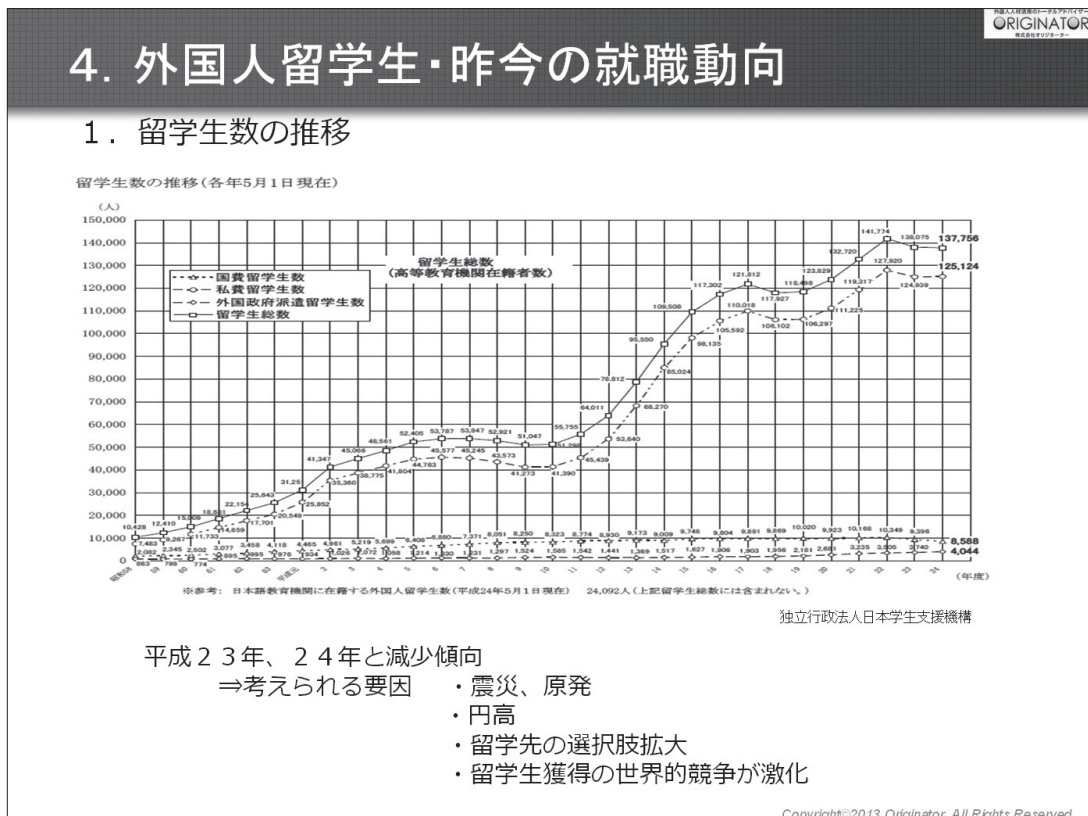
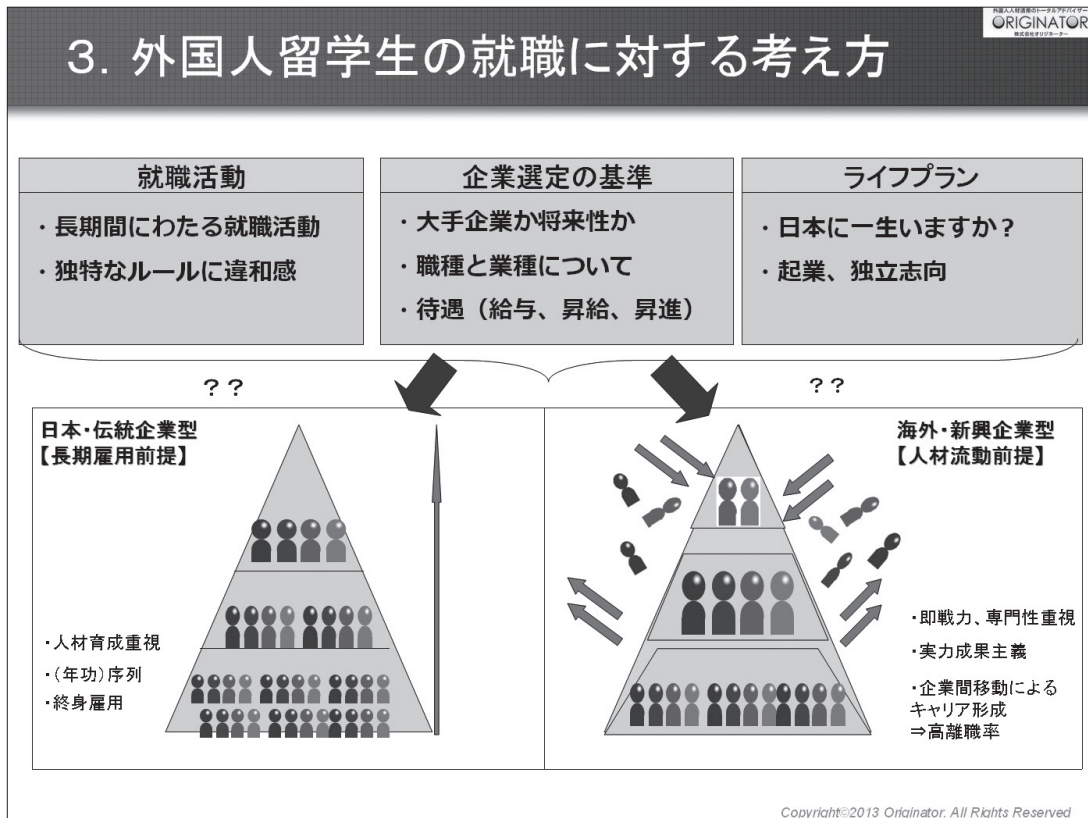
2. 企業様の外国人留学生採用ニーズ



採用ニーズ

1. 海外事業を展開する中で、
対象国・地域の出身者が必要2. 国籍を問わず、専門性
(能力・技術力) を重視3. 社内のグローバル化、
活性化、ダイバーシティの推進

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved



外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

4. 外国人留学生・昨今の就職動向

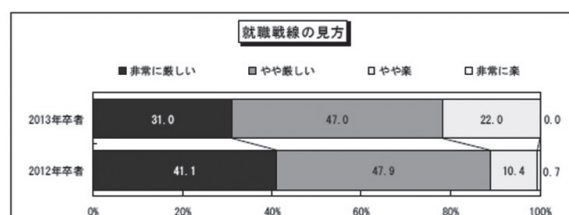
2. 就職活動の早期化

⇒日本型就職活動の浸透

* 留学生の滞在年数、生活環境によって相違あり

3. 二極化

①内定の有無



株式会社ディスコ 2013年度 第1回調査結果(2012年3月発行) 外国人留学生の就職活動状況

②東南アジア人材と東アジア人材

東南アジア留学生数 < 企業の東南アジア人材ニーズ

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について

5. 外国人留学生の選考

■採用の基準策定

どちらの学生を評価しますか？

A) 在籍校:上位大学
日本語力:低い

B) 在籍校:中堅大学
日本語力:高い

⇒日本語力

A) 在籍校:上位理工系大学院
年齢:32歳

B) 在籍校:中堅理工系大学院
年齢:24歳

⇒年齢

A) 滞日期間:8年
日本人らしい物腰、思考

B) 滞日期間:3ヶ月
外国人ならではのカラー

⇒グローバル人材?
外国人材?

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved

5. 外国人留学生の選考

■見極めのヒント

書類選考	・上位校 $\times$ 高い能力 ※母国での学歴を確認 日本では専門学校在学でも、母国で上位大学を卒業している可能性あり。 ・日本語能力資格 ※日本語能力試験、BJT等、各資格の指標確認	面接	異文化適応力 ・日本社会への関心と理解 ※時事問題、最近話題になっているニュースは？それに対する意見 ※アルバイト経験の有無とエピソード確認
			日本語力 ・日本語の理解力、表現力 ※使い分けができているか ※質問に「突き上げ」「掘り下げ」を
筆記試験	適性試験 ・SPIなど ※日本人同様の精度で能力測定が可能か		身だしなみ、態度 ・ちょっと気になること ⇒日本人のフィルターを通してみると・・・
	作文 ・母語での作文 ※文章構成力(論理的思考)の確認		

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved

6. 採用にあたって

採用時期と方法

- ・通年採用、もしくは
秋・冬・春の3期採用の検討
⇒3月卒、9月卒、6月卒
- ・インターンシップ制度の導入

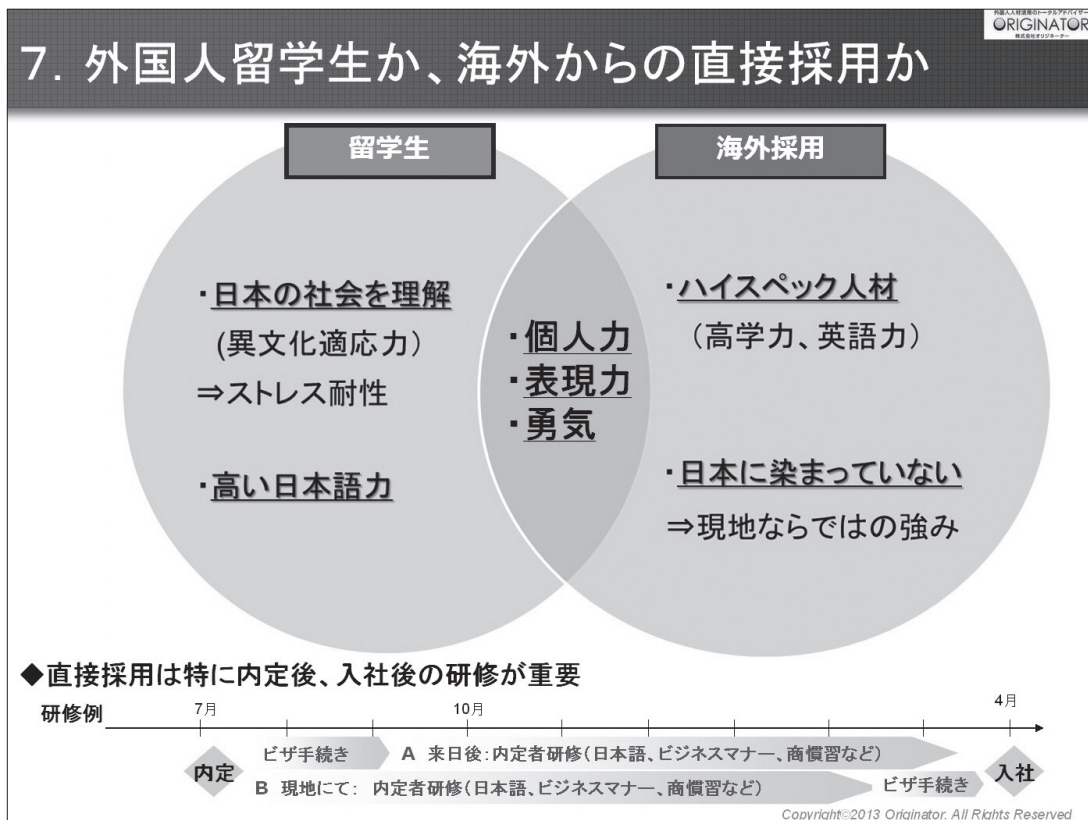
基準の策定

- ・外国人留学生との接触機会
(就職説明会、交流会等参加)を増やす
⇒レベル感の蓄積
- ・同国人社員との面接機会を作る
(学年差、年齢差を考慮)
- ・採用後を見据えた採用を
採用<育成<キャリアパス

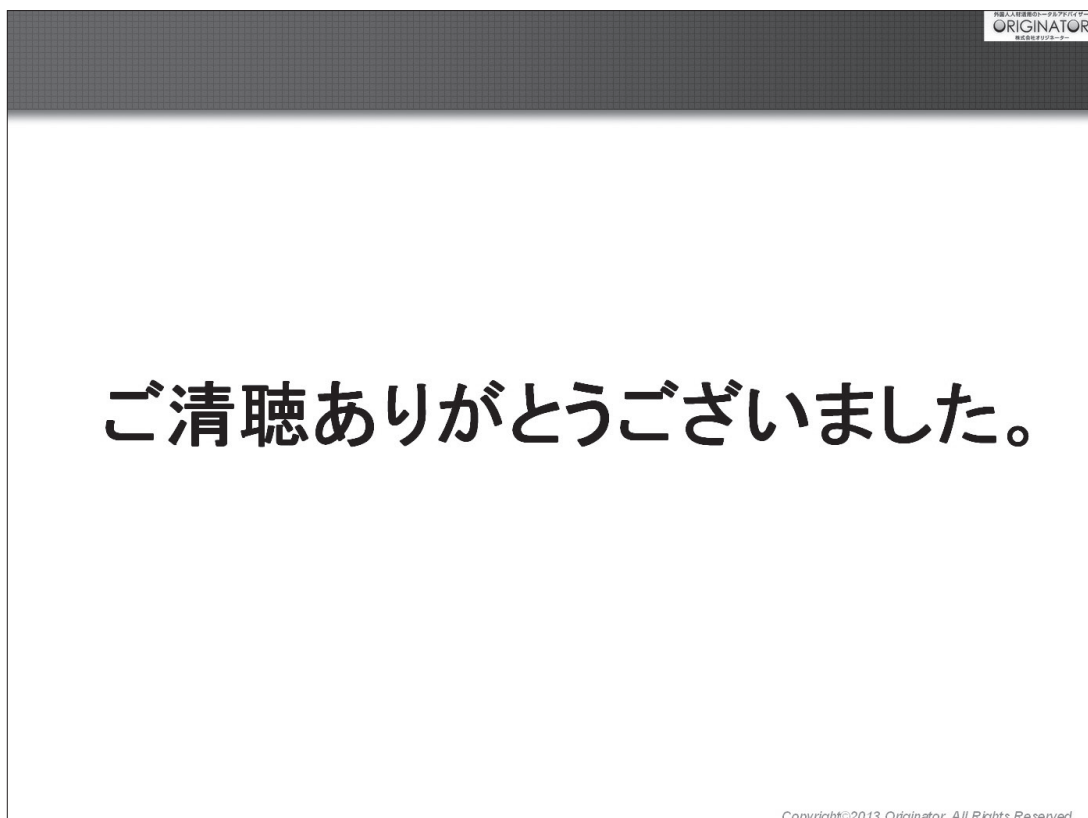
採用ポイント	⇒ 採用目的、人材活用の方角性を明確に伝えられるかが重要
雇用後の活用	⇒ フィードバックの大切さ ・都度、目標の確認 ・(特にアジアからの学生) 肌と肌の触れ合い

Copyright©2013 Originator. All Rights Reserved

外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について



外国人留学生の就職活動に関する最近の動向について



外国人留学生採用時のビザ手続き方法 就労ビザ・改正入管法について



2013年7月8日 行政書士 桑田 優

本日のテーマ①：リスクマネジメントと としての「就労ビザに関する知識」

問題点

外国人を採用するときには、就労ビザが必要であるところ、
「内定が決まっても就労ビザが許可されとは限らない」

問題の解決に向けて

入管(入管法)の考え方と、ビザ申請手続について理解する

望ましい結果(目標)

- 不許可のリスクを減らすこと。
- 留学生の採用促進: 留学生の採用を、企業の「見えない強み」の強化につなげる

就労ビザに関する「国の方針」その1

○日本に滞在する外国人は(滞在中の)活動に見合ったビザの許可を受けなければならない。

＝留学生(外国人人材)を採用したときは、入社の時点で就労ビザの許可を受けている必要がある。

→留学生が大学や専門学校卒業後、留学ビザの期間が残っていても、**留学ビザのままでは(たとえアルバイトが可能な「資格外活動許可」を持っていたとしても)社員として勤務させることはできない。**

→観光ビザ(短期滞在ビザ)では働くことができない。

＊就労に関するビザには、どのようなものがあるか(次頁)



日本で就労するためのビザ

ビザの種類	業務(国内での活動)	対象とする外国人
人文知識・国際業務	通訳、デザイン、国際取引、人事、経理、マーケティング等、人文系の専門業務	留学生も対象
技術	機械、IT技術、設計等自然科学系の専門業務	留学生も対象
研究	企業での研究職	留学生も対象→修士または「学士・高度専門士プラス研究経験3年」
技能	調理師、宝石加工、外国製品の製造・修理等	外国から直接人材を招く
技能実習	製造業等の技術習得のための活動	業界団体(組合)が外国から直接招く



就労ビザに関する「国の考え方」その2

○単純労働者は受け入れない。

- ▶ 専門業務を行う外国人人材に、就労ビザを許可する

＊就労ビザを許可する場合、というのはどのような場合か。
言い換えると、「就労ビザを許可する場合」と「許可しない
場合」を、どのように区別するか

→「本人の条件」

「会社の条件」

をそれぞれ満たすことが必要となる。



在留資格「人文知識・国際業務」に おける「本人の条件」＝どれか1つ

- ▶ 専門学校を卒業し専門士である者が、専門的に勉強した事に関連した専門業務を行うこと
- ▶ 通訳翻訳業務の場合、日本か本国で大学を卒業し、学位があること
- ▶ 人文・社会科学分野の専門業務の場合、日本か本国で関連分野を専攻して大学を卒業し、学位があること
- ▶ 本国で、専門業務10年以上の経験
- ▶ 貿易実務・通訳・デザインなど、「外国人ならではの」業務の場合、専門業務3年以上の経験



在留資格「技術」における 「本人の条件」＝どれか1つ

- ▶ 専門学校を卒業し「専門士」である者が、専門的に勉強した事に関連した専門業務を行うこと
- ▶ 日本か本国の大学で、関連の専門分野(技術系)を専攻して卒業し、学位があること
- ▶ 本国で、専門業務10年以上の経験
- ▶ IT関連業務につき、日本または指定された国の指定された国家試験に合格していること



「会社の条件」＝すべて必要

- 専門的な業務に従事させること
- 安定した雇用であること
 - ▶ 事業所が確保されていること(会社の安定性)
 - ▶ 継続的な雇用契約を締結すること
 - ▶ 日本人社員と同等の給与を払うこと



「会社の条件」をめぐる論点

○「採用後に配属を決める」という場合

→入管での審査の時点で「どのような専門業務を行うか、そもそも専門業務を行うかどうか」が不明。

＊労働者派遣の場合は、派遣先企業が決定してから申請可。

○「試用期間」(期間満了後に採否を決定)の場合

→安定・継続性が無いとみなされる可能性がある。

○給与は(同じ雇用条件の下で)日本人社員と同等

→最低賃金法をはじめとした、労働法の規定を遵守。



閑話休題：外国人留学生在籍数 (日本学生支援機構 平成24年5月1日)

国名・地域名	「留学」在籍数	国名・地域名	「留学」在籍数
中国	86,324	インドネシア	2,276
韓国	16,651	タイ	2,167
台湾	4,617	アメリカ	2,133
ベトナム	4,373	ミャンマー	1,151
ネパール	2,451	モンゴル	1,114
マレーシア	2,319	インド	541



本日のテーマ②入管法改正 (2012年7月9日)

<入管法改正の背景>

- 1, 「入国管理制度」と「外国人登録制度」の二元化による問題
- 2, 住所移転等の届出が適切にされないことによる、行政サービスの不徹底という問題
- 3, 国際結婚の場合、夫婦でも外国人配偶者は住民票に記載されなかったという問題
- 4, 不法滞在者が外国人登録をしてしまう問題



在留カード制度と住民登録制度の要点

- ◎外国人登録制度は廃止され、今までの外国人登録証の代わりに在留カードが交付される。
- ◎外国人住民が住民登録制度の対象となったので、
 - 住民票が発行される。
 - 転居の場合は、転出届・転入届の両方必要。
- 平成24年7月9日時点で就労ビザを持っている人は、現在の外国人登録証は、そのビザの期限まで有効。
- 留学から就労ビザへの「変更申請」、就労ビザの期間を延長する「更新申請」のときにも、証明写真が必要。
- 在留カードへの名前の記載は、旅券のと通りのローマ字とする。中国の簡体字は記載されない。



法改正によるメリットと規制強化

メリット＝「みなし再入国許可」

○就労ビザを持っている外国人が一時帰国・海外出張をするときは、**1年以内**で、かつ**就労ビザの残りの期間内**であれば、入管での**事前の再入国許可申請が不要**。

*「外国人登録証」のままでも、「みなし再入国」制度を使って一時出国・再入国は可能。

規制の強化＝退職時の(本人による)届出義務

○就労ビザの場合に勤務先を退職したり、契約の終了があった場合は、本人が**14日以内**に「**所属機関の変更**」を入国管理局あて届け出る必要がある。



その他の入管法の動向

○日本の専門学校卒業生で、専門士称号を持っている元留学生は、いったん帰国後でも就労ビザの許可を取得しうることとなった。(2011.7.1より)

○就職活動のための「特定活動」ビザ

日本で専門学校・大学を卒業した留学生が、引き続き日本国内で就職活動を行う場合、一定の条件を備えると「就職活動のためのビザ」(特定活動ビザ)が許可される。

*最初に許可される在留期間は6か月。さらに1回更新可能なので、最長で卒業より1年。

*「就職活動のための特定活動ビザ」を許可されている留学生(卒業生)であれば、ビザに関して採用活動に支障ない。



留学生の採用と企業側の対応（１）

- ▶ 「在留カード」(または外国人登録証) 及び旅券で、現在のビザの種類・ビザの期限を確認する。

→必ずカードの表と裏を確認する。

- ※改正入管法により、「留学ビザの更新(延長)をしたことのある留学生」「留学ビザから就労ビザへの変更をしたことのある留学生(中途採用)」などの場合は、旅券にビザのシールを貼らなくなるので、在留カードを見て在留資格を確認する。

- ▶ 留学生の「経歴」を確認する。

→専門学校卒業生で、「業務の専門性と学校で専門的に勉強したこととの共通性がない場合」でも、本国で大学を卒業して学位があれば、「本人の条件」を満たす場合がある。

- ▶ 留学生の在学状況・アルバイト状況を確認する。



企業側の対応（２） 申請手続き

- 1, 申請の種類に応じた、申請書の用紙を準備。

○「在留資格変更申請」＝留学生が卒業後、日本に滞在したまま就労ビザの許可をもらう場合の申請の種類。

- ※「在留資格認定証明書交付申請」海外から人材を直接招く

- 2, 申請書には、会社の記名押印も必要。

→原則として、代表取締役の記名押印。

- 3, 採用の内定がされていれば、変更申請は可能。

- ※3月卒業で、4月から採用する場合、遅くとも2月中に入国管理局に就労ビザへの変更申請をする。



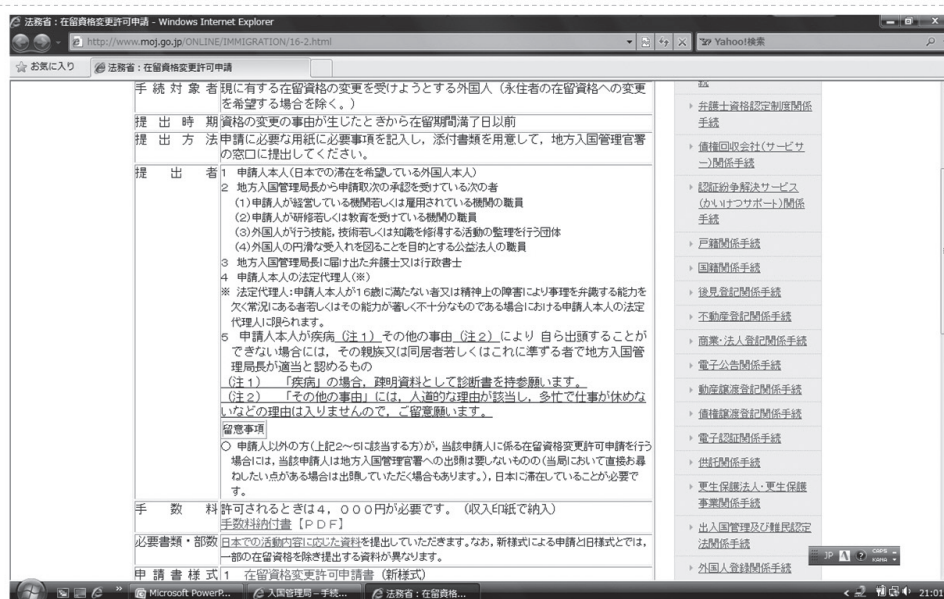
入管への申請時期

○留学ビザの期間が4月より長く残っていたとしても、入社の時点で就労ビザの許可を受けていなければならない。



- * 就労ビザへの変更を、留学生の卒業式の前に申請する場合
→申請時には「卒業見込証明書」を提出する。
- 卒業式を迎え卒業証明書を手に入れたら、入管の窓口で許可の在留カードと引き替えに卒業証明書を提出する。
- * 許可までの期間＝「3週間」または「2か月」

「在留資格変更許可申請」のページ (URLは、後掲「参照サイト」をご覧ください)



企業側の対応（3）許可後の取り扱い

○職業安定所に「外国人雇用状況の届出」をする。

→雇用保険の「被保険者資格の取得届」の用紙の備考欄に「国籍・在留資格・在留期限」を記載すれば足りる。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/index.html>

○外国人労働者の雇用労務責任者の選任

→常時10人以上雇用する場合、人事課長等を雇用労務責任者として選任。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/01.html>



まとめ

○行政書士に依頼するメリット

○海外展開を見据えた採用＝必要なのは「日本語が完璧な人材」でしょうか？

○学生の「人となり」を見る機会＝専門学校との協働による「インターンシップ」の実施

○専門学校卒業生で「母国の大学を卒業し、学位を有する」人材の場合

現地の慣習がわかり、コミュニケーション能力に優れ、なおかつ専門用語・「現場」がわかる人材として、専門学校の留学生をお勧めいたします。



参考サイト

○入国管理局(法令・管轄など)

<http://www.immi-moj.go.jp/index2.html>

○申請書等のダウンロード: 在留資格変更申請の場合

(1) 法務省入国管理局 <http://www.immi-moj.go.jp/index2.html>

→(2)「各種手続案内」の「各種申請用紙はこちら」をクリック

→(3)「在留資格変更許可申請」をクリック

→(4) 下記「在留資格変更許可申請」のページが出ます。

<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2.html>

○新しい在留管理制度(在留カード)

http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/index.html

○厚労省「外国人雇用状況の届出」: このページの「届出の方法について

→届出事項の様式について」をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/>

○IT技術者に関する、資格試験一覧

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyukan_hourei_h09.html



ご清聴ありがとうございました。



行政書士 桑田 優(くわたまさる) kuwataoffice@nifty.com

1964年生まれ、1999年クワタオフィス(行政書士桑田優事務所)開設

主要著作「Q&A外国人をめぐる法律相談」(新日本法規出版、共著)

所属学会等 JAFSA国際教育交流協議会・日本成年後見法学会

TEL 03-3344-0177 <http://iklive.tea-nifty.com/>



高等教育機関における留学生の現状と支援

高等教育機関における 留学生の現状と支援

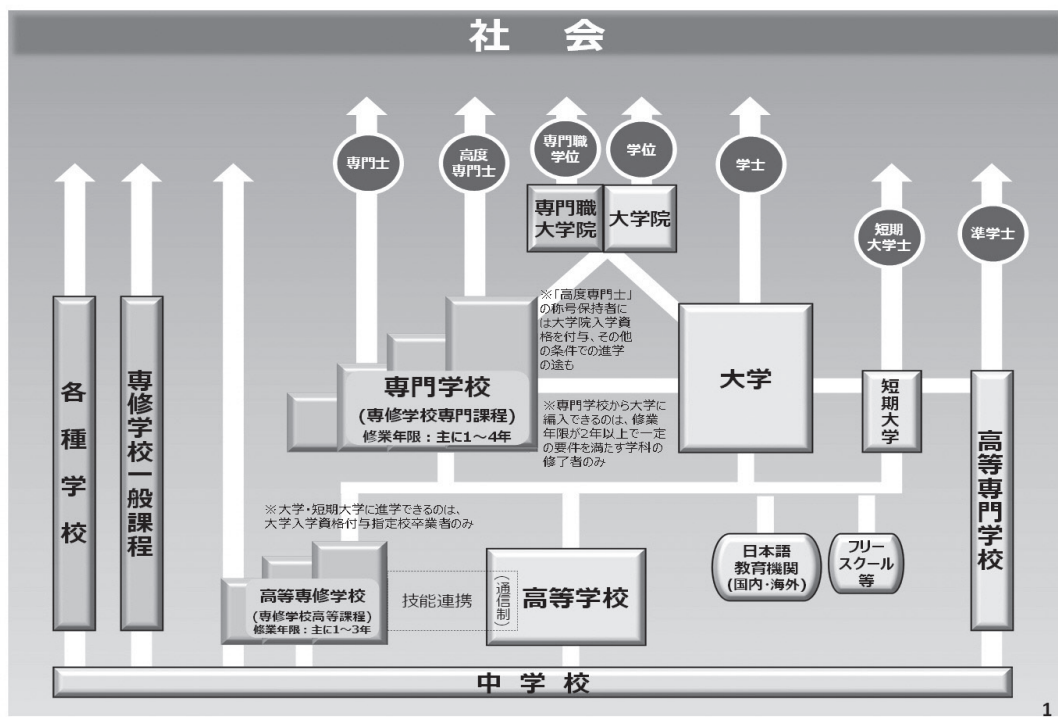
公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会



Metropolitan Tokyo
Professional Institution Association

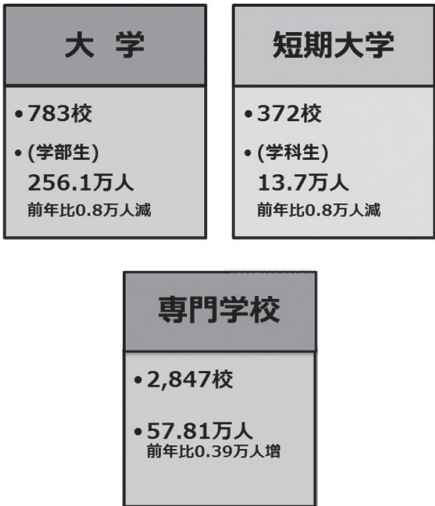
高等教育機関における留学生の現状と支援

1. 日本の高等教育機関①

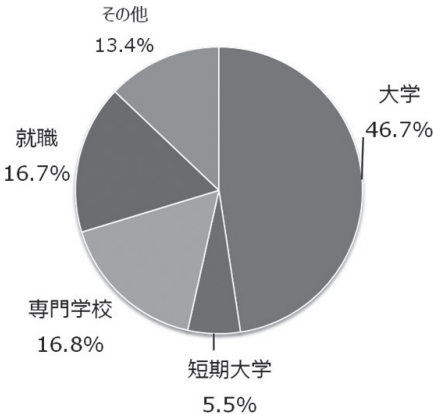


1. 日本の高等教育機関②

a. 大学・短期大学・専門学校の数と在籍者数(全国)



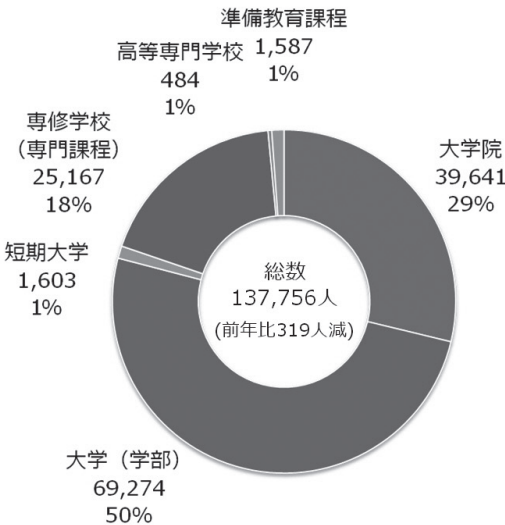
b. 高校新卒者の進路状況(全国) (2012年度学校基本調査より)



2. 日本の留学生数①

a. 高等教育機関の在留資格：留学

(日本学生支援機構2012年度外国人留学生在籍状況調査結果より)
2012年5月1日現在



b. 日本語学校・高等学校の在留資格：就学 2010.7.1~ 留学

(日本語教育振興協会より)
2012年7月1日現在

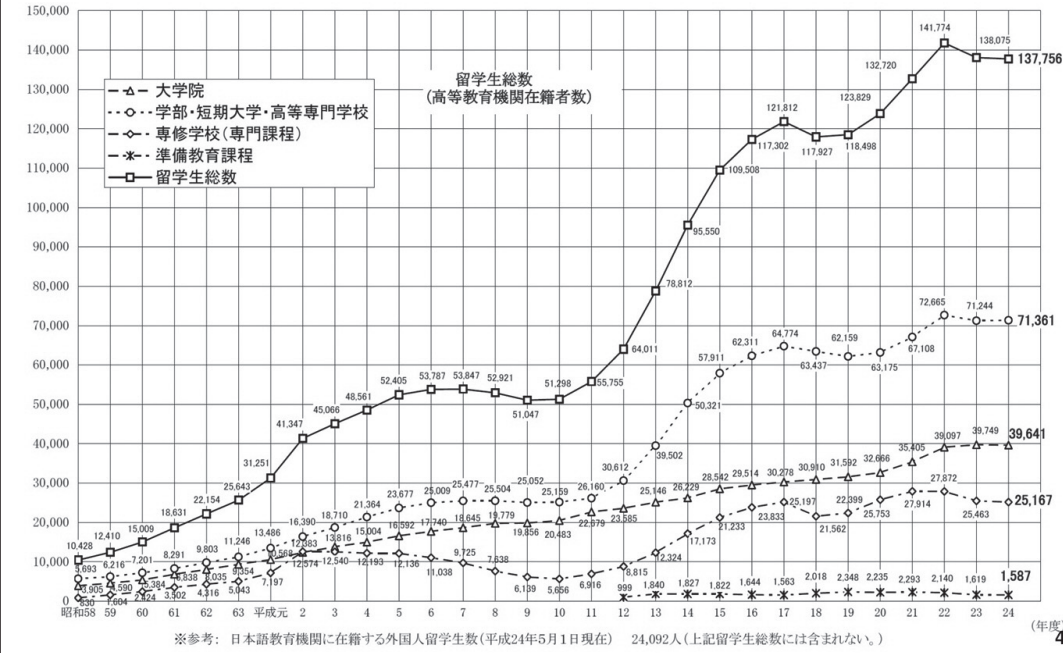
日本語学校の学生数
各年7月1日現在

2012年	29,235人
2011年	33,239人
2010年	43,669人
2009年	42,651人
2008年	34,937人
2007年	31,663人

高等教育機関における留学生の現状と支援

2. 日本の留学生数②

学種別留学生数の推移



高等教育機関における留学生の現状と支援

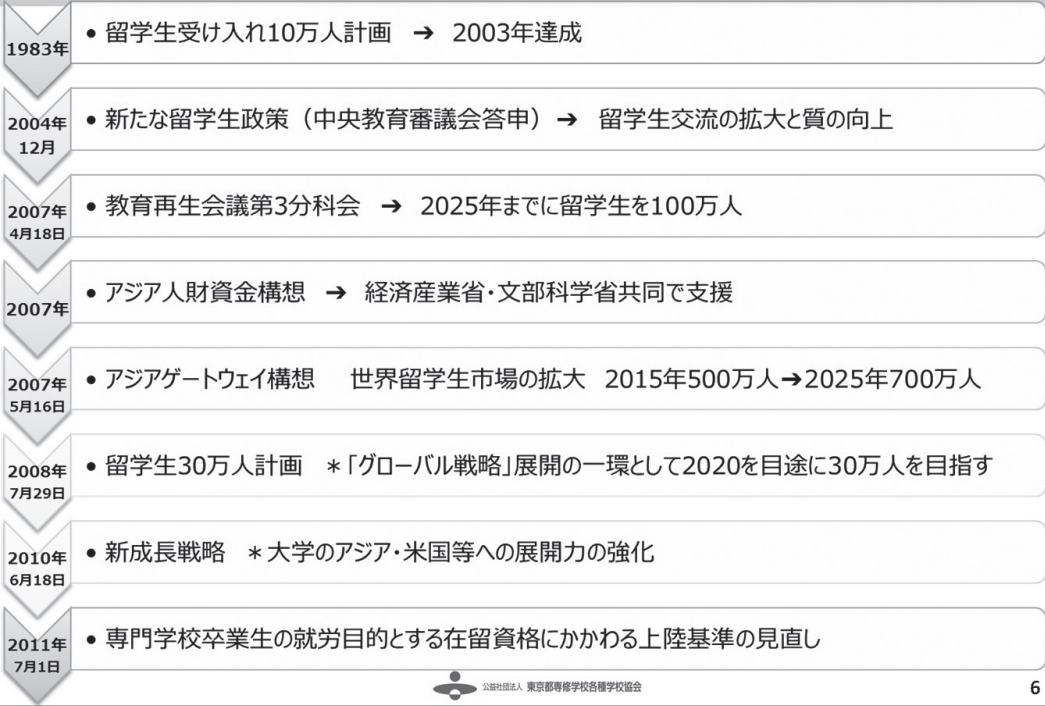
2. 日本の留学生数③

出身国・地域別留学生数

2012.5.1現在 ()内は2011.5.1現在 (日本学生支援機構2012年度外国人留学生在籍状況調査結果より)

国(地域)名	留学生数 (人)		構成比 (%)		国(地域)名	留学生数 (人)		構成比 (%)	
中国	86,324	(87,533)	62.7	(63.4)	フィリピン	497	(498)	0.4	(0.4)
韓国	16,651	(17,640)	12.1	(12.8)	英国	429	(364)	0.3	(0.3)
台湾	4,617	(4,571)	3.4	(3.3)	サウジアラビア	413	(336)	0.3	(0.2)
ベトナム	4,373	(4,033)	3.2	(2.9)	オーストラリア	338	(231)	0.2	(0.2)
ネパール	2,451	(2,016)	1.8	(1.5)	ロシア	333	(331)	0.2	(0.2)
マレーシア	2,319	(2,417)	1.7	(1.8)	カンボジア	311	(326)	0.2	(0.2)
インドネシア	2,276	(2,162)	1.7	(1.6)	カナダ	302	(286)	0.2	(0.2)
タイ	2,167	(2,396)	1.6	(1.7)	ブラジル	272	(272)	0.2	(0.2)
アメリカ合衆国	2,133	(1,456)	1.5	(1.1)	スウェーデン	244	(193)	0.2	(0.1)
ミャンマー	1,151	(1,118)	0.8	(0.8)	ラオス	223	(248)	0.2	(0.2)
モンゴル	1,114	(1,170)	0.8	(0.8)	イラン	213	(229)	0.2	(0.2)
バングラデシュ	1,052	(1,322)	0.8	(1.0)	エジプト	213	(235)	0.2	(0.2)
フランス	740	(530)	0.5	(0.4)	シンガポール	211	(186)	0.2	(0.1)
スリランカ	670	(737)	0.5	(0.5)	ウズベキスタン	203	(191)	0.1	(0.1)
ドイツ	566	(393)	0.4	(0.3)	その他	4,409	(4,082)	3.2	(3.0)
インド	541	(573)	0.4	(0.4)	合 計	137,756	(138,075)	100.0	(100.0)

3. 日本における主な留学生政策



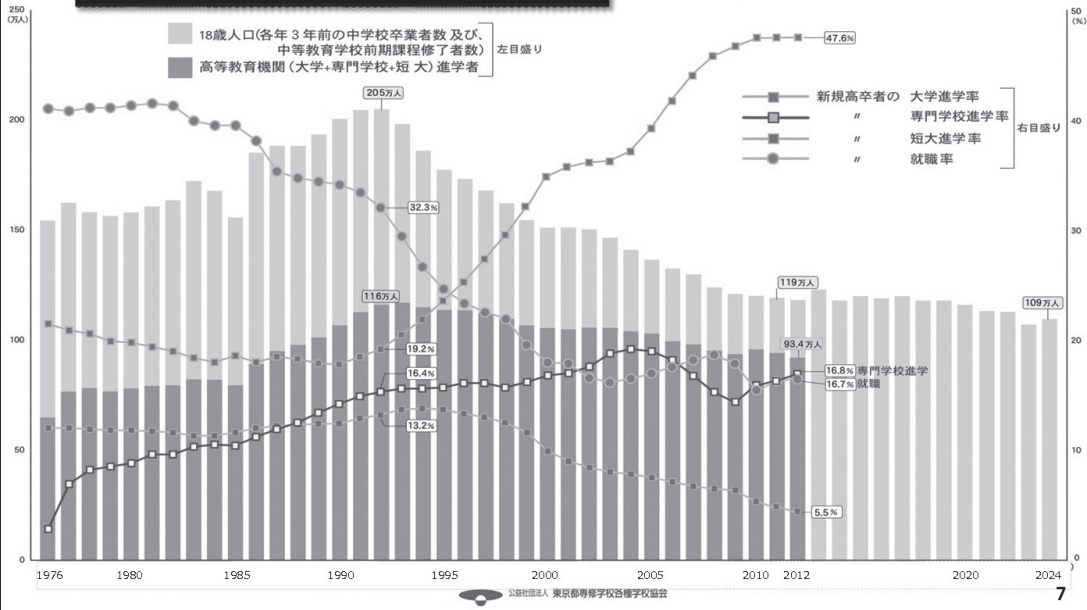
6

4. 少子化に対する理解とその影響

- * 18歳人口の減少 → 既卒社会人・外国人留学生
- * 大学全入時代(2007年問題) → 中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」

18歳人口と高等教育機関への進学率の推移

(学校基本調査ほか、文部科学省作成データから)



7

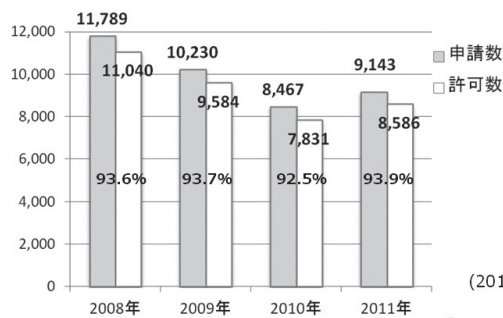
5. 日本における留学生の就職状況①

a. 卒業後の進路希望 (複数回答可)

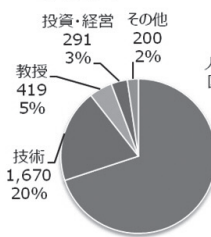
(日本学生支援機構2011年度私費外国人留学生生活実態調査)

区 分	日本において 進学希望	日本において 就職希望	出身国において 進学希望	出身国において 就職希望	日本・出身国 以外の国に おいて進学希望	日本・出身国 以外の国に おいて就職希望	まだ決めて いない	不明
人数 (人)	3,073	3,234	260	1,719	526	445	356	84
率 (%)	49.6	52.2	4.2	27.8	8.5	7.2	5.7	1.4
平成21年率(%)	44.6	56.9	3.6	28.5	10.3	7.6	7.1	2.0
平成19年率(%)	38.6	61.3	3.1	27.0	10.2	6.8	7.6	2.1

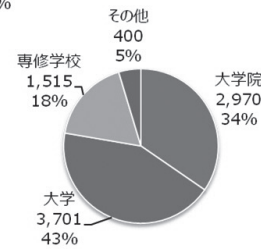
b. 「留学」から「就労」への申請、 許可数、許可率の推移



c. 就労の内訳



d. 日本での最終 学歴別内訳



(2012年法務省入国管理局広報資料より)



公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会

8

5. 日本における留学生の就職状況②

(単位: 人)

e. 業種別許可人員の推移 (留学→就労)

(2012年法務省入国管理局広報資料より)

業 種	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年 (構成比)	
電機	467	474	419	297	375	4.4%
機械	550	549	427	215	301	3.5%
食品	303	324	380	291	298	3.5%
化学	157	158	130	100	157	1.8%
運送機器 (自動車等)	294	308	256	100	135	1.6%
繊維・衣料	204	222	186	130	116	1.4%
金属・鉄鋼	72	72	53	31	38	0.4%
その他製造業	971	864	637	574	693	8.1%
製造業小計	3,018	2,971	2,488	1,738	2,113	24.6%
商業・貿易	2,145	2,379	2,248	2,091	2,288	26.6%
コンピュータ関連	1,510	1,659	1,252	651	757	8.8%
教育	655	700	705	802	703	8.2%
飲食業	109	207	183	324	454	5.3%
ホテル・旅館	170	221	188	178	200	2.3%
旅行業	280	260	248	201	188	2.2%
運輸	226	266	255	154	171	2.0%
土木・建設	238	251	223	173	170	2.0%
金融保険	292	377	308	107	129	1.5%
医療	7	38	52	83	71	0.8%
その他	1,612	1,711	1,434	1,329	1,342	15.6%
非製造業小計	7,244	8,069	7,096	6,093	6,473	75.4%
合 計	10,262	11,040	9,584	7,831	8,586	100.0%

9

5. 日本における留学生の就職状況③

f. 規模別許可人員の推移

(2012年法務省入国管理局広報資料より)

従業員数	年度	許可数（製造・非製造）（人）	
1～49人	2011	4,078	(717・3,361)
	2010	3,963	(706・3,257)
50～99人	2011	707	(249・458)
	2010	573	(177・396)
100～299人	2011	923	(317・606)
	2010	763	(244・519)
300～999人	2011	776	(267・509)
	2010	587	(210・377)
1000～1999人	2011	370	(124・246)
	2010	236	(72・164)
2000人～	2011	1,011	(427・584)
	2010	857	(307・550)
その他(不詳を含む)	2011	721	(12・709)
	2010	852	(22・830)
合 計	2011	8,586	(2,113・6,473)
	2010	7,831	(1,738・6,093)

10

6. 教育機関による支援①

支援例（１）工業系専門学校のキャリアサポート・プログラム



留学生オリエンテーション

学内の国際交流センター、学生課、キャリアサポートセンターが連携して留学生をサポート

高度人材養成講座

日本での就職を目標に IT (20時間)、ビジネス日本語 (20時間)、就職対策 (10時間) の3分野について集中的に学ぶ

日本と外国の考え方の違い、礼儀・マナーなどを確認

三者面談

学生、担任、キャリアサポートセンターの三者で進路について確認。

将来を考えて安易な離職を避けることを徹底

キャリアガイダンス

日本企業への就職活動に備え、就職に対する心構えや現状について確認

留学生のためのビザガイダンス

合同企業説明会

学内での企業説明会の際に企業様に向けてビザに関する説明会を同時開催

留学生の採用実績がない企業については、ビザに関する提出書類の説明を個別に実施

★留学生が学校で学んだ専門知識や技術を活かせる業務であるか

★きちんと賃金が支払われ、継続的な雇用が保証されるかなど



6. 教育機関による支援②-1

支援例（２）デザイン系専門学校の年間スケジュール①

実施 時期	行事名等					
	進路指導関係	対象	諸手続き・事務連絡	対象	学生間交流	対象
4月			留学生入学前オリエンテーション	新入生		
	留学生進路ガイダンス① 「就職・進路概要説明」	卒業年次生	第Ⅰ期ガイダンス	全学生		
					留学生懇親会	新1年生
			留学生学習奨励費募集	全留学生		
	外国人雇用サービスセンター登録会	卒業年次生				
5月			日本語能力試験願書販売期間	全留学生		
			留学生学習奨励費選考～推薦			
					留学生交流昼食会	学科指定
6月	留学生進路ガイダンス② 「留学生就職活動マナー講座」	卒業年次生				
			留学生個人面談	1年生		
7月	留学生進路ガイダンス③ 「履歴書対策講座」	卒業年次生				
	日本語会話講座	希望者及び 指定者				



公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会

12

6. 教育機関による支援②-2

支援例（２）デザイン系専門学校の年間スケジュール②

実施 時期	行事名等					
	進路指導関係	対象	諸手続き・事務連絡	対象	学生間交流	対象
9月			第Ⅱ期 ガイダンス	全学生		
			日本語能力試験願書販売期間	全留学生		
			留学生学習奨励費募集(追加)	全留学生		
10月	高度人材養成講座	全留学生				
					留学生交流昼食会	学科指定
11月						
12月	留学生進路ガイダンス④ 「留学生内定者座談会」	次年度 卒業予定者	第Ⅲ期 ガイダンス	全学生		
1月	「特定活動ビザ」説明会	卒業年次生				
2月	外国人雇用サービスセンター登録会	次年度 卒業予定者				
3月						



公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会

13

7. 協会の取り組み①

- 専修学校留学生総合支援プラン
 - 文部科学省委託事業（平成21年度～24年度）
 - 内容： 外国人留学生採用促進セミナー/就活講座
教職員対象研修会/アジア人材就職・転職説明会
- 留学生の生活指導等の業務委託
 - 東京都生活文化局（平成16年度～24年度）
 - 内容： 留学生に対する生活指導等講習会/教職員対象研修
留学生指導相談窓口/「日本留學生活の予備知識」
- 「留学生受け入れガイドブック」の発行
- 日本留學フェアの開催/「日本留學指南」の発行

7. 協会の取り組み②

- アジア人材就職・転職説明会
 - 第15回 2013年8月31日（土）10：30～16：30
東京ビッグサイト 西3ホール
 - 第16回 2014年3月 1日（土）10：30～16：30
東京ビッグサイト 西3ホール

ありがとうございました

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

TEL:03-3378-9601 FAX:03-3378-9625

URL:www.tsk.or.jp MAIL:info@tsk.or.jp

留学生総合支援/アジア人材就職・転職説明会HP: asiajobfair.net

留学生総合支援Facebook: www.facebook.com/rshien



公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会

16

外国人留学生採用時のビザ手続き方法 雇用に関する留意点



2013年11月19日 行政書士 桑田 優

韓流アイドル入国拒否事件 (写真と本文とは関係ありません)



2011年8月、韓流アイドルグループ「B某」が、イベント参加のため来日した際、羽田空港で入国を拒否された。
→「興行ビザ」を取得していなかったことが原因

テーマ①：リスクマネジメントとしての就労ビザ

問題点

「外国人を採用するときには、就労ビザが必要」
 「内定が決まっても、就労ビザが許可されとは限らない」

問題の解決に向けて

入管（入管法）の考え方と、ビザ申請手続きについて知る

望ましい結果（目標）

- 不許可のリスクを減らすこと。
- 外国人留学生の採用を促進すること。

就労ビザに関する「国の方針」＝入管の考え方1

○日本に滞在する外国人は（滞在中の）活動に見合ったビザの許可を受けなければならない。

具体例：①観光（短期滞在）ビザでは働くことができない。
 ②留学生が大学や専門学校卒業後、留学ビザの期間が残っていても、留学ビザのままでは（たとえアルバイトが可能な「資格外活動許可」を持っていたとしても）社員として勤務させることはできない。

→就労に関するビザには、どのようなものがあるか（次頁）

日本で就労するためのビザ

ビザの種類	業務(国内での活動)	対象とする外国人
人文知識・国際業務	通訳、デザイン、国際取引、人事、経理、マーケティング等、人文系の専門業務	留学生も対象
技術	機械、IT技術、設計等自然科学系の専門業務	留学生も対象
研究	企業での研究職	留学生も対象→修士または「学士・高度専門士プラス研究経験3年」
技能	調理師、宝石加工、外国製品の製造・修理等	外国から直接人材を招く
技能実習	製造業・農林水産業等の技術習得のための活動	業界団体(組合)が直接招く

就労ビザに関する「国の方針」＝入管の考え方2

○単純労働者は受け入れない。

→言い換えると、専門業務を行う外国人人材に、就労ビザを許可する。

*それでは、就労ビザに関し、入管では「許可する場合」と「許可しない場合」を、どのように区別するか

「本人の条件」及び「会社の条件」を、それぞれ満たすことが必要。

在留資格「人文知識・国際業務」における「本人の条件」＝どれか1つ

- 専門学校を卒業し専門士である者が、専門的に勉強した事に関連した専門業務を行うこと
- 通訳翻訳・語学指導業務の場合、日本か本国で大学を卒業し、学位があること
- 人文・社会科学分野の専門業務の場合、日本か本国で関連分野を専攻して大学を卒業し、学位があること
- 本国で、専門業務10年以上の経験
- 貿易実務・通訳・デザインなど、「外国人ならではの」業務の場合、専門業務3年以上の経験

在留資格「技術」における「本人の条件」＝どれか1つ

- 専門学校を卒業し「専門士」である者が、専門的に勉強した事に関連した専門業務を行うこと
- 日本か本国の大学で、関連の専門分野(技術系)を専攻して卒業し、学位があること
- 本国で、専門業務10年以上の経験
- IT関連業務につき、日本または指定された国の指定された国家試験に合格していること

留学生採用時に関する留意点＝ 「会社の条件」をすべて満たすこと

- 専門的な業務に従事させること
- 安定した雇用であること
 - (1)継続的な雇用契約を締結すること
- 「採用後に配属を決定」の場合：入管での審査時に「どのような専門業務を行うか、そもそも専門業務を行うかどうか」が不明。（なお、社内研修については別に解説します。）
- 「試用期間」（期間満了後に採否を決定）の場合：安定・継続性が無いとみなされる可能性がある。
 - (2)事業所が確保されていること
 - (3)日本人社員と同等の給与を払うこと

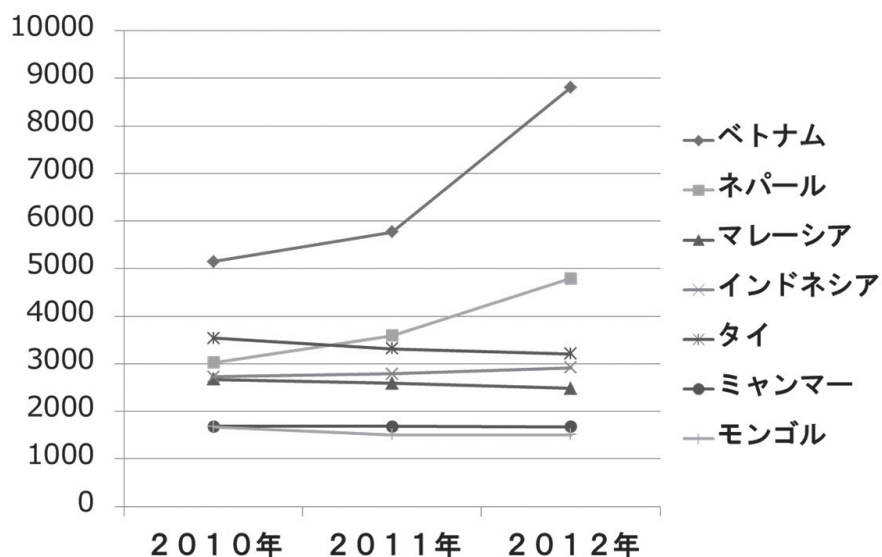
留学生をめぐる話題： 出身国別留学生数（全国／2012年5月）

- 受け入れ留学生の傾向～専門学校と大学
- 中国の「次」としての、東南アジア・モンゴル

国名・地域名	「留学」在籍数	国名・地域名	「留学」在籍数
中国	86,324	インドネシア	2,276
韓国	16,651	タイ	2,167
台湾	4,617	アメリカ	2,133
ベトナム	4,373	ミャンマー	1,151
ネパール	2,451	モンゴル	1,114
マレーシア	2,319	インド	541

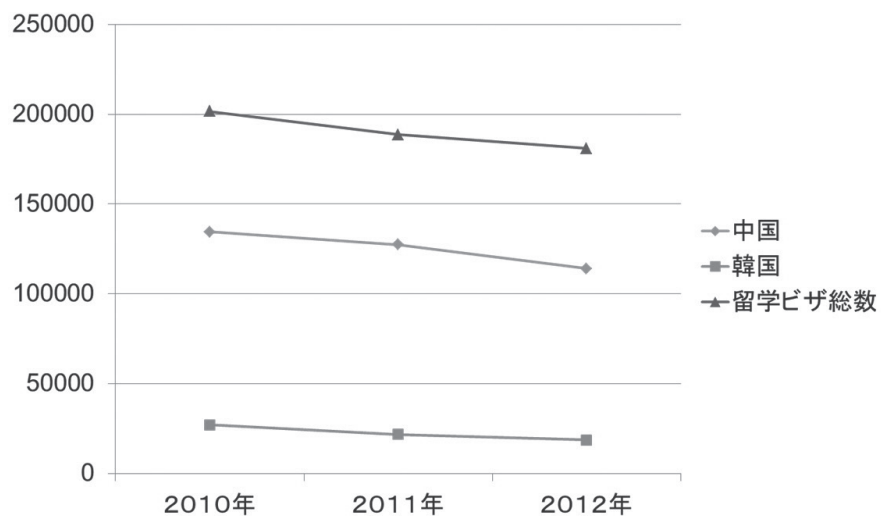
外国人留学生採用時のビザ手続き方法 雇用に関する留意点

アジア各国からの留学生数の傾向（１）



外国人留学生採用時のビザ手続き方法 雇用に関する留意点

アジア各国からの留学生数の傾向（２）



入管法改正：在留カード制度と住民登録制度

- ◎「3か月より長い期間のビザ」を許可されて日本に長期滞在する外国人には、在留カードが交付される。
- *すでに留学ビザ・就労ビザ等で長期滞在している者（中長期在留者）の場合、在留期間更新申請・許可時に在留カード交付を申請する。
- *現在持っている「外国人登録証」は、ビザの期限（または最長で平成27年7月8日）まで「在留カード」とみなされるので急いで交換する必要はない。
- ◎外国人登録制度は廃止され、外国人住民も住民登録制度の対象となった。（住民票が発行される）
- *転居の場合は、現住所の市役所に転出届、移転先の市役所に転入届と、両方出す必要がある。

法改正によるメリットと規制強化

メリット＝「みなし再入国許可」

- 就労ビザを持っている外国人が一時帰国・海外出張をするときは、**就労ビザの残りの期間内で、かつ1年以内であれば、入管での事前の再入国許可申請が不要となった。**
- （平成24年7月9日以降ビザの更新をしていない場合の）外国人登録証のままでも、同様の取り扱い。

規制の強化＝退職時の（本人による）届出義務

- 就労ビザの場合に勤務先を退職したり、契約の終了があった場合は、**14日以内に「所属機関の変更」を入国管理局あて届け出る必要がある。**

テーマ② 雇用に関する留意点：企業側の対応 (1)

○「在留カード」(または外国人登録証)で、現在のビザの種類及びビザの期限を確認する。(→表と裏を確認)

＊平成24年7月9日改正入管法施行後は、ビザの更新・変更を受けても、パスポートにビザのシールを貼らない取り扱い。

＊日本で専門学校・大学を卒業した留学生が、引き続き日本国内で就職活動を行う場合、就職活動のための「特定活動」ビザが許可される。この場合就労ビザへの変更可能。

＊専門学校卒業生・日本語学校卒業生でも、本国で大学を卒業していれば、「本人の条件」を満たす場合がある。

＊日本の専門学校卒業生で、専門士称号を持っている元留学生は、いったん帰国後でも就労ビザの許可を取得しうる。

○留学生の在学状況を確認する。

企業側の対応 (2) 申請手続き

1, 申請の種類に応じた、申請書の用紙を準備。

＊留学生の場合、日本にいたまま入管に申請することになるので「在留資格変更申請」用の申請用紙を使う。

2, 申請書に会社(原則として代表取締役)の記名押印が必要。

3, 「いつ申請するか」の問題

＊採用内定が決まっていれば、変更申請することは可能。

＊留学ビザの期限が4月以降まで残っていても、入社時点で就労ビザの許可をもらうことが必要。

＊許可までの期間＝「1か月」または「2か月」

「在留資格変更許可申請」のページ（URL後掲）

The screenshot shows the official website for applying for a change of status of residence. The page is in Japanese and contains the following information:

- 手続対象者** (Applicants): Individuals with a current status of residence who wish to change it to a different status.
- 提出時期** (Submission Period): Applications must be submitted before the current status of residence expires.
- 提出方法** (Submission Method): Applications must be submitted on a prescribed form to the local immigration office.
- 提出者** (Applicant): The applicant must be a foreigner currently residing in Japan. The application can be submitted by the applicant themselves or a designated agent (e.g., a lawyer or a company representative).
- 手数料** (Fee): The fee is 4,000 yen (including consumption tax).
- 必要書類・部数** (Required Documents): The application form and a recent photograph.
- 申請書様式** (Application Form): Form No. 1, 'Application for Change of Status of Residence'.

On the right side of the page, there is a list of links for various immigration procedures, including 'Application for Permanent Resident Status', 'Application for Permanent Resident Card', 'Application for Permanent Resident Certificate', etc.

企業側の対応（３）許可後の取り扱い

○職業安定所に「外国人雇用状況の届出」をする。
雇用保険の「被保険者資格の取得届」の用紙の備考欄に「国籍・在留資格・在留期限」を記載すれば足りる。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/index.html>

○外国人労働者の雇用労務責任者の選任

→常時10人以上雇用する場合、人事課長等を雇用労務責任者として選任。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/01.html>

外国人留学生採用時のビザ手続き方法 雇用に関する留意点

参考サイト

○入国管理局(法令・管轄など)

<http://www.immi-moj.go.jp/index2.html>

○申請書等のダウンロード: 在留資格変更申請の場合

<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2.html>

○新しい在留管理制度(在留カードの説明)

http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/index.html

○厚労省「外国人雇用状況の届出」: このページの「届出の方法について→届出事項の様式について」をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/gaikokujin-koyou/>

○IT技術者に関する、資格試験一覧

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyukan_hourei_h09.html

○労働政策研究・研修機構「企業における高度外国人材の受入れと活用に関する調査」

<http://www.jil.go.jp/institute/research/2013/110.htm>

外国人留学生採用時のビザ手続き方法 雇用に関する留意点

ご清聴ありがとうございました。



行政書士 桑田 優(くわたまさる) kuwataoffice@nifty.com

1964年生まれ、1999年クワタオフィス(行政書士桑田優事務所)開設

主要著作「Q&A外国人をめぐる法律相談」(新日本法規出版、共著)

所属学会等 JAFSA国際教育交流協議会・日本成年後見法学会

TEL 03-3344-0177 <http://jklive.tea-nifty.com/>

(5) 留学生採用企業就職説明会実施・後援

1. 合同企業説明会 (OSAKA ジョブフェア)

専修学校留学生就職アシスト事業 事業報告書 (合同企業説明会)

平成 25 年度文部科学省委託事業
専修学校留学生就職アシスト事業
事業報告書
(合同企業説明会)

【主催】一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

【事業運営事務局】一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会

【協力】一般財団法人大阪労働協会
大阪商工会議所

1. 事業実施概要

一般財団法人大阪労働協会（以下、大阪労働協会）主催・運営にて、公共事業横断型の大規模なイベントである合同企業説明会「OSAKA ジョブフェア」を開催した。多数の事業が連携することで、多くの企業と求職者が出会える場を創出し、“そこにに行けば就職（採用）できる”をコンセプトに、オール大阪で取り組むことが可能となるものである。

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（以下、大専各）はこのイベントに協賛し、専門学校留学生への参加を促進した。

具体的にはインターンシップ事業で留学生受入を実施していただいた企業等のブースを確保し、また日本での就職を考える留学生が再度進学を検討する際、その進学先として専門学校を案内できるよう大専各ブースを設置した。

昨年度は受付スペースと合同企業説明会会場が同フロアであり、会場内が混雑したため、今年度は混雑緩和を図るために対象者ごとに開催フロアを分けて実施した。

さらに、来場者特典として、「求職者と企業の相性が分かる特性診断」等の配布を行った。

2. 実施日程・会場

平成 25 年 12 月 3 日（火）12:00～18:00 マイドームおおさか 2 階

※OSAKA ジョブフェアとしては 12 月 3 日（火）・4 日（水）と 2 日間構成であったが、外国人留学生のみを対象にした合同企業説明会としては、3 日（火）のみ。

3. 対象者

2014 年・2015 年卒業予定の外国人留学生

一般外国人

4. 広報

【出展企業募集】

- ① 下記の参加企業募集用チラシを用いて、大阪労働協会が過去に実施したイベントにご参加いただいた企業などに DM を発送。
- ② OSAKA ジョブフェア実施運営にご参画いただいた各連携機関と取引のある企業へのご案内。
- ③ 大阪労働協会のメルマガ配信。



←OSAKA ジョブフェア・出展企業募集広報用チラシ

【留学生広報】

- ①大阪事業分科会の先生方が所属されている学校及び大専各事務局から各会員校へのご案内。
- ②大阪労働協会が保有している学校リストの掲載校に発送。
- ③今年度、大阪労働協会が実施したイベントやセミナーに参加している留学生へメルマガ配信。
- ④OSAKA ジョブフェア当日までに実施したイベントやセミナーにて、チラシを配布。
- ⑤公共交通機関の中吊り広告・駅貼り広告で広報用ポスターを掲出。
- ⑥就職サイトへの広告掲載。
- ⑦大阪マラソン EXPO でのブース出展。

※大阪マラソン EXPO は、大阪マラソンに参加されるランナーの受付と同時に開催され、ランナー以外の人も多数来場されるイベント。

↓ OSAKA ジョブフェア・広報用チラシ

↓ 表面

↓ 裏面



← ↑ 公共交通機関の中吊り広告・駅貼り広告



←大阪マラソン EXPO のブース

■ OSAKA ジョブフェア専用 Web サイト

今年度は、大阪労働協会の協力によって、イベント全体により多くの企業、求職者への参加を促すため、OSAKA ジョブフェア専用 Web サイトを作成し、出展のお申し込みや来場予約をスムーズに行えるようにした。

←OSAKA ジョブフェア専用 Web サイトの
サンプル画面

5. 実績

12月3日「外国人留学生のための合同企業説明会」

参加企業：59社（出展企業59ブース、相談・各機関PRコーナー16ブース）

来場者：713名

（内訳 大学・大学院生 545名、専門学校留学生 107名、その他 61名他）

（参考）OSAKA ジョブフェア 2日間の実績

イベント名	参加企業数 （単位：社）	来場者数 （単位：人）
12月3日新卒対象	124	964
12月3日留学生対象	59	713
12月4日新卒対象	117	834
12月4日若年者対象	90	1,040
計	390	3,551



↑当日の1階の様子

今年度は、マイドームおおさか1階～3階を使用し、1階は受付専用フロアとして、動線を確保し、多数の来場者の受入を可能とした。



↑当日の2階（外国人留学生のための合同企業説明会）の様子

6. 出展企業一覧

出展企業一覧

12月3日外国人留学生のための合同企業説明会

(50音順)

	企業名	業種	募集職種	募集対象					ブース 番号	頁
				2015年 新卒	2014年 新卒	3年未満 経年者	一般	学歴不問		
ア	IOEC株式会社	製造業	①営業系 ②管理系 ③研究・技術・設計・開発系	●					8	47
	池林洋行株式会社	その他	営業系	●	●	●	●		20	49
	エバオン株式会社	卸売業・小売業	営業系		●	●	●		31	51
	株式会社エミー	卸売業・小売業	営業系	●	●	●	●		51	54
	オーウル株式会社	卸売業・小売業	総合職(営業・技術・スタッフ)	●					29	50
	大阪精工株式会社	製造業	技術職(技術サービス、生産技術、設備保全)	●					45	53
	株式会社大谷悦通商店	卸売業・小売業	オフィスワーク・事務系		●	●	●		57	55
	オーツケミカル株式会社	製造業	製造・現場系	●	●	●	●		42	52
カ	株式会社岡崎金型工作所	製造業	製造・現場系	●	●	●	●		40	52
	カナテック株式会社	運輸業・郵便業	IT技術関連系	●	●	●	●		22	49
	駿西国際学園	教育	①教員・英語講師 ②語学教師	●	●	●	●		58	55
	株式会社きらく	宿泊業・ 飲食サービス業	店舗運営管理責任者		●	●	●	●	30	50
	ケイ・イー・シー株式会社	教育・学習支援業	事務系	●					47	53
	小泉製麻株式会社	製造業	オフィスワーク・事務系		●	●	●		9	47
	株式会社国際通信社	その他	出版・教育・コンサル・派遣・IT・福祉・ 介護・医療	●	●	●	●	●	26	50
	五大産業株式会社	製造業・運輸業・郵便業	オフィスワーク・事務系	●	●	●	●	●	25	50
サ	株式会社コメリ	卸売業・小売業	総合職	●	●	●			52	54
	株式会社コンサス	製造業	製造・現場系	●	●	●			46	53
	サラヤ株式会社	製造業	①通訳業務 ②営業系		●	●	●	●	44	53
	三陽工業株式会社	製造業	営業系	●					17	48
	CSi Global Alliance 株式会社	情報通信業	IT技術関連系	●	●	●	●	●	32	51
	シャープ化学工業株式会社	製造業	①営業系 ②製造・現場系 ③研究・技術・設計・開発系	●	●	●			36	51
	株式会社東京コンサルティングファーム	その他	財務コンサルティング	●	●	●	●		50	54
	スペース・ソルバ株式会社	情報通信業	IT技術関連系		●	●	●	●	38	52
タ	株式会社seiwa	サービス業	IT技術関連系	●	●	●	●	●	35	51
	センコー株式会社	運輸業・郵便業	総合職(倉庫運営、営業、国際、海運・通運、 コーポレートスタッフなど)	●					41	52
	株式会社千隆	宿泊業・ 飲食サービス業	フード・調理系		●	●	●	●	34	51
	大衛株式会社	製造業	①営業系②貿易業務		●	●			7	47
	株式会社ダイサン	サービス業	技能実習生管理業務	●	●	●	●		16	48
	株式会社ダイフク	製造業	研究・技術・設計・開発系	●					37	52
	株式会社タカ・ダンスファッション	卸売業・小売業	①営業系 ②製作系	●	●	●	●		18	48

※募集対象の詳細は、企業情報ページをご確認下さい。

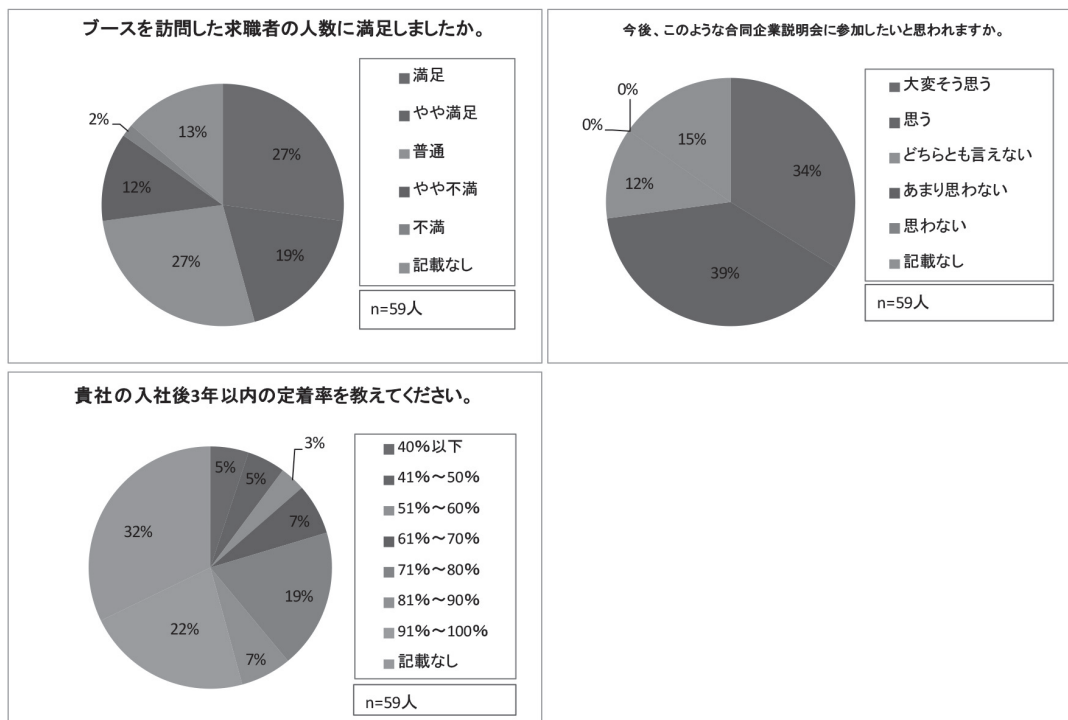
12月3日の外国人留学生のための合同企業説明会

(50音順)

	企業名	業種	募集職種	募集対象					ブース 番号	頁
				2015年 前半	2014年 前半	3年未満 卒業者	一般	学歴不問		
	中外炉工業株式会社	製造業	①営業系 ②研究・技術・設計開発系	●			●		48	53
	テレコムサービス株式会社関西支店	情報通信業	販売・サービス系		●	●			27	50
	東邦化成株式会社	製造業	①営業系②研究・技術・設計・開発系	●		●			49	54
	東洋紡株式会社	製造業	研究・技術、営業・スタッフ	●	●				14	48
	特殊車輛整備工業株式会社	卸売業・小売業	製造・現場系	●	●	●	●		24	49
	巴バルブ株式会社	製造業	①研究・技術・設計・開発系 ②その他：海外関連業務	●					59	55
ナ	株式会社NICO	複合サービス業	総合コンサルタント職	●	●	●	●		12	47
	株式会社ネオス	製造業	①研究・技術・設計・開発系②営業系	●					10	47
ハ	株式会社バリュープランニング	卸売業・小売業	①マーケティング部 ②マーチャンダイジング部(生産・仕入課)	●					28	50
	株式会社阪急阪神百貨店	卸売業・小売業	総合職	●	●	●			15	48
	Hitz日立造船株式会社	製造業	①技術系職種②事務系職種	●	●	●			13	48
	富士テクノ工業株式会社	製造業	営業系	●	●	●			2	46
	プロアクションコンサルティング株式会社	サービス業	SAP導入コンサルタント、 オープン・WEB系エンジニア		●	●		●	3	46
	フロンティア総合国際法務事務所	サービス業	オフィスワーク・事務系	●	●	●	●		43	53
	扶和メタル株式会社	製造業	営業系	●	●				39	52
	株式会社ベストライフ	サービス業	販売・サービス系	●	●	●	●		4	46
マ	株式会社マーケットデザイン	サービス業	営業系	●	●	●	●		33	51
	正気屋製菓株式会社	卸売業・小売業	①セールスサポーター(事務) ②営業系 ③出荷手配・電話受付		●	●	●		11	47
	株式会社マスタック	製造業	研究・技術・設計・開発系		●				53	54
	株式会社ミルバ	卸売業・小売業	販売・サービス系		●		●	●	19	49
	モラブ阪神工業株式会社	サービス業	研究・技術・設計・開発系、IT技術関連系	●	●	●	●		6	46
	モリト株式会社	卸売業・小売業	営業系	●	●	●			23	49
ヤ	有限会社さざなみ	医療・福祉	医療・福祉系、マネジメント	●	●	●	●	●	21	49
	豫洲短板産業株式会社	卸売業・小売業	オフィスワーク・事務系、営業系		●	●	●	●	5	46
ラ	株式会社リアルエステート大阪	不動産業・物品賃貸業	営業系	●	●	●	●		54	54
	株式会社理想実業	宿泊業・ 飲食サービス業	販売・サービス系	●	●	●	●	●	1	46
	株式会社リネックス・サンシン	卸売業・小売業	営業および貿易業務	●	●	●			55	55
ワ	株式会社ワールドインテック	学術研究・ 専門技術サービス	研究・技術・設計・開発系		●	●	●		56	55

※募集対象の詳細は、企業情報ページをご確認ください。

7. アンケート



Q. 今後の合同企業説明会の開催にあたり、お気づきの点やご要望などありましたら、自由に記述してください。

- ・このような回をもっと多くしてほしい。
- ・非常に多くが来ておられ活気があり、今までの合同説明会の中で一番良かった。
- ・多くの応募があり嬉しく思います。ありがとうございました。
- ・楽しかったです。今後も開催がございましたらお知らせください。いろいろな国の方がおられ、日本語が上手な方が多かったです。
- ・6時間というのは少し長いかなと思った。
- ・中央で行われていた、セミナーのマイクの音量が大きすぎ、留学生の質問などが聞き取りにくいことがあったのが、気になりました。
- ・企業訪問に国籍の欄があると良いと思います。

8. その他



←スポンサーボード

OSAKA ジョブフェアの主催・共催・協賛・協力に名を連ねる各機関のロゴを並べたスポンサーボードを制作。

9. 事業実施についてのまとめ

この OSAKA ジョブフェアの初年度開催時は企業が学生に提示する募集対象の記載において、専修学校生の表記がほぼない状態であった。そのような状況の中で、大専各は各企業ブースを訪問し、なぜ専修学校の留学生は対象でないか等のヒアリングを実施した。その結果、ほとんどの人事担当者が専門学校に留学生が在籍していることを知らない、ということが分かった。また、実施運営の多くを担う大阪労働協会においても当初は同じであった。

このような大規模なイベントに協賛することによって、出展企業はもとより、他の協賛機関に対しても専修学校の留学生採用の理解を促進することとなり、留学生の就職支援事業において、募集対象に専修学校留学生の記載がほぼ定着することにつながった。

公共事業横断型の大規模なイベントである OSAKA ジョブフェアに協賛することにより得られる最大の成果は、留学生採用の意思がある企業や支援を実施する機関に、専修学校に在籍する留学生について周知できることにあると言える。

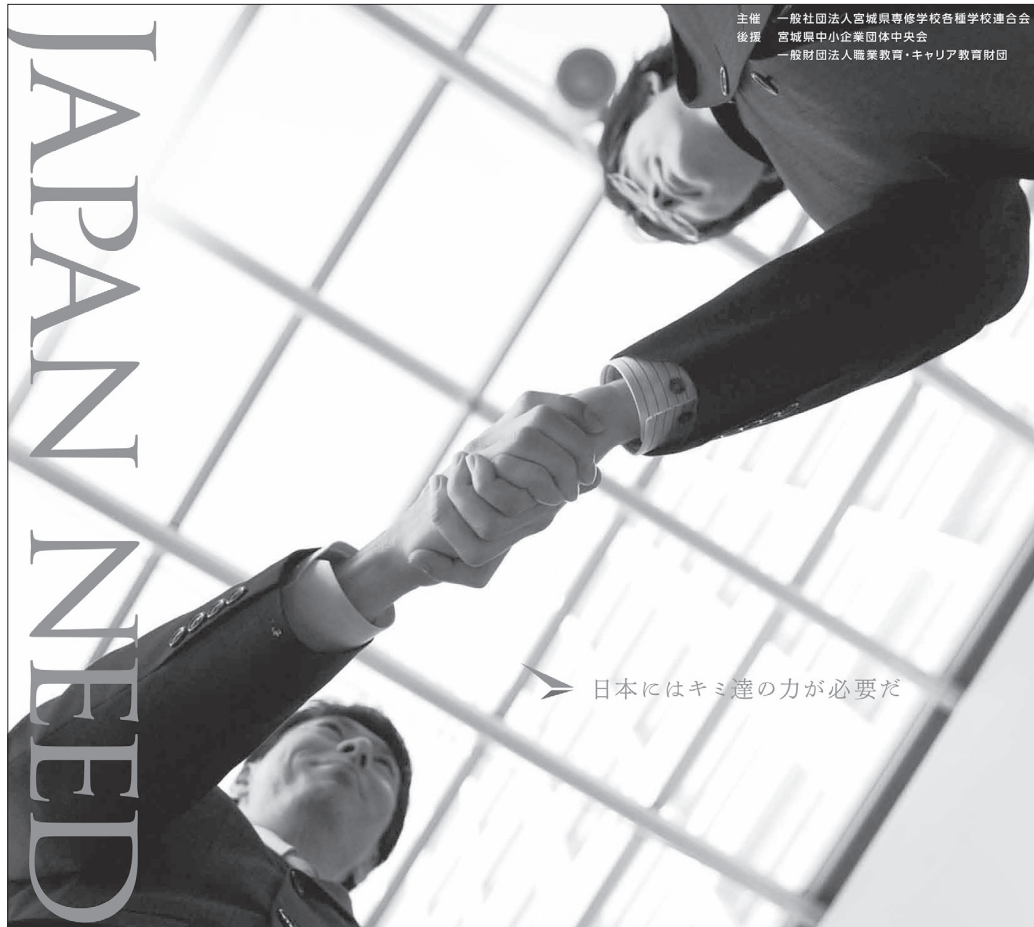
ただ、当日設置した大専各ブースにおいて、企業の募集職種の記載が理解しがたく、自分が対象となるか否か判断しづらいという専門学校留学生からの意見があった。

学んだ内容と就業内容が直結する専門学校留学生にとってはこの事業に参加するかどうかを判断する材料になるため、今後の課題となった。

2. 留学生企業説明会（仙台会場）への後援

平成26年1月22日に仙台市・ハーネル仙台を会場として、一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会の主催により開催（留学生約100人出席、参加企業8社）。

本財団は後援として、宮城県の周辺地域である青森県、秋田県、岩手県、山形県、福島県、茨城県、栃木県に所在する大学・専門学校・日本語教育機関等約120校に留学生企業説明会（仙台会場）開催告知ポスター・チラシを作成して送付した。



主催 一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
後援 宮城県中小企業団体中央会
一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

➤ 日本にはキミ達の力が必要だ

➤ ACCESS 【仙台会場】
ハーネル仙台 4F 青葉の間
仙台市青葉区本町2-12-7

外国人留学生のための
企業就職説明会

2014 1.22 水

時間 13:30～15:30

予約不要
入退場自由
参加費無料

対象 日本国内または母国での就職を希望する外国人留学生
希望する職種：飲食、製造、貿易、サービス、その他（建築・音楽など）

参加企業 約10社予定 来年度採用予定、数年以内に採用予定、今後採用を検討などの企業

実施形式 参加企業の短い企業紹介スピーチを行い、終了後各ブースで採用企業担当者と留学生が直接面談する形式

➤ INFORMATION 【お問い合わせ】 <http://www.miyasen.jp/>

一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-14-27 KAKIN Bld 4F
TEL 022-211-7157 FAX 022-211-6107

(6) 事業成果の普及

1. 成果報告会の開催

専修学校留学生就職アシスト事業成果報告会 タイムテーブル

◆専修学校留学生就職アシスト事業成果報告会◆

タイムテーブル

【開催日時】平成26年3月4日（火） 14:00～16:00

【会 場】アルカディア市ヶ谷 6階「阿蘇・東」

時 間	内 容 ・ 講 師（敬称略）
13:30	（受 付）
14:00	開会あいさつ
14:10～ 14:50	専修学校留学生就職アシスト事業 「専門学校留学生の就職支援と情報提供ネットワークの構築」報告 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 事務局
15:00～ 15:45	専門学校留学生の就職促進と就職アシスト事業について （パネルディスカッション） 武田 哲一 東京外語専門学校 理事長・学校長 長谷川 恵一 エール学園 理事長・学校長 平野 公美子 日本外国語専門学校 理事・事務局長
15:45～ 16:00	質疑応答 閉 会

● 参加者

専門学校関係者28名

● パネルディスカッション

「専門学校留学生の就職促進と就職アシスト事業について

～本年度の事業を顧みて、また来年度以降の課題について～」から

- 平野：情報提供事業分科会として、専門学校パンフレットを作成するに当たり、①日本の専門学校の教育の質を対外的にアピールしたい、②留学生に対して日本社会の特質である価値観・環境・文化などの情報を伝えたい、③留学生にとって重要である奨学金・アルバイトなど生活支援情報などについて伝えたい、④出口の問題として、留学した後、就職へのキャリアパスとして、専門学校は何ができて、何を目指していくのかを伝えたい、と考えた。留学生は国を選んで留学しており、国際競争の中で日本の教育をアピールしていく必要がある。専門学校は学生募集があり、その後に教育があって出口としての就職がある。その循環の中で専門学校は活動しており、最初の入り口である学生募集がうまくいかなければ学校は成り立たない。そのための方策として、日本の専門学校の国際的な認知度を如何に高めてゆくのか、ということが重要になる。特に、専門学校の場合は多様性があり、専門性が高く、出口である就職も安定している。また、日本の社会としては、住み心地が良く、フレンドリーな国民性で、治安も安定している。このような要素を盛り込もうと議論してパンフレット作りが始まった。

初めて専門学校に関する多言語の冊子ができたということは、画期的なことであり、また各言語ごとに専門学校留学生の在学・卒業生のコメントも掲載されており、各国の高校生等にとっては、未来の自分が想像できる重要な要素になると思う。将来的にはこの冊子を、各国の日本語教育機関に浸透できたら良いと考えている。

今後の課題としては、まず、産学官の連携が絶対に必要な条件である。専門学校にとって主管は文部科学省であるが、分野によっては関係省庁とも連携して日本における留学生の就労の問題解決に関与してもらう必要がある。さらに、少し先の話になるが、アメリカの例では、留学生は卒業後にプラクティカルビザが与えられ、一定の期間働くことができるシステムとなっている。日本でもその制度が認められると、留学生にとっては大きなメリットが生まれることになる。また、今回の専門学校パンフレットの表紙に、文部科学省の指示により専門学校を「PROFESSIONAL TRAINING COLLEGE」と表示している。この英文表示はこのまま固定されるのではなく、例えばイギリスでは専門学校を「PROFESSIONAL TRAINING AND HIGHER EDUCATION」と表示している。また、オーストラリアでは「COLLEGE FOR PROFESSIONAL TRAINING AND HIGHER EDUCATION」という表示となっている。若し可能であるならば、次回パンフレットの内容を改定するとき、文部科学省において専門学校の英文表示について「HIGHER EDUCATION」を考慮してくれると、留学生にとってより一層魅力的な学校となるので検討いただけるようお願いしたい。

-
- 武田：調査事業分科会として、専門学校と企業に対して留学生の就職・採用・インターンシップを共通項として調査を実施したが、改めて双方に温度差があることが理解できた。次年度以降、この差を埋めることが課題となってくる。企業においては、留学生の特性を活かそうというよりも、日本人学生と比較して優秀な人材を確保したいという意識が強い。大学であればそれでも構わないかもしれないが、専門学校の場合は専門性を売り物にしているので、専門性を持った留学生を売り込む手段を講じないといけませんが、留学生を就職にむすびつける努力が専門学校はまだ不足していると思う。

もう一つの重要な点は、本年度の専門学校留学生数が大きく減少した点である。なぜ、このように減少したのか原因を調べないといけないが、ひとつには、日本語教育機関の学生数が減少しており、その影響が出たと思う。日本語教育機関の今年の学生数は東日本大震災以前の数に復調しており、来年の専門学校留学生数は今年よりも上向くのではないかと考えている。また、受入れ国にしては、ベトナムだけが増えていて、他はいずれも減少している。これは今後の専門学校留学生受け入れに大きな問題となることで、いずれにしても、来年度の調査の内容もしっかりと見守る必要がある。

研修・説明会事業分科会として、企業にも研修会参加を呼び掛けてもまだ参加企業は少ないし、研修会講師を依頼しても進んで受けてくれる企業は少なく、まだ専門学校の努力が足りないと感じている。

今後の課題として、これからの日本社会において人材不足は明白になるので、留学生の採用に際しては、大学に負けず、専門学校留学生の特性を、企業により理解してもらえようような施策を進めたいと考えている。また、本財団は全国団体であるが、文科省の委託事業である「専修学校留学生就職アシスト事業」として、大阪、宮城、福岡の協会でも事業が行われている。実施委員会委員として加わってもらっているが、情報の集約が不十分であり、来年度以降の課題であると認識している。

- 長谷川：大阪事業分科会として、インターンシップ事業と合同企業説明会を実施した。内容は成果報告書に掲載している。今後の課題として、今回全国団体として専門学校についてのパンフレットとチラシを作った意義は大きいと考えている。大阪府の協会としても学校としても、海外で活動する場合、在外大使館等が専門学校に対する理解がないことに歯がゆさを感じていた。この資料ができて、日本の専門学校にはこれだけの留学生がいて、就職できているということに対して、理解が進むのではないかと感じている。今後の課題としては、この資料を有効な箇所配布して、これを定着させるフォロー活動と、資料を渡すだけでなく、本当に専門学校を理解してもらう具体的な施策が必要になる。

- 武田：現在、国費留学生の選考委員を務めているが、国費留学生は在外公館が選考しており、そのなかで専門学校の特性を理解していない選考結果が多く見られる。このようなツールを使って、在外公館や、特に近年増加しているアセアン地域からの国費留学生に対し、専門学校に対する認知度と理解度を高めてゆく必要があると認識している。

- 平野：全国団体として、日本の専門学校を海外に売り込んでいく意義は大きいと思う。その位置付けと意義を確認して、一步一步階段を上っていく必要がある。多言語にこだわったのは、現地の言葉でないと伝わらないことが多くあるからである。これから進捗状況が大きく高まることが期待できるのではないかと考える。日本全体の募集活動となるので、総力を挙げて専門学校全体の質を大いに高めるとともに、専門学校の国際通用性を高める位置付けを目指す活動を行いたい。
また、国費留学生については、ほとんどが大学生、しかも国公立大学が多いのかなという印象がある。ただ、最近の留学生の入学経路は傾向が変わってきており、現地の大学等を卒業したうえで日本の専門技術を学びたいという学生が増えている。そのような学生も国費留学生の対象に加えてほしい。オーストラリアの例を見ると、大学を卒業してそのまま就職するのではなく、現地の専門学校で学んで専門性を高めて就職している例が多いと聞いている。特にアジア諸国から優秀な留学生を集めるために、高校を出ても、大学・大学院を出ていても、日本には専門性の高い多様な専門学校という進路があるということが高く評価されるよう、活動を進めたい。
- 長谷川：大阪府専各連合会としてベトナムの日本語学校と連携している。その日本語学校は、これまで国公立大学留学を目指す教育のみを行ってきたが、日本はこれまで幅広い中堅技術者・中堅管理者を養成してきたから経済成長を実現したのだろうと考え、ベトナムも今後同じ方向を目指すのだということで、専門学校に話を持ってきた。特に、アジア諸国ではこれから、専門学校が活躍しなくてはならないと考えている。現在、大阪ではその日本語学校と連携して人材育成システムを開発しようとしている。まず、現地の日本語学校で1年ぐらい日本語教育を行い、その後日本の日本語学校で1年ぐらい日本語能力をブラッシュアップして、専門学校に入学する。そこで2年間の専門教育をした後、日系企業に就職する。そこで何年間か働いた後、ベトナムの日系企業に戻って働き、最終的にその関連企業として独立させるという、人材育成システムである。現在、大阪の協会として、この提案を応援しようとして協議している。これは大阪だけではなく、全国各地の専門学校にも適用できるのではないかと思います。思い事例報告を述べた。
- 武田：今の話にもあるとおり、これまでの中国、韓国、台湾からの留学生に代わり、東南アジアからの留学生が大きく増えている。その必要とされる教育レベルは、あまり大学レベルとはマッチングしていない。東南アジアの経済レベルはまだ発展途上であり、求められる即戦力となる中堅技術者のレベルは日本でいうと専門学校レベルではないかという印象である。これから留学生の就職アシストを推進していく上では、これまでのようにはいかない点が出てくる。中国、韓国の方は日本語が上手であるから、日本語能力の向上を含めて専門学校の留学生に対する教育をもう一度見直す時期となっている。次年度の検討課題であると考えている。

-
- 平野：受入れ国が変わると、これまで教えていた教授法が根幹から変わるということになる。新しい国から来た留学生には、どのような教授法が相応しいのか。それは日本語学校だけではなく、専門学校も同じことを検討する必要がある。機会があり、先日香港に行ってきた。香港には中国人の学生が多く来ているが、英語で授業を行い、同時に副担任が中国語に訳していた。ダブルランゲージで授業をしており、日本においてもそういう時代かもしれないという一面を見てきた。
- 武田：最後に、専門学校留学生の就職アシスト事業として様々な活動を行ってきたが、大きな問題としてビザの問題がある。専門学校にとっては大変に大きな問題で、分野によっては留学生は日本での就労が認められていない分野もある。これの突破口として、2月14日に農林水産省から、調理師養成の専門学校の留学生が卒業後の2年間に限り、和食店で「特定活動」として就労できる制度が創設された。日本の若年人口が減少していく中、専門学校留学生の日本での就労を推進していくことが、今後の課題となる。その中で和食の調理師留学生には特定活動ビザが新たに認められた。専門学校において全ての分野で、留学生の就労が認められるということは大きな課題であると考えている。この課題が解決すると、現実的に専門学校に入学する留学生も増えてくるという好循環の結果となる。
- もう一つは、これまでは留学生を日本に受入れようという話であったが、これは日本人学生を海外へ送り出そうという話である。「新たな海外留学支援制度の募集について」ということで、文部科学省では、企業等と連携して、新たな海外留学支援制度を創設し、海外留学を目指す大学生、専門学校生等を募集するものである。学生本人が留学計画をプログラムして書類を作成して申請するので、学生にとってはかなり難しい制度であるが、その代わり奨学金・渡航費・学費などに対する手厚い支援制度となっている。本日はご清聴ありがとうございました。

(文責・事務局)

平成25年度専修学校留学生就職アシスト事業委員会名簿

1. 実施委員会

役職	氏名	都道府県	学校・所属機関名
委員長	武田 哲一	東京	東京外語専門学校
副委員長	長谷川 恵一	大阪	エール学園
委員	橋本 二郎	宮城	東北外語観光専門学校
	平野 公美子	東京	日本外国語専門学校
	廣瀬 幸雄	東京	東京工業大学
	小林 信	東京	全国中小企業団体連合会
	栗野 浩	東京	東京商工会議所
	福田 益和	大阪	大阪工業技術専門学校
	中村 登	福岡	九州英数学館

2. 情報提供事業分科会

役職	氏名	都道府県	学校・所属機関名
委員	長谷川 恵一	大阪	エール学園
	平野 公美子	東京	日本外国語専門学校
	川島 鋼太郎	東京	ハリウッドビューティ専門学校
	金 英順	東京	東放学園専門学校
	後藤 由利	東京	(公社)東京都専修学校各種学校協会

3. 調査事業分科会

役職	氏名	都道府県	学校・所属機関名
委員	武田 哲一	東京	東京外語専門学校
	小暮 幸雄	東京	日本電子専門学校

4. 研修・説明会事業分科会

役職	氏名	都道府県	学校・所属機関名
委員	武田 哲一	東京	東京外語専門学校
	平野 公美子	東京	日本外国語専門学校
	橋本 二郎	宮城	東北外語観光専門学校
	工藤 尚美	東京	(株)オリジネーター
	後藤 由利	東京	(公社)東京都専修学校各種学校協会

5. 大阪事業分科会

役職	氏名	都道府県	学校・所属機関名
委員	長谷川 恵一	大阪	エール学園
	上田 哲也	大阪	上田安子服装専門学校
	平岡 憲人	大阪	清風情報工科学院
	瓶井 修	大阪	日本メディカル福祉専門学校
	富永 桂多	大阪	関西外語専門学校
	三枝 省三	大阪	修成建設専門学校
	崎村 真	大阪	エール学園
	西村 康司	大阪	エール学園
	津川 龍一	大阪	上田安子服装専門学校
	古畑 和彦	大阪	清風情報工科学院
	木村 泰一	大阪	ECC国際交流センター
	佐藤 裕幸	大阪	大阪YMCA国際専門学校
	山佐 亜津子	大阪	大阪YMCA国際専門学校
	瓶井 剛	大阪	日本メディカル福祉専門学校
	川鍋 史一	大阪	森ノ宮医療学園専門学校
	鈴木 秀和	大阪	トラベルジャーナル学園
	浜野 哲二	大阪	大阪工業技術専門学校
	白川 啓子	大阪	大阪YWCA専門学校
	船戸 輝久	大阪	大阪YMCA学院

専門学校留学生の就職支援と情報提供ネットワークの構築
成 果 報 告 書

— 平成 25 年度 —

平成 26 年 3 月

平成25年度文部科学省委託事業「専修学校留学生就職アシスト事業」

発行 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

(私学会館別館)

電話 03 (3230) 4814